

中	医	協	総	－	1	－	1	－	2
7	.	1	1	.	2	1			

中	医	協	検	-	1	-	2
7	.	1	1	.	2	1	

令和6年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（令和7年度調査）の
報告案について

○ 長期処方やリフィル処方の実施状況調査（右下頁）

・ 報告書（案）		1 頁
・ NDBデータ		72 頁
・ 集計資料		74 頁
・ 調査票		84 頁

令和 6 年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査
(令和 7 年度調査)
長期処方やリフィル処方の実施状況調査
報告書(案)

◆◆目次◆◆

I. 調査の概要	1
1. 目的	1
2. 調査対象	1
3. 調査方法	4
4. 調査項目	5
5. 調査検討委員会	11
II. 調査の結果	12
1. 回収結果	12
2. 病院・診療所調査.....	13
1) 回答者（病院・診療所）について.....	13
2) リフィル処方と長期処方について.....	18
3. 医師調査	19
1) 回答者について.....	19
2) 長期処方について.....	20
3) リフィル処方箋について.....	24
4. 保険薬局調査	31
1) 薬局の状況について.....	31
2) リフィル処方箋の対応状況について.....	35
3) 長期処方の対応状況について.....	37
4) リフィル処方箋の制度に対する相談体制や課題等について.....	38
5) 長期処方の仕組みに対する相談体制や課題等.....	40
5. 患者調査（郵送調査／インターネット調査）	43
1) 患者自身のことについて.....	44
2) 医療機関や保険薬局の利用状況について.....	46
3) これまで長期処方された経験について.....	51
4) これまでリフィル処方箋を交付された経験について.....	60
5) これからの リフィル処方や長期処方の利用意向について.....	66
6. NDB データを用いた集計	70

I. 調査の概要

1. 目的

令和6年度診療報酬改定において、リフィル処方及び長期処方を適切に推進する観点から、処方料及び処方箋料の特定疾患処方管理加算について評価が見直され、リフィル処方箋を発行した場合も算定を可能とすることとされた。また、かかりつけ医機能の評価である地域包括診療料等では、患者の状況等に合わせて医師の判断により、長期処方やリフィル処方を活用することが可能であることを、患者に周知する要件が新たに追加された。

これらを踏まえ、本調査では昨年度調査と同様、長期処方やリフィル処方が患者に周知され、かつ適切に活用されているか、また前述の議論で指摘されていた課題の状況や新たな課題がないかについて調査・検証を行った。

2. 調査対象

本調査では、（１）病院・診療所調査、（２）医師調査、（３）保険薬局調査、（４）患者調査（郵送調査）、（５）患者調査（インターネット調査）の５つの調査を実施した。各調査の対象は次のとおりである。

（１）病院・診療所調査

保険医療機関のうち、令和6年9月から11月の間に、1件以上のリフィル処方箋の発行実績がある病院から500件、同期間に発行実績が無い病院から500件をそれぞれ無作為抽出した。同様に、令和6年9月から11月の間に、1件以上のリフィル処方箋の発行実績がある診療所から500件、同期間に発行実績が無い診療所から500件をそれぞれ無作為抽出し、合計で2,000件を調査対象とした。

（２）医師調査

前記（１）病院・診療所調査の対象施設に勤務する医師のうち、外来診療を担当する医師を調査対象とした。1施設につき2人を本調査の対象とし、調査客体数は最大で4,000人（病院・診療所2,000施設×2人＝4,000人）とした。

（３）保険薬局調査

令和6年9月調剤分から11月調剤分のうち、1件以上のリフィル処方箋の受付実績がある保険薬局から500件、同期間に受付実績がない保険薬局から500件をそれぞれ無作為抽出し、合計で1,000件を調査対象とした。

（４）患者調査（郵送調査）

前記（１）病院・診療所調査及び（３）保険薬局調査の対象施設の調査日に来院又は来局した患者（調査期間の中で特定の１日を調査日とし、当該日において午前・午後にそれぞれ最初に来院・来局された患者で、調査協力についてご本人の同意が得られた方 / 午前・午後それぞれの時間帯に来院・来局がなかった場合は、調査日を翌日に変更）を調査対象とした。１施設につき２人を本調査の対象とし、調査客体数は最大で、６,０００人（病院・診療所２,０００施設×２人+保険薬局１,０００施設×２人＝６,０００人）とした。

（５）患者調査（インターネット調査）

直近３か月間で、保険薬局に処方箋を持って来局した患者を調査対象とした。調査客体数は３,０００人とした。調査客体は、性・年代（下記２０区分）ごとに等分（１５０人ずつ）とし、地域別の割合を人口推計（総務省「人口推計（２０２４年（令和６年）１０月１日現在）」）に比例配分する形とした。

男性	９歳以下	１０代	２０代	３０代	４０代	５０代	６０～６４歳	６５～６９歳	７０～７４歳	７５歳以上	全年代
北海道	５	６	５	５	６	６	６	７	７	７	６０
東北	９	１０	８	９	１０	９	１１	１２	１２	１１	１０１
関東信越	５７	５６	６５	６４	６２	６２	５９	５５	５４	５５	５８９
東海北陸	２２	２２	２１	２１	２１	２２	２１	２１	２１	２２	２１４
近畿	２５	２５	２５	２３	２３	２４	２４	２２	２３	２５	２３９
中国	９	９	８	８	８	８	８	９	９	９	８５
四国	４	４	３	４	４	４	４	５	５	５	４２
九州	１９	１８	１５	１６	１６	１５	１７	１９	１９	１６	１７０
全国	１５０	１５０	１５０	１５０	１５０	１５０	１５０	１５０	１５０	１５０	１５００

女性	９歳以下	１０代	２０代	３０代	４０代	５０代	６０～６４歳	６５～６９歳	７０～７４歳	７５歳以上	全年代
北海道	５	６	５	６	６	６	７	７	７	７	６２
東北	９	９	８	９	１０	９	１１	１３	１２	１１	１０１
関東信越	５７	５６	６４	６３	６０	６０	５６	５３	５３	５４	５７６
東海北陸	２２	２２	２０	２０	２１	２１	２１	２１	２１	２１	２１０
近畿	２５	２５	２６	２４	２４	２６	２５	２３	２４	２５	２４７
中国	９	９	８	８	８	８	８	９	９	１０	８６
四国	４	４	３	４	４	４	５	５	５	５	４３
九州	１９	１９	１６	１６	１７	１６	１７	１９	１９	１７	１７５
全国	１５０	１５０	１５０	１５０	１５０	１５０	１５０	１５０	１５０	１５０	１５００

(参考) 調査対象の母集団

	母数	調査対象数	抽出率
病院調査（全数）	7,965 件	—	—
リフィル発行実績あり	1,461 件	500 件	34.1%
リフィル発行実績なし	6,504 件	500 件	7.7%
診療所調査（全数）	83,248 件	—	—
リフィル発行実績あり	5,505 件	500 件	9.1%
リフィル発行実績なし	77,743 件	500 件	0.6%
保険薬局調査（全数）	61,709 件	—	—
リフィル応需実績あり	16,555 件	500 件	3.1%
リフィル応需実績なし	45,154 件	500 件	1.1%

※抽出作業時点の情報

3. 調査方法

本調査の（１）病院・診療所調査、（３）保険薬局調査、（４）患者調査（郵送調査）は、郵送発送による自記式アンケート調査方式により実施した。回答は、紙媒体（IDを印字した調査票）に記入後、郵送返送する方法と、専用ホームページより電子調査票（Excel）をダウンロードし、入力の上、メールへの添付により返送する方法から選択できるようにした。

（２）医師調査は、医師向けの依頼状の配布を前記（１）の対象施設を通じて行い、回収は専用ホームページよりWeb上で回答用フォームに記入・送信する形式とした。

（４）患者調査（郵送調査）については、自記式調査票（患者票）の配布は前記（１）及び（３）の対象施設を通じて行い、回収は事務局宛の専用返信封筒により患者から直接郵送いただく方法で行った。また、Web上の回答用フォームから記入・送信する形式も選択できるようにした。

（５）患者調査（インターネット調査）については、インターネット上での回答・回収とした。

調査実施時期は、（１）病院・診療所調査、（２）医師調査、（３）保険薬局調査、（４）患者調査（郵送調査）は令和７年８月４日から令和７年９月１６日、（５）患者調査（インターネット調査）は令和７年８月２８日から令和７年９月８日であった。

4. 調査項目

各調査の調査票（（１）病院・診療所調査、（２）医師調査、（３）保険薬局調査（４）患者調査（郵送調査）、（５）患者調査（インターネット調査））の調査項目は以下のとおりである。

※ 本調査において、長期処方とは「28 日以上の処方」と定義している。

（１）病院・診療所調査

※赤字は本報告書に掲載している項目（それ以外の項目の調査結果は 集計資料を参照）

設問種類	設問項目
1. 施設状況について	所在地（都道府県）
	開設者
	医療機関の種別
	（医療機関の種別を「病院」または「有床診療所」と回答した施設が対象）
	許可病床数
	（医療機関の種別を「病院」または「有床診療所」と回答した施設が対象）
	過去 1 年間の病床数変更の有無
	標榜診療科
	（内科と回答した場合）
	診療科において主に対応している患者像
	外来分離の有無
	地域医療情報連携ネットワークの参加有無
	外来を担う医師の人数
	外来の患者数
	処方箋の発行枚数
	診療報酬の算定の有無・件数：生活習慣病管理料（Ⅰ）
	診療報酬の算定の有無・件数：生活習慣病管理料（Ⅱ）
	診療報酬の算定の有無・件数：特定疾患処方管理加算
	診療報酬の算定の有無・件数：地域包括診療料（地域包括診療加算）
	リフィル処方箋または長期処方の対応可能な旨の掲示有無
2. リフィル処方箋について	リフィル処方箋の発行に係る検討についての今後の見通し
	長期処方の発行に係る検討についての今後の見通し
	リフィル処方箋の制度の認知度
	（制度を知っている場合）
	リフィル処方箋の制度を知ったきっかけ
	リフィル処方箋の発行経験
	（リフィル処方箋の発行経験ありの場合）
	薬局からの服薬情報提供書（トレーシングレポート）の有無
	長期処方を発行している（発行が適している）患者
	リフィル処方箋を発行している（発行が適している）患者
	リフィル処方箋を普及させるための課題

(2) 医師調査

設問種類	設問項目
1. 回答者について	性別
	年代
	主たる担当診療科
	外来診察患者数
2. 長期処方について	長期処方の実施有無
	(処方したことがある場合) 長期処方を行う際に、1回の処方を出すことが多い日数
	(処方したことがある場合) 1年前と比較した長期処方の処方件数の変化
	(処方したことがある場合) 長期処方を処方している患者
	(処方したことがある場合) 長期処方を実施している理由
	(処方したことがない場合) 長期処方を実施したことがない理由
	患者への長期処方の説明・案内の実施状況
	長期処方について患者からの希望の有無
	長期処方に係る検討についての今後の見通し
	(積極的に検討する場合) 「積極的に検討する」と回答した理由
	(検討には消極的な場合) 「検討には消極的」と回答した理由
	長期処方の課題として考えられること
3. リフィル処方箋について	リフィル処方箋の制度の認知度
	(制度を知っている場合) リフィル処方箋の制度を知ったきっかけ
	リフィル処方箋の発行有無
	(発行したことがある場合) リフィル処方箋を発行している患者
	(発行したことがある場合) リフィル処方箋を発行した理由
	(発行したことがある場合) 長期処方ではなくリフィル処方箋を発行する理由
	(発行したことがある場合) 薬剤師からの受診勧奨を受けた患者の有無
	(発行したことがある場合) 薬剤師からの受診勧奨の理由の適切性
	(発行したことがある場合) リフィル処方箋の2回目・3回目の調剤における薬局からの報告に対する考え
	(発行したことがある場合) 薬局からの服薬情報提供書(トレーシングレポート)で提供してほしい情報
	1年前と比較したリフィル処方箋の発行件数の変化
	令和6年度診療報酬改定による処方箋料の見直しによる処方への影響
	(発行したことがない場合) リフィル処方箋を発行しなかった理由
	(発行したことがない場合で長期処方で対応可能と判断した場合) リフィル処方箋の発行ではなく長期処方を行った理由
	患者へのリフィル処方の説明・案内の実施状況
	令和6年度診療報酬改定により、リフィル処方箋を発行した場合も特定疾患処方管理加算が算定可能となったことに対する認知
	リフィル処方箋の発行について患者からの希望の有無
	リフィル処方箋の発行に係る検討についての今後の見通し
	(積極的に検討する場合) 「積極的に検討する」と回答した理由
	(検討には消極的な場合) 「検討には消極的」と回答した理由
	リフィル処方のデメリットとして懸念していること
	リフィル処方箋の普及に向けた課題

設問種類	設問項目
4. 長期処方・リフィル処方について	長期処方又はリフィル処方の実施有無

(3) 保険薬局調査

設問種類	設問項目
1. 薬局の状況について	所在地（都道府県）
	開設者
	同一グループ等による薬局店舗数
	開設年
	薬局の立地
	現在の立地に至った経緯
	応需医療機関数
	最も多く処方箋を受け付けた医療機関からの処方箋枚数割合
	（最も多く処方箋を受け付けた医療機関からの処方箋枚数割合で） 集中率が最も高い医療機関情報：診療所・病院の別
	（最も多く処方箋を受け付けた医療機関からの処方箋枚数割合で） 最も多く処方箋を受け付けた医療機関と貴薬局との位置関係
	（最も多く処方箋を受け付けた医療機関からの処方箋枚数割合で） 集中率が最も高い医療機関：「複数の医療機関が所在する建物（いわゆる医療モール等）」への該当有無
	（最も多く処方箋を受け付けた医療機関からの処方箋枚数割合で） 集中率が最も高い医療機関情報：あてはまる診療科
	貴薬局の売上高に占める保険調剤売上の割合
	調剤基本料の届出状況
	地域支援体制加算の届出状況
	連携強化加算の届出状況
	かかりつけ薬剤師指導料及びかかりつけ薬剤師包括管理料の施設基準等の届出状況
	職員数（薬剤師、かかりつけ薬剤師、その他事務職員等）（常勤・非常勤）
	認定等の状況
2. リフィル処方箋を応需する体制について	リフィル処方箋の仕組みについての認知状況
	リフィル処方箋を応需した際の薬局内の業務手順の定めの有無
	リフィル処方箋の次回調剤日を薬局内で管理する方法
	リフィル処方箋の次回調剤日を患者に対して通知する方法
	リフィル処方箋の受付経験
	（受付のない場合）リフィル処方箋の対応実績がない理由
3. リフィル処方箋の対応状況について	受け付けたリフィル処方箋を発行した医療機関数
	リフィル処方箋を受け付けた医療機関との関係
	リフィル処方箋を受け付けた医療機関の医療機能区分
	リフィル処方箋を受け付けた医療機関の診療科
	最も多くリフィル処方箋を受け付けた診療科
	リフィル処方箋の受付件数（1回目・2回目・3回目）
	リフィル処方箋の件数の変化

設問種類	設問項目
	薬剤師の受診勧奨の有無
	リフィルの上限まで使用されなかった事例の有無・理由
	(薬剤師が受診勧奨をした場合) 薬剤師が受診勧奨をした回数
	(薬剤師が受診勧奨をした場合) 受診勧奨を判断し、説明する際の処方医への相談状況
	(薬剤師が受診勧奨をした場合) 薬剤師が受診勧奨をした理由
	(薬剤師が受診勧奨をした場合) 医師への情報提供内容
	(リフィル処方箋の受付経験がある場合) 服薬情報等提供料に係る業務の件数
	(リフィル処方箋の受付経験がある場合) 患者が来局したことにに関する医療機関(かかりつけ医)への報告
	(リフィル処方箋の受付経験がある場合) 患者が来局しなかったことにに関する医療機関(かかりつけ医)への報告
	(リフィル処方箋の受付経験がある場合) 医師に服薬指導提供書(トレーニングレポート)を提供した情報の内容
	(リフィル処方箋の受付経験がある場合) 患者へのフォローアップの有無
	(リフィル処方箋の受付経験がある場合でフォローアップを行った場合) 実施したフォローアップの内容
	(リフィル処方箋の受付経験がある場合) 1枚のリフィル処方箋の処方の途中で薬局が変わった経験
	(1枚のリフィル処方箋の処方の途中で薬局が変わった経験がある場合) 他薬局へ情報提供を行った方法
	(1枚のリフィル処方箋の処方の途中で薬局が変わった経験がある場合) 情報提供した内容
4. 長期処方 の対応状況につ いて	長期処方を応需する件数が多い医療機関の特徴
	長期処方を応需する件数が多い医療機関の医療機能区分
	長期処方を応需する件数が多い診療科
	応需する処方箋の変化
	長期処方の処方箋を応需する際に特に注視していること
5. リフィル処 方箋の制度に 対する相談体 制や課題等 について	リフィル処方を医師へ提案したことのある薬剤師の種類
	薬剤師としてリフィル処方が適すると考える状況等
	薬局でリフィル処方箋を受けるにあたっての課題
	患者からのリフィル処方箋に関する相談を受けた経験
	(相談を受けた経験がある場合) 相談を受けた患者の種類
6. 長期処方 の仕組みに対 する相談体制 や課題等	(相談を受けた経験がある場合) 最も多く受けた相談の内容
	(相談を受けた経験がある場合) 患者の希望を処方医へ情報提供した経験
	長期処方を医師へ提案したことのある薬剤師の種類
	薬剤師として長期処方が適すると考える状況等
	薬局で長期処方を受けるにあたって課題と感ずること
	患者からの長期処方に関する相談を受けた経験
	(相談を受けた経験がある場合) 相談を受けた患者の種類
	(相談を受けた経験がある場合) 最も多く受けた相談の内容
	(相談を受けた経験がある場合) 患者の希望を処方医へ情報提供した経験

(4) 患者調査（郵送調査）・(5) 患者調査（インターネット調査）

設問種類	設問項目
1. 調査票の記入者について	調査票の記入者
2. 患者自身のことについて	性別
	年代
	居住地
	医療費の自己負担額の有無
3. 医療機関や保険薬局の利用状況について	定期的に受診している医療機関（病院・診療所）の数
	定期的に受診している薬局の数
	定期的に薬の処方を受けている疾患
	（定期的に決まった薬の処方を受けている場合）
	定期的な処方を受けている期間
	リフィル処方の認知度
	リフィル処方の制度内容の認知経路
	（リフィル処方について名称だけ聞いたことがあった場合）
	リフィル処方についての関心の程度
4. これまで長期処方された経験について	長期処方を受けた経験
	（経験がある場合）
	医療機関で長期処方されたお薬について、1回の処方で出された期間
	（経験がある場合）
	長期処方された薬について使用せずに残した経験
	（残した経験がある場合）
	使用せずに残した量
	（残した経験がある場合）
	使用せずに残した理由
	受け取った処方箋について、薬局での調剤を受けなかった経験
	（調剤を受けなかった経験がある場合）
	調剤を受けなかった理由
	長期処方を受け始めて以降の医療機関や薬局の利用に関する変化
	長期処方を受けて「良かった」と感じたこと
5. これまでリフィル処方箋を交付された経験について	リフィル処方箋を交付された経験
	（交付が有る場合）
	リフィル処方箋を交付された経緯
	（交付が有る場合）
	直近のリフィル処方箋の反復利用できる回数
	（交付が有る場合）
	直近のリフィル処方箋の1回あたりの処方日数
	（交付が有る場合）
	リフィル処方箋の1回目の調剤で行った薬局
	（1回目の調剤が自宅近くの薬局ではなかった場合）
	2回目以降に関して、自宅近くにある薬局への変更有無
	（交付が有る場合）
	リフィル処方箋2, 3回目の調剤で調剤を受けずに受診することになった経験
	（リフィル処方箋2, 3回目の調剤で調剤を受けずに受診することになった場合）調剤を受けずに受診することになった理由

設問種類	設問項目
	薬剤師からのフォローアップ（体調などの確認）の有無
	（フォローアップがあった場合）
	薬剤師から受けたフォローアップの内容
	受け取った処方箋について、薬局での調剤を受けなかった経験
	（調剤を受けなかった経験がある場合）
	調剤を受けなかった理由
	リフィル処方箋を利用し始めて以降の医療機関や薬局の利用に関する変化
	リフィル処方箋を受けて「良かった」と感じたこと
6. これからのリフィル処方箋の利用意向について	リフィル処方箋の利用について、メリットになると感じるもの
	リフィル処方箋の利用について、デメリットになると感じるもの
	（薬剤師の判断に不安があると回答した場合）
	不安を感じる理由や懸念点
	長期処方箋の利用について、メリットになると感じるもの
	長期処方箋の利用について、デメリットになると感じるもの
	病状が安定している場合のリフィル処方箋の利用意向
	病状が安定している場合の長期処方箋の利用意向
	リフィル処方箋や長期処方箋について、医師への相談・要望に対する考え
	リフィル処方箋を利用するにあたり必要だと感じるもの
	長期処方箋を利用するにあたり必要だと感じるもの
7. リフィル処方箋や長期処方箋に関するご意見・ご要望	リフィル処方箋や長期処方箋に関するご意見・ご要望等

5. 調査検討委員会

本調査を実施するにあたり、調査設計、調査票の作成、調査の実施、集計・分析、報告書案等の検討を行うため、以下のとおり、調査検討委員会を設置・開催した。

(1) 委員等

【委員】（○は委員長、五十音順、敬称略）

津留 英智 社会医療法人水光会 宗像水光会総合病院理事長
公益社団法人全日本病院協会 常任理事 医療保険・診療報酬委員会 委員長

豊見 敦 公益社団法人日本薬剤師会 常務理事

羽鳥 裕 はとりクリニック 理事長

○本田 文子 一橋大学大学院経済学研究科教授

【オブザーバー】（敬称略）

永瀬 伸子 大妻女子大学データサイエンス学部教授

※所属は報告書取りまとめ時のもの

(2) 開催概要

第1回：令和7年6月16日（月） 13:00～15:00（対面/オンライン併用）

【議事】 調査概要・調査票・分析方針案及びとりまとめイメージ案に関する議論

第2回：令和7年10月28日（火） 17:00～19:00（対面/オンライン併用）

【議事】 調査結果（速報）及びとりまとめの方向性に関する議論

II. 調査の結果

1. 回収結果

(1) 病院・診療所調査の有効回答数（施設数）は 471 件、有効回答率は 23.6%、(2) 医師調査の有効回答数（医師数）は 400 件、(3) 保険薬局調査の有効回答数（施設数）は 455 件、有効回答率は 45.5%、(4) 患者調査（郵送調査）の有効回答数は 860 件、(5) 患者調査（インターネット調査）の有効回答数は 3,000 件であった。

図表 1-1 回収状況

	発送数	有効回答数	有効回答率
(1) 病院・診療所調査	2,000 件	471 件	23.6%
病：リフィル発行実績有り	500 件	150 件	30.0%
病：リフィル発行実績無し	500 件	106 件	21.2%
診：リフィル発行実績有り	500 件	126 件	25.2%
診：リフィル発行実績無し	500 件	89 件	17.8%
(2) 医師調査	—	400 件	—
(3) 保険薬局調査	1,000 件	455 件	45.5%
リフィル応需実績有り	500 件	248 件	49.6%
リフィル応需実績無し	500 件	207 件	41.4%
(4) 患者調査（郵送調査）	—	860 件	—
(5) 患者調査（インターネット調査）	—	3,000 件	—

※医師調査、患者調査（郵送調査）については、病院・診療所や薬局から何部配布されたかが正確に把握できない方法で調査を行っていることから、発送数と有効回答率の表記を行っていない。また、患者調査（インターネット調査）については、回答数が 3,000 件になるまで回収を続けるという他との調査とは異なる方式で調査を行っていることから、発送数、有効回答率の表記を行っていない。

なお、「2. 調査対象」の「（参考）調査対象の母集団」に記載のとおり、本調査は病院や診療所などを悉皆で調査したり、母集団比率に応じて比例配分したものではなく、特定の条件に沿って抽出して調査したものである。本報告書における調査結果は、あくまで回答が得られた施設における状況である点に十分留意する必要がある。

また本調査の回答率は、病院・診療所調査で 23.6%と低水準である。回答率の低さにより、結果には回答していない層の意見が反映されていない可能性があり、統計的な信頼性には限界がある。そのため、結果の解釈には十分な注意が必要である。

さらに病院・診療所調査においては、リフィル発行実績の有無によって回答率に統計的に有意な差が認められた。このため、結果の解釈にあたっては、この差が影響する可能性がある点に留意する必要がある。

2. 病院・診療所調査

【調査対象等】

○調査票 施設票

調査対象：保険医療機関のうち、令和6年9月から11月の間に、1件以上のリフィル処方箋の発行実績がある病院から500件、同期間に発行実績が無い病院から500件をそれぞれ無作為抽出した。同様に、令和6年9月から11月の間に、1件以上のリフィル処方箋の発行実績がある診療所から500件、同期間に発行実績が無い診療所から500件をそれぞれ無作為抽出し、合計で2,000件を調査対象とした。

回 答 数：471件（回答率：23.6%）

回 答 者：開設者・管理者

※ 「全体」はその設問に回答したすべての人数を示している。ただし、クロス集計に使用している設問に未回答の場合、その人数はクロス集計の対象外となる。そのため、「全体」とクロス集計軸の合計数は一致しない場合がある。

※ 単純集計・クロス集計の各図に記載された「回答数（件）」の数値は実際の全回答者数、同じ列のそれ以外の項目の数値は全回答者数に対する設問の選択肢の回答者の割合（％）をそれぞれ示し、オレンジのバーは回答者の割合の大きさを視覚的に表している。

1) 回答者（病院・診療所）について

（1）開設者（調査票設問1. ②）

回答があった医療機関の開設者は病院では「医療法人（社会医療法人を除く）」が最も多く、それぞれリフィル処方箋発行実績ある病院は42.7%、発行実績がない病院は56.6%であった。一方、診療所では「個人」が多く、リフィル処方箋発行実績がある診療所は46.0%、発行実績がない診療所は47.2%であった。

図表 2-1 開設者
（リフィル処方箋の発行実績別）

	今回調査					参考:令和6年度調査				
	全体	病院・リフィル 発行実績あり	病院・リフィル 発行実績なし	診療所・リフィ ル発行実績あり	診療所・リフィ ル発行実績なし	全体	病院・リフィル 発行実績あり	病院・リフィル 発行実績なし	診療所・リフィ ル発行実績あり	診療所・リフィ ル発行実績なし
回答数(件)	471	150	106	126	89	527	101	141	149	126
国	1.9	3.3	3.8	0.0	0.0	2.8	5.9	6.4	0.0	0.0
公立	10.6	20.7	15.1	1.6	1.1	10.4	24.8	17.7	0.7	2.4
公的	3.2	5.3	5.7	0.0	1.1	5.3	13.9	9.2	0.0	0.8
社会保険関係団体	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.7	0.0	0.0
医療法人（社会医療法人を除く）	47.1	42.7	56.6	44.4	47.2	44.6	28.7	50.4	46.3	48.4
会社	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.7	0.0	0.0
その他の法人	15.3	27.3	17.9	7.1	3.4	12.3	26.7	13.5	5.4	6.3
個人	21.4	0.7	0.0	46.0	47.2	23.9	0.0	0.7	47.7	42.1
無回答	0.4	0.0	0.9	0.8	0.0	0.2	0.0	0.7	0.0	0.0

図表 2-2 開設者
(施設種別)

	全体	病院	有床診療所	無床診療所
回答数(件)	471	252	11	202
国	1.9	3.6	0.0	0.0
公立	10.6	18.7	9.1	1.0
公的	3.2	5.6	0.0	0.5
社会保険関係団体	0.0	0.0	0.0	0.0
医療法人(社会医療法人を除く)	47.1	48.8	72.7	44.6
会社	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の法人	15.3	22.6	0.0	5.4
個人	21.4	0.4	18.2	48.0
無回答	0.4	0.4	0.0	0.5

※「有料診療所」は30件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

(2) 医療機関の種別(調査票設問1.③)

医療機関の種別については、全体では「病院」の割合が53.5%、「有床診療所」が2.3%、「無床診療所」が42.9%であった。

図表 2-3 医療機関の種別
(リフィル処方箋の発行実績別)

	今回調査					参考:令和6年度調査				
	全体	病院・リフィル 発行実績あり	病院・リフィル 発行実績なし	診療所・リフィ ル発行実績あり	診療所・リフィ ル発行実績なし	全体	病院・リフィル 発行実績あり	病院・リフィル 発行実績なし	診療所・リフィ ル発行実績あり	診療所・リフィ ル発行実績なし
回答数(件)	471	150	106	126	89	527	101	141	149	126
病院	53.5	98.0	99.1	0.0	0.0	46.3	97.0	97.9	0.0	0.0
有床診療所	2.3	0.0	0.0	3.2	7.9	3.4	0.0	0.0	5.4	7.9
無床診療所	42.9	0.0	0.0	95.2	92.1	47.1	0.0	0.0	91.9	85.7
無回答	1.3	2.0	0.9	1.6	0.0	3.4	3.0	2.1	2.7	6.3

(3) 許可病床数（全体）（調査票設問1. ④）

医療機関の種別を「病院」または「有床診療所」と回答した場合、医療機関全体の許可病床数は、病院全体では「100～199床」が最も多く44.1%であった。

図表 2-4 許可病床数（病院全体）
（リフィル処方箋の発行実績別）

	今回調査			参考:令和6年度調査		
	全体	病院・リフィル 発行実績あり	病院・リフィル 発行実績なし	全体	病院・リフィル 発行実績あり	病院・リフィル 発行実績なし
回答数(件)	256	150	106	243	98	138
99床以下	34.0	28.0	42.5	23.9	18.4	26.8
100～199床	44.1	46.0	41.5	25.1	25.5	25.4
200～299床	7.8	8.0	7.5	9.5	12.2	8.0
300～399床	5.9	6.0	5.7	14.0	16.3	11.6
400～499床	3.5	4.7	1.9	7.8	9.2	7.2
500床以上	2.0	3.3	0.0	4.9	8.2	2.9
無回答	2.7	4.0	0.9	14.8	10.2	18.1

図表 2-5 許可病床数（診療所全体）
（リフィル処方箋の発行実績別）

	今回調査			参考:令和6年度調査		
	全体	診療所・リフィ ル発行実績あり	診療所・リフィ ル発行実績なし	全体	診療所・リフィ ル発行実績あり	診療所・リフィ ル発行実績なし
回答数(件)	11	4	7	18	8	10
9床以下	9.1	0.0	14.3	50.0	50.0	50.0
10～14床	27.3	0.0	42.9	11.1	12.5	10.0
15床以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	63.6	100.0	42.9	38.9	37.5	40.0

※回答数はいずれも30件以下であり、結果のばらつきが大きくなる可能性があるため、参考値として参照する必要がある。

(4) 標榜診療科 (調査票設問 1. ⑥)

標榜診療科は、病院ではリフィル処方箋の発行実績がある病院、発行実績がない病院ともに「内科」がそれぞれ 94.7%、84.9%で最も多く、診療所も同じくリフィル処方箋の発行実績のある診療所・発行実績のない診療所ともに「内科」がそれぞれ 71.4%、58.4%で最も多かった。

図表 2-6 標榜診療科 (複数回答)
(リフィル処方箋の発行実績別)

	今回調査					参考:令和6年度調査				
	全体	病院・リフィル 発行実績あり	病院・リフィル 発行実績なし	診療所・リフィ ル発行実績あり	診療所・リフィ ル発行実績なし	全体	病院・リフィル 発行実績あり	病院・リフィル 発行実績なし	診療所・リフィ ル発行実績あり	診療所・リフィ ル発行実績なし
回答数(件)	471	150	106	126	89	527	101	141	149	126
内科	79.4	94.7	84.9	71.4	58.4	74.4	95.0	92.2	56.4	57.9
外科	39.1	70.7	50.0	11.1	12.4	38.0	80.2	60.3	10.1	11.1
精神科	16.8	25.3	28.3	3.2	7.9	19.0	42.6	31.9	0.7	7.1
小児科	25.3	35.3	23.6	15.9	23.6	30.6	61.4	42.6	14.8	11.9
皮膚科	30.1	53.3	33.0	11.9	13.5	36.1	73.3	48.9	14.1	15.9
泌尿器科	27.2	52.7	39.6	2.4	4.5	28.7	69.3	47.5	6.0	1.6
産婦人科・産科	13.2	26.0	15.1	1.6	5.6	20.5	51.5	27.0	7.4	4.8
眼科	22.1	39.3	26.4	6.3	10.1	30.6	66.3	45.4	9.4	9.5
耳鼻咽喉科	21.2	35.3	27.4	9.5	6.7	26.4	66.3	36.9	6.0	7.1
放射線科	21.2	42.0	32.1	0.8	2.2	27.3	67.3	48.2	2.0	2.4
脳神経外科	22.7	46.0	30.2	3.2	2.2	27.7	73.3	41.1	5.4	2.4
整形外科	43.7	79.3	61.3	10.3	10.1	44.0	87.1	69.5	14.8	14.3
麻酔科	22.3	46.7	30.2	0.8	2.2	27.9	75.2	44.7	2.7	0.8
救急科	8.5	22.7	5.7	0.0	0.0	10.8	32.7	15.6	0.0	0.0
歯科・歯科口腔外科	7.6	16.0	8.5	1.6	1.1	15.4	39.6	26.2	0.7	0.8
リハビリテーション科	43.5	77.3	68.9	9.5	4.5	41.4	87.1	70.2	8.1	11.1
その他	15.3	25.3	16.0	11.1	3.4	16.7	31.7	19.9	9.4	9.5
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.8

(5) 処方箋の発行枚数 (調査票設問 1. ⑪)

令和 7 年 4～6 月の処方箋の合計発行枚数については、リフィル処方箋の発行実績のある病院では平均で 9,252 枚、リフィル処方箋の発行実績のない病院では平均で 5,437 枚、リフィル処方箋の発行実績のある診療所では 3,016 枚、リフィル処方箋の発行実績のない診療所では平均で 2,009 枚であった。

図表 2-7 処方箋の発行枚数
(リフィル処方箋の発行実績別)

	今回調査					参考:令和6年度調査				
	全体	病院・リフィル 発行実績あり	病院・リフィル 発行実績なし	診療所・リフィ ル発行実績あり	診療所・リフィ ル発行実績なし	全体	病院・リフィル 発行実績あり	病院・リフィル 発行実績なし	診療所・リフィ ル発行実績あり	診療所・リフィ ル発行実績なし
回答数(件)	438	144	102	112	80	447	79	123	128	110
平均値	5,446	9,252	5,437	3,016	2,009	5,073	10,840	6,832	2,678	1,688
標準偏差	7,397	9,949	5,881	4,182	2,584	6,177	7,357	7,144	2,867	1,522
中央値	3,126	6,699	3,045	2,479	1,500	2,586	10,269	4,557	2,019	1,494

(6) リフィル処方箋の発行に係る検討についての今後の見通し (調査票設問 1. ⑭)

リフィル処方箋の発行に係る検討についての今後の見通しは、リフィル処方箋発行実績がある病院・診療所では「患者希望があれば検討する」が最も多く、それぞれ 62.7%、60.3%であった。一方で、リフィル処方箋発行実績がない病院・診療所では、「検討には消極的」が最も多く、それぞれ 49.1%、59.6%であった。

図表 2-8 リフィル処方箋の発行に係る検討についての今後の見通し
(リフィル処方箋の発行実績別)

	今回調査					参考:令和6年度調査				
	全体	病院・リフィル 発行実績あり	病院・リフィル 発行実績なし	診療所・リフィ ル発行実績あり	診療所・リフィ ル発行実績なし	全体	病院・リフィル 発行実績あり	病院・リフィル 発行実績なし	診療所・リフィ ル発行実績あり	診療所・リフィ ル発行実績なし
回答数(件)	471	150	106	126	89	527	101	141	149	126
積極的に検討する	6.2	6.0	2.8	11.1	3.4	12.0	10.9	4.3	28.2	2.4
患者希望があれば検討する	53.3	62.7	46.2	60.3	36.0	55.4	74.3	52.5	61.1	38.1
検討には消極的	39.5	30.7	49.1	27.8	59.6	30.7	10.9	42.6	8.1	59.5
無回答	1.1	0.7	1.9	0.8	1.1	1.9	4.0	0.7	2.7	0.0

(7) 長期処方への発行に係る検討についての今後の見通し (調査票設問 1. ⑮)

長期処方の発行に係る検討についての今後の見通しは、病院では、リフィル処方箋発行実績がある病院、発行実績がない病院ともに「患者希望があれば検討する」が最も多くそれぞれ 60.7%、56.6%であった。診療所においてもリフィル処方箋発行実績がある診療所、発行実績がない診療所ともに「患者希望があれば検討する」が最も多くそれぞれ 54.8%、46.1%であった。「検討には消極的」は、(6) リフィル処方の検討においては全体で 39.5%であったのに対して、長期処方では全体で 18.8%であり、長期処方の方がリフィルより検討に前向きな傾向が確認された。

図表 2-9 長期処方の発行に係る検討についての今後の見通し
(リフィル処方箋の発行実績別)

	今回調査					参考:令和6年度調査				
	全体	病院・リフィル 発行実績あり	病院・リフィル 発行実績なし	診療所・リフィ ル発行実績あり	診療所・リフィ ル発行実績なし	全体	病院・リフィル 発行実績あり	病院・リフィル 発行実績なし	診療所・リフィ ル発行実績あり	診療所・リフィ ル発行実績なし
回答数(件)	471	150	106	126	89	527	101	141	149	126
積極的に検討する	25.3	22.7	19.8	26.2	34.8	27.3	21.8	30.5	33.6	20.6
患者希望があれば検討する	55.4	60.7	56.6	54.8	46.1	55.0	66.3	53.9	55.0	47.6
検討には消極的	18.0	15.3	21.7	18.3	18.0	15.6	9.9	14.2	8.7	30.2
無回答	1.3	1.3	1.9	0.8	1.1	2.1	2.0	1.4	2.7	1.6

2) リフィル処方と長期処方について

(1) 長期処方を発行している（発行が適している）患者（調査票設問2. ③-1）

長期処方を発行している（発行が適している）患者については、いずれの区分においても「症状が安定している患者」が最も多く、次いでリフィル発行実績がある病院では「遠隔地に住んでおり通院回数を減らしたい患者」が47.3%で多かった。リフィル発行実績がない病院では「慢性疾患管理が必要な患者」が45.3%であった。一方、診療所では「仕事や生活の都合で通院が難しい患者」が多かった。

図表 2-10 長期処方を発行している（発行が適している）患者（複数回答）
（リフィル処方箋の発行実績別）

	今回調査					参考:令和6年度調査				
	全体	病院・リフィル 発行実績あり	病院・リフィル 発行実績なし	診療所・リフィ ル発行実績あり	診療所・リフィ ル発行実績なし	全体	病院・リフィル 発行実績あり	病院・リフィル 発行実績なし	診療所・リフィ ル発行実績あり	診療所・リフィ ル発行実績なし
回答数(件)	471	150	106	126	89	527	101	141	149	126
慢性疾患管理が必要な患者	41.4	44.7	45.3	36.5	38.2	46.1	57.4	57.4	41.6	31.7
遠隔地に住んでおり通院回数を減らしたい患者	39.9	47.3	33.0	38.9	37.1	42.5	46.5	44.0	40.9	42.9
症状が安定している患者	86.1	82.7	87.7	84.9	88.5	81.4	75.2	90.1	83.2	77.0
訪問診療や在宅医療を受けている患者	11.3	10.0	13.2	8.7	14.6	15.9	17.8	18.4	10.1	19.8
仕事や生活の都合で通院が難しい患者	46.1	44.0	36.8	53.2	50.6	40.6	40.6	32.6	53.0	37.3
その他	3.2	1.3	3.8	4.8	3.4	3.6	4.0	0.7	4.0	6.3
無回答	2.5	2.7	1.9	1.6	4.5	4.4	5.0	0.0	5.4	2.4

(2) リフィル処方箋を発行している（発行が適している）患者（調査票設問2. ③-2）

リフィル処方箋を発行している（発行が適している）患者については、いずれの区分においても「症状が安定している患者」が最も多く、次いでリフィル発行実績がある病院では「遠隔地に住んでおり通院回数を減らしたい患者」が34.0%で多かった。リフィル発行実績がない病院では「慢性疾患管理が必要な患者」が30.2%であった。一方、診療所では「仕事や生活の都合で通院が難しい患者」が多かった。

図表 2-11 リフィル処方箋を発行している（発行が適している）患者（複数回答）
（リフィル処方箋の発行実績別）

	今回調査					参考:令和6年度調査				
	全体	病院・リフィル 発行実績あり	病院・リフィル 発行実績なし	診療所・リフィ ル発行実績あり	診療所・リフィ ル発行実績なし	全体	病院・リフィル 発行実績あり	病院・リフィル 発行実績なし	診療所・リフィ ル発行実績あり	診療所・リフィ ル発行実績なし
回答数(件)	471	150	106	126	89	527	101	141	149	126
慢性疾患管理が必要な患者	27.8	31.3	30.2	27.8	19.1	31.3	46.5	35.5	30.9	15.9
遠隔地に住んでおり通院回数を減らしたい患者	28.9	34.0	26.4	29.4	22.5	30.9	39.6	31.2	34.2	22.2
症状が安定している患者	71.8	72.7	72.6	80.2	57.3	67.4	75.2	67.4	85.5	51.6
訪問診療や在宅医療を受けている患者	10.8	11.3	13.2	4.0	16.9	11.2	10.9	12.1	9.4	13.5
仕事や生活の都合で通院が難しい患者	31.4	32.7	23.6	40.5	25.8	33.6	34.7	29.1	47.7	23.0
その他	7.6	7.3	9.4	7.1	6.7	5.3	5.9	0.7	6.7	8.7
無回答	10.2	8.7	10.4	2.4	23.6	15.2	5.0	17.0	6.7	27.0

3. 医師調査

【調査対象等】

○医師調査

調査対象：病院・診療所調査の対象となった施設 2,000 件に勤める医師のうち、外来診療を担当する医師を調査対象とした。1 施設につき 2 人（2,000 件×2 人＝合計 4,000 人）を本調査の対象とした。

回 答 数：400 人

- ※ データバー内の「長期処方有・リフィル処方有」「長期処方有・リフィル処方無」「長期処方無・リフィル処方有」「長期処方無・リフィル処方無」は、それぞれ当該施設の医師個人のリフィル処方経験及び長期処方経験の有無を表している。
- ※ 「全体」はその設問に回答したすべての人数を示している。ただし、クロス集計に使用している設問に未回答の場合、その人数はクロス集計の対象外となる。そのため、「全体」とクロス集計軸の合計数は一致しない場合がある。
- ※ 単純集計・クロス集計の各図に記載された「回答数（件）」の数値は実際の全回答者数、同じ列のそれ以外の項目の数値は全回答者数に対する設問の選択肢の回答者の割合（％）をそれぞれ示し、オレンジのバーは回答者の割合の大きさを視覚的に表している。

1) 回答者について

(1) 主たる担当診療科（調査票設問 1. ③）

主たる担当診療科については、長期処方有・リフィル処方有、長期処方有・リフィル処方無は「内科」が 50%以上を占めていた。

図表 3-1 主たる担当診療科
(個人の処方経験別)

	全体	長期処方有・リ フィル処方有	長期処方有・リ フィル処方無	長期処方無
回答数(件)	400	112	246	42
内科	52.3	54.5	55.3	28.6
外科	9.0	3.6	12.2	4.8
精神科	3.0	0.9	2.8	9.5
小児科	3.8	3.6	2.4	11.9
皮膚科	4.0	5.4	3.3	4.8
泌尿器科	3.3	1.8	4.5	0.0
産婦人科・産科	1.5	2.7	1.2	0.0
眼科	3.0	2.7	2.4	7.1
耳鼻咽喉科	5.8	11.6	2.0	11.9
放射線科	0.0	0.0	0.0	0.0
脳神経外科	2.0	1.8	2.4	0.0
整形外科	8.5	7.1	8.5	11.9
麻酔科	0.3	0.0	0.4	0.0
救急科	1.0	0.0	0.4	7.1
歯科・歯科口腔外科	0.3	0.9	0.0	0.0
リハビリテーション科	0.5	0.9	0.4	0.0
その他	2.0	2.7	1.6	2.4
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0

2) 長期処方について

(1) 長期処方を行う際に、1回の処方で出すことが多い日数（調査票設問2. ②）

長期処方を実施したことが「ある」と回答した場合、長期処方を行う際に、1回の処方で出すことが多い日数は、長期処方有・リフィル処方有では「28～41日」が最も多く37.5%で、長期処方有・リフィル処方無では「56～69日」が最も多く36.2%であった。

また施設種別では、病院では「56～69日」が最も多く36.5%で、診療所では「28～41日」が最も多く46.2%であった。

本調査票では、長期処方日数の選択肢として「91日以上」を含めていたが、一般的には長期処方の上限は90日までとされることが多く、したがって、91日以上の回答は特殊な事例である可能性が高く、結果の解釈にあたっては留意が必要である。

図表 3-2 長期処方を行う際に、1回の処方で出すことが多い日数（個人の処方経験別）

	全体	長期処方有・リ フィル処方有	長期処方有・リ フィル処方無
回答数(件)	358	112	246
28～41日	31.8	37.5	29.3
42～55日	4.5	6.3	3.7
56～69日	35.5	33.9	36.2
70～83日	0.6	0.0	0.8
84～90日	22.3	17.0	24.8
91日以上	4.7	5.4	4.5
無回答	0.6	0.0	0.8

図表 3-3 長期処方を行う際に、1回の処方で出すことが多い日数（施設種別）

	全体	病院	診療所
回答数(件)	358	208	145
28～41日	31.8	21.6	46.2
42～55日	4.5	4.3	4.8
56～69日	35.5	36.5	34.5
70～83日	0.6	1.0	0.0
84～90日	22.3	29.8	11.0
91日以上	4.7	5.8	3.4
無回答	0.6	1.0	0.0

(2) 1年前と比較した長期処方の処方件数の変化（調査票設問2. ③）

長期処方を実施したことが「ある」と回答した場合、1年前と比較した長期処方の処方件数の変化は、長期処方有・リフィル処方有、長期処方有・リフィル処方無はいずれも「特に変化はない」が最も多くそれぞれ53.6%、78.9%であった。

図表 3-4 1年前と比較した長期処方の処方件数の変化（個人の処方経験別）

	全体	長期処方有・リ フィル処方有	長期処方有・リ フィル処方無
回答数(件)	358	112	246
処方期間が長くなるが増えた	23.2	40.2	15.4
処方期間が短くなるが増えた	2.8	4.5	2.0
特に変化はない	70.9	53.6	78.9
わからない	2.8	0.9	3.7
無回答	0.3	0.9	0.0

図表 3-5 1年前と比較した長期処方の処方件数の変化（施設種別）

	全体	病院	診療所
回答数(件)	358	208	145
処方期間が長くなるが増えた	23.2	14.9	35.9
処方期間が短くなるが増えた	2.8	2.9	2.8
特に変化はない	70.9	80.3	56.6
わからない	2.8	1.9	4.1
無回答	0.3	0.0	0.7

(3) 長期処方を実施している患者（調査票設問2. ④）

長期処方を実施したことが「ある」と回答した場合、長期処方を実施している患者は、長期処方有・リフィル処方有、長期処方有・リフィル処方無はいずれも「症状が安定している患者」が最も多くそれぞれ 87.5%、92.7%であった。

図表 3-6 長期処方を処方している患者（複数回答）
（個人の処方経験別）

	全体	長期処方有・リ フィル処方有	長期処方有・リ フィル処方無
回答数(件)	358	112	246
自施設のかかりつけの患者	72.1	68.8	73.6
症状が安定している患者	91.1	87.5	92.7
通院が困難な患者（高齢、遠方など）	60.1	64.3	58.1
服薬管理が適切にできている患者	61.7	53.6	65.4
希望があった患者	45.0	53.6	41.1
その他	0.6	0.0	0.8
無回答	0.3	0.9	0.0

(4) 長期処方を実施している理由（調査票設問2. ⑤）

長期処方を実施したことが「ある」と回答した場合、長期処方を実施している理由は、長期処方有・リフィル処方有、長期処方有・リフィル処方無はいずれも「症状が安定していたから」が最も多くそれぞれ 87.5%、91.9%であった。

図表 3-7 長期処方を実施している理由（複数回答）
（個人の処方経験別）

	全体	長期処方有・リ フィル処方有	長期処方有・リ フィル処方無
回答数(件)	358	112	246
症状が安定していたから	90.5	87.5	91.9
患者の通院負担（時間・費用）を軽減するから	64.8	67.0	63.8
患者が高齢・遠方などで通院が困難だから	64.0	62.5	64.6
患者が服薬管理を適切に行えているから	57.3	50.0	60.6
医師の診察時に状態を十分に確認できているから	52.5	47.3	54.9
その他	1.7	1.8	1.6
無回答	0.6	0.9	0.4

(5) 長期処方を実施したことがない理由 (調査票設問2. ⑥)

長期処方を実施したことが「ない」と回答した場合、長期処方を実施したことがない理由は、全体で「定期的な診察で状態を確認したいから」が最も多く 66.7%であった。

図表 3-8 長期処方を実施したことがない理由 (複数回答)
(施設種別)

	全体	病院	診療所
回答数(件)	42	22	19
症状が安定している患者がいなかったから	14.3	18.2	10.5
患者の服薬管理や残薬・飲み忘れに不安があるから	28.6	22.7	36.8
定期的な診察で状態を確認したいから	66.7	59.1	78.9
長期処方による副作用や体調変化の見逃しが心配だから	35.7	31.8	42.1
患者から長期処方を希望されることがないから	28.6	36.4	21.1
処方を提案したが、患者が断ったから	4.8	4.5	5.3
その他	7.1	4.5	5.3
無回答	0.0	0.0	0.0

※「病院」「診療所」の回答数は30件以下であり、結果のばらつきが大きくなる可能性があるため、参考値として参照する必要がある。

(6) 患者への長期処方の説明・案内の実施状況 (調査票設問2. ⑦)

患者への長期処方の説明・案内の実施状況は、長期処方有・リフィル処方有、長期処方有・リフィル処方無は、いずれも「患者から希望があれば説明・案内している」が50%以上を占めていた。

図表 3-9 患者への長期処方の説明・案内の実施状況 (複数回答)
(個人の処方経験別)

	全体	長期処方有・リ フィル処方有	長期処方有・リ フィル処方無	長期処方無
回答数(件)	400	112	246	42
患者から希望があれば説明・案内している	52.3	59.8	50.8	38.1
患者からの希望の有無に関わらず説明・案内している	27.8	25.0	32.9	4.8
基本的に説明・案内していない	20.0	15.2	16.3	57.1
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0

(7) 長期処方について患者からの希望の有無 (調査票設問2. ⑧)

長期処方について患者からの希望の有無は、長期処方有・リフィル処方有、長期処方有・リフィル処方無は、いずれも希望が「あった」が多かった。

なお、本調査における希望が「あった」は、調査票において希望の頻度や継続性を定義していない。したがって、回答者は「過去に希望があった経験」を広く含めて回答している可能性があり、結果の解釈にあたってはこの点に留意する必要がある。

図表 3-10 長期処方について患者からの希望の有無
(個人の処方経験別)

	全体	長期処方有・リ フィル処方有	長期処方有・リ フィル処方無	長期処方無
回答数(件)	400	112	246	42
あった	81.5	92.9	87.8	11.9
なかった	18.5	7.1	12.2	88.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0

(8) 長期処方に係る検討についての今後の見通し (調査票設問2. ⑨)

長期処方に係る検討についての今後の見通しは、長期処方有・リフィル処方有、長期処方有・リフィル処方無は、いずれも「患者希望があれば検討する」がそれぞれ 61.6%、63.0%で最も多かった。

図表 3-11 長期処方に係る検討についての今後の見通し
(個人の処方経験別)

	全体	長期処方有・リ フィル処方有	長期処方有・リ フィル処方無	長期処方無
回答数(件)	400	112	246	42
積極的に検討する	30.0	31.3	34.6	0.0
患者希望があれば検討する	61.0	61.6	63.0	50.0
検討には消極的	9.0	7.1	2.4	50.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0

(9) 「積極的に検討する」と回答した理由 (調査票設問2. ⑩)

長期処方に係る検討を「積極的に検討する」と回答した場合、その回答理由は、長期処方有・リフィル処方有では「患者の待ち時間が減るから」が 65.7%で最も多く、長期処方有・リフィル処方無は「医師の負担軽減につながるから」が 71.8%で最も多かった。

図表 3-12 「積極的に検討する」と回答した理由 (複数回答)
(個人の処方経験別)

	全体	長期処方有・リ フィル処方有	長期処方有・リ フィル処方無	長期処方無
回答数(件)	120	35	85	0
患者からの希望が多いから	46.7	45.7	47.1	0.0
患者の待ち時間が減るから	66.7	65.7	67.1	0.0
医師の負担軽減につながるから	68.3	60.0	71.8	0.0
その他	8.3	2.9	10.6	0.0
無回答	0.8	0.0	1.2	0.0

(10) 「検討には消極的」と回答した理由 (複数回答) (調査票設問2. ⑪)

長期処方に係る検討について「検討には消極的」と回答した場合、その回答理由は、全体では「定期的な診察によるフォローが必要と考えるから」が 75.0%で最も多く、次いで「医師が患者の症状の変化に気付きにくくなるから」が 72.2%で多かった。

図表 3-13 「検討には消極的」と回答した理由
(個人の処方経験別)

	全体	長期処方有・リ フィル処方有	長期処方有・リ フィル処方無	長期処方無
回答数(件)	36	8	6	22
医師が患者の症状の変化に気付きにくくなるから	72.2	75.0	66.7	72.7
患者の服薬管理や残薬・飲み忘れに不安があるから	41.7	50.0	50.0	36.4
定期的な診察によるフォローが必要と考えるから	75.0	75.0	83.3	72.7
その他	13.9	12.5	33.3	9.1
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0

※「クロス集計」の回答数はいずれも 30 件以下であり、結果のばらつきが大きくなる可能性があるため、参考値として参照する必要がある。

3) リフィル処方箋について

(1) リフィル処方箋を発行している患者（調査票設問3. ③）

リフィル処方箋を発行したことが「ある」と回答した場合、リフィル処方箋を発行している患者は、「自施設のかかりつけの患者」が100.0%で、次いで「自施設と連携する薬局に「かかりつけ薬剤師」がいる患者」が14.9%であった。

図表 3-14 リフィル処方箋を発行している患者（複数回答）

	割合
回答数(件)	114
自施設のかかりつけの患者	100.0
自施設と連携する薬局に「かかりつけ薬剤師」がいる患者	14.9
自施設と連携する薬局以外の薬局に「かかりつけ薬剤師」がいる患者	7.0
その他	0.9
無回答	0.0

(2) 長期処方ではなくリフィル処方箋を発行する理由（調査票設問3. ⑤）

リフィル処方箋を発行したことが「ある」と回答した場合、長期処方ではなくリフィル処方箋を発行する理由は、全体では「患者が適切に薬の管理ができるか心配なため」及び「薬剤師との連携により患者の状態や副作用のモニタリングができるため」が40%以上を占めていた。

また施設種別では、病院は「患者が適切に薬の管理ができるか心配なため」が48.6%で最も多く、診療所では「薬剤師との連携により患者の状態や副作用のモニタリングができるため」が47.4%で最も多かった。

図表 3-15 長期処方ではなくリフィル処方箋を発行する理由（複数回答）
(施設種別)

	今回調査			参考:令和6年度調査		
	全体	病院	診療所	全体	病院	診療所
回答数(件)	114	35	78	164	41	123
患者が適切に薬の管理ができるか心配なため	42.1	48.6	39.7	38.4	34.1	39.8
薬剤師との連携により患者の状態や副作用のモニタリングができるため	41.2	28.6	47.4	50.6	34.0	56.1
その他	23.7	20.0	24.4	29.3	36.6	26.8
無回答	5.3	8.6	3.8	3.7	2.4	4.1

(3) リフィル処方箋の2回目・3回目の調剤における薬局からの報告に対する考え（調査票設問3. ⑧）

リフィル処方箋を発行したことが「ある」と回答した場合、リフィル処方箋の2回目・3回目の調剤における薬局からの報告に対する考えは、「問題がない場合でも、患者の来局や体調などを報告してほしい」が71.1%で最も多かった。

図表 3-16 リフィル処方箋の2回目・3回目の調剤における薬局からの報告に対する考え（複数回答）（個人の処方経験別）

	割合
回答数（件）	114
必ずしも受診を要するとは言えない場合があった	17.5
問題がない場合でも、患者の来局や体調などを報告してほしい	71.1
問題がある場合のみ報告してくればよい	11.4
報告が必要かどうかは薬局の判断に任せたい	0.0
無回答	0.0

(4) 1年前と比較したリフィル処方箋の発行件数の変化（調査票設問3. ⑩）

1年前と比較したリフィル処方箋の発行件数の変化は、全体では「特に変化はない」が72.5%で最も多かった。

図表 3-17 1年前と比較したリフィル処方箋の発行件数の変化（個人の処方経験別）

	全体	長期処方有・リ フィル処方有	長期処方有・リ フィル処方無	長期処方無
回答数(件)	400	112	246	42
処方を行うことが増えた	8.5	30.4	0.0	0.0
処方を行うことが減った	2.3	7.1	0.0	2.4
特に変化はない	72.5	61.6	78.9	64.3
わからない	16.8	0.9	21.1	33.3
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0

(5) 令和6年度診療報酬改定による処方箋料の見直しによる処方への影響（調査票設問3. ⑪）

令和6年度診療報酬改定による処方箋料の見直しによる処方への影響は、全体では「特に処方の判断に変化はない」が97.3%で最も多かった。

図表 3-18 令和6年度診療報酬改定による処方箋料の見直しによる処方への影響
(個人の処方経験別)

	全体	長期処方有・リ フィル処方有	長期処方有・リ フィル処方無	長期処方無
回答数(件)	400	112	246	42
特に処方の判断に変化はない	97.3	95.5	97.6	100.0
院内処方が増えた	0.0	0.0	0.0	0.0
処方日数を増やした	2.8	4.5	2.4	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0

(6) リフィル処方箋を発行しなかった理由（調査票設問3. ⑫）

リフィル処方箋を発行したことが「ない」と回答した場合、長期処方有では、「長期処方で対応が可能だったから」が62.6%で最も多く、長期処方無では、「患者からの求めがないから」が46.3%で最も多かった。

図表 3-19 リフィル処方箋を発行しなかった理由（複数回答）
(個人の処方経験別)

	全体	長期処方有	長期処方無
回答数(件)	287	246	41
症状が安定している患者がいなかったから	5.2	2.4	22.0
薬剤師と適切に連携して管理できる患者がいなかったから	9.8	7.3	24.4
症状が安定し、薬剤師と連携して管理できるが、医師の判断が必須だったから	11.5	10.2	19.5
長期処方で対応が可能だったから	57.5	62.6	26.8
患者からの求めがないから	49.1	49.6	46.3
発行を提案したが、患者が断ったから	1.4	1.2	2.4
その他	8.4	8.1	9.8
無回答	0.7	0.8	0.0

(7) リフィル処方箋の発行ではなく長期処方を行った理由 (調査票設問3. ⑬)

リフィル処方箋を発行したことがない理由が「長期処方で対応が可能だったから」と回答した場合、リフィル処方箋の発行ではなく長期処方を行った理由は、全体では「薬を処方する際には医師の判断が毎回必須と考えるから」が63.6%で最も多く、次いで「患者にリフィル処方箋を必要とされていないから」が40.0%であった。

図表 3-20 リフィル処方箋の発行ではなく長期処方を行った理由 (複数回答)
(個人の処方経験別)

	割合
回答数(件)	154
薬を処方する際には医師の判断が毎回必須と考えるから	64.3
患者にリフィル処方箋を必要とされていないから	39.0
処方箋の不正利用が心配だから	14.9
リフィル処方の仕組みがよく分からないから	24.7
患者が薬局に行く負担を軽減するため	25.3
患者の費用負担が少ないから	11.7
患者が希望したから	5.8
その他	3.2
無回答	0.6

※「長期処方無」の回答数は30件以下であり、結果のばらつきが大きくなる可能性があるため、参考値として参照する必要がある。

(8) 患者へのリフィル処方の説明・案内の実施状況 (調査票設問3. ⑭)

患者へのリフィル処方の説明・案内の実施状況は、全体では「基本的に説明・案内していない」が54.8%で最も多かった。施設種別では、病院では「基本的に説明・案内していない」が66.5%で最も多く、診療所では「患者から希望があれば説明・案内している」が50.0%で最も多かった。

図表 3-21 患者へのリフィル処方の説明・案内の実施状況
(個人の処方経験別)

	全体	長期処方・リ フィル処方有	長期処方・リ フィル処方無	長期処方無
回答数(件)	400	112	246	42
患者から希望があれば説明・案内している	37.3	60.7	27.6	31.0
患者からの希望の有無に関わらず説明・案内している	8.0	25.0	1.2	2.4
基本的に説明・案内していない	54.8	14.3	71.1	66.7
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0

図表 3-22 患者へのリフィル処方の説明・案内の実施状況
(施設種別)

	全体	病院	診療所
回答数(件)	400	230	164
患者から希望があれば説明・案内している	37.3	28.7	50.0
患者からの希望の有無に関わらず説明・案内している	8.0	4.8	12.8
基本的に説明・案内していない	54.8	66.5	37.2
無回答	0.0	0.0	0.0

(9) 令和6年度診療報酬改定により、リフィル処方箋を発行した場合も特定疾患処方管理加算が算定可能となったことに対する認知（調査票設問3. ⑮）

令和6年度診療報酬改定により、リフィル処方箋を発行した場合も特定疾患処方管理加算が算定可能となったことに対する認知は、全体では「知らなかった」が67.0%で最も多かった。

図表 3-23 令和6年度診療報酬改定により、リフィル処方箋を発行した場合も特定疾患処方管理加算が算定可能となったことに対する認知

（個人の処方経験別）

	全体	長期処方・リ フィル処方有	長期処方・リ フィル処方無	長期処方無
回答数(件)	400	112	246	42
知っている	33.0	43.8	27.2	38.1
知らなかった	67.0	56.3	72.8	61.9
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0

(10) 「検討には消極的」と回答した理由（調査票設問3. ⑲）

リフィル処方に係る検討について「検討には消極的」と回答した場合、その回答理由は、全体では「医師が患者の症状の変化に気付きにくくなるから」が64.5%で最も多く、次いで「薬を処方する際には医師の判断が毎回必須と考えるから」が52.0%で多かった。

図表 3-24 「検討には消極的」と回答した理由（複数回答）

（個人の処方経験別）

	全体	長期処方・リ フィル処方有	長期処方・リ フィル処方無	長期処方無
回答数(件)	152	15	111	26
医師が患者の症状の変化に気付きにくくなるから	64.5	66.7	65.8	57.7
薬を処方する際には医師の判断が毎回必須と考えるから	52.0	33.3	53.2	57.7
患者にリフィル処方箋が必要とされていないから	28.9	26.7	28.8	30.8
処方箋の不正利用が心配だから	20.4	26.7	14.4	42.3
リフィル処方の仕組みがよくわからないから	19.7	0.0	24.3	11.5
薬剤師からのフィードバック（服薬情報提供書等）が十分に得られないから	13.8	33.3	12.6	7.7
その他	11.8	20.0	10.8	11.5
無回答	0.7	0.0	0.9	0.0

※「長期処方・リフィル処方有」「長期処方無」の回答数は30件以下であり、結果のばらつきが大きくなる可能性があるため、参考値として参照する必要がある。

(11) リフィル処方デメリットとして懸念していること（調査票設問3. ㊹）

リフィル処方デメリットとして懸念していることは、全体では「患者の症状の変化や副作用の見逃し」が71.8%で最も多く、次いで「患者の服薬管理への不安」が51.5%で多かった。

図表 3-25 リフィル処方デメリットとして懸念していること（複数回答）
（個人の処方経験別）

	全体	長期処方有・リ フィル処方有	長期処方有・リ フィル処方無	長期処方無
回答数(件)	400	112	246	42
患者の症状の変化や副作用の見逃し	71.8	62.5	73.6	85.7
患者が調剤を受ける際の負担の増加	23.8	29.5	22.8	38.1
処方箋の不正利用	34.8	33.9	32.9	47.6
患者の服薬管理への不安	51.5	51.8	49.6	61.9
薬剤師との連携への不安	21.3	13.4	24.8	21.4
その他	4.5	7.1	3.7	2.4
特に懸念はない	6.8	8.0	7.3	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0

図表 3-26 リフィル処方デメリットとして懸念していること（複数回答）
（施設種別）

	全体	病院	診療所
回答数(件)	400	230	164
患者の症状の変化や副作用の見逃し	71.8	67.0	79.3
患者が調剤を受ける際の負担の増加	23.8	20.4	28.0
処方箋の不正利用	34.8	30.9	40.2
患者の服薬管理への不安	51.5	47.4	57.9
薬剤師との連携への不安	21.3	20.4	22.0
その他	4.5	3.9	4.9
特に懸念はない	6.8	8.7	3.7
無回答	0.0	0.0	0.0

(12) リフィル処方箋の普及に向けた課題（調査票設問3. ㉑）

リフィル処方箋の普及に向けた課題は、全体では「患者への仕組みの周知が十分でないこと」が67.5%で最も多く、次いで「処方日数・量に制限のある医薬品をリフィル処方にできないこと」が40.0%が多かった。

図表 3-27 リフィル処方箋の普及に向けた課題（複数回答）
（個人の処方経験別）

	全体	長期処方有・リ フィル処方有	長期処方有・リ フィル処方無	長期処方無
回答数(件)	400	112	246	42
患者への仕組みの周知が十分でないこと	67.5	67.0	68.7	64.3
薬剤師への仕組みの周知が十分でないこと	20.5	21.4	20.3	19.0
かかりつけ薬剤師制度の普及が十分でないこと	33.0	27.7	35.4	33.4
処方日数・量に制限のある医薬品をリフィル処方にできないこと	40.0	38.4	40.7	40.4
その他	13.3	11.6	14.2	11.9
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0

図表 3-28 リフィル処方箋の普及に向けた課題（複数回答）
（施設種別）

	全体	病院	診療所
回答数(件)	400	230	164
患者への仕組みの周知が十分でないこと	67.5	74.8	56.7
薬剤師への仕組みの周知が十分でないこと	20.5	22.2	17.7
かかりつけ薬剤師制度の普及が十分でないこと	33.0	35.7	29.9
処方日数・量に制限のある医薬品をリフィル処方にできないこと	40.0	42.6	35.4
その他	13.3	11.3	15.9
無回答	0.0	0.0	0.0

4. 保険薬局調査

【調査対象等】

○調査票 施設票

調査対象：令和6年9月調剤分から11月調剤分のうち、1件以上のリフィル処方箋の受付実績がある保険薬局から500件、同期間に受付実績がない保険薬局から500件をそれぞれ無作為抽出し、合計で1,000件を調査対象とした。

回答数：455件（回答率：45.5%）

回答者：開設者・管理者

※ リフィル処方箋の受付経験の有無によって調査対象を抽出したが、本調査結果において「リフィル処方箋の受付経験が有る」とは、以下設問において過去に1件以上リフィル処方箋の発行実績が有ると回答している保険薬局であることを指す。

※ 「全体」はその設問に回答したすべての人数を示している。ただし、クロス集計に使用している設問に未回答の場合、その人数はクロス集計の対象外となる。そのため、「全体」とクロス集計軸の合計数は一致しない場合がある。

※ 単純集計・クロス集計の各図に記載された「回答数（件）」の数値は実際の全回答者数、同じ列のそれ以外の項目の数値は全回答者数に対する設問の選択肢の回答者の割合（％）をそれぞれ示し、オレンジのバーは回答者の割合の大きさを視覚的に表している。

1) 回答者（薬局）の状況について

(1) リフィル処方箋の受付経験（調査票設問2. ⑤）

回答があった薬局では、リフィル処方箋の受付経験については「受け付けたことがある」が69.9%であった。

図表 4-1 リフィル処方箋の受付経験

	今回調査	参考:令和6年度調査
回答数（件）	455	438
リフィル処方箋を受け付けたことがある	69.9	58.2
受け付けたことはない	28.6	38.6
無回答	1.5	3.2

(2) 開設者（調査票設問1. ②）

回答があった薬局の開設者は、リフィル処方箋の受付実績がある薬局は「法人」が90.9%、「個人」が7.5%であった。リフィル処方箋の受付実績がない薬局は「法人」が86.9%、「個人」が10.0%であった。

図表 4-2 開設者
(リフィル処方箋の受付実績有無別)

	今回調査			参考:令和6年度調査		
	全体	リフィル処方箋を受け付けたことがある	受け付けたことはない	全体	リフィル処方箋を受け付けたことがある	受け付けたことはない
回答数(件)	455	318	130	438	255	169
法人	89.9	90.9	86.9	94.5	95.3	93.5
個人	8.1	7.5	10.0	5.3	4.3	6.5
その他	0.2	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0
無回答	1.8	1.6	2.3	0.2	0.4	0.0

(3) 薬局の立地 (調査票設問 1. ⑤)

薬局の立地は、リフィル処方箋の受付実績がある薬局は「医療機関の近隣にある」が 67.0%と最も多く、次いで「近隣に医療機関はない」が 11.6%と多かった。リフィル処方箋の受付実績がない薬局も「医療機関の近隣にある」が 79.2%と最も多く、次いで「近隣に医療機関はない」が 9.2%と多かった。

図表 4-3 薬局の立地
(リフィル処方箋の受付実績有無別)

	全体	リフィル処方箋を受け付けたことがある	受け付けたことはない
回答数(件)	455	318	130
医療機関の近隣にある	69.5%	67.0%	79.2%
医療モールの中にある	1.8%	2.5%	0.0%
医療機関の敷地内にある	2.2%	1.9%	3.1%
ビル診療所と同じ建物内にある	3.3%	4.1%	1.5%
近隣に医療機関はない	10.8%	11.6%	9.2%
その他	2.0%	2.2%	1.5%
無回答	10.5%	10.7%	5.4%

(4) 現在の立地に至った経緯 (調査票設問 1. ⑥)

現在の薬局の立地に至った経緯は、リフィル処方箋の受付実績がある薬局は「既にある医療機関の近隣に立地することを目的として開設した」が 45.3%と最も多かった。

図表 4-4 現在の立地に至った経緯
(リフィル処方箋の受付実績有無別)

	全体	リフィル処方箋を受け付けたことがある	受け付けたことはない
回答数(件)	358	247	111
既にある医療機関の近隣に立地することを目的として開設した	45.3	45.3	45.0
医療機関からの誘致・要請を受けて開設した	10.6	8.9	14.4
薬局が主導して医療モール等を企画・開設し、医療機関を誘致した	2.5	3.2	0.9
医療機関との位置関係は考慮せず開設した	12.3	14.2	8.1
医療機関と薬局、両者の協議により、連携を意図して開設した	13.1	12.6	14.4
その他	12.3	13.0	10.8
無回答	3.9	2.8	6.3

(5) 応需医療機関数 (調査票設問 1. ⑦)

応需医療機関数 (令和 7 年 4 月～6 月の月平均値) は、リフィル処方箋の受付実績がある薬局で平均 94.4 機関、リフィル処方箋の受付実績がない薬局で平均 41.6 機関であった。

図表 4-5 応需医療機関数
(リフィル処方箋の受付実績有無別)

	今回調査			参考:令和6年度調査		
	全体	リフィル処方箋を受け付けたことがある	受け付けたことはない	全体	リフィル処方箋を受け付けたことがある	受け付けたことはない
回答数(件)	455	318	130	438	255	169
1～9機関	7.9	4.1	17.7	8.9	4.3	16.6
10～19機関	10.5	7.9	16.9	9.1	6.3	14.2
20～29機関	10.8	10.4	11.5	13.5	10.2	18.9
30～39機関	9.7	7.9	14.6	13.0	10.6	17.2
40～49機関	6.8	5.7	10.0	5.7	4.7	6.5
50～59機関	8.1	9.4	3.8	6.4	6.3	6.5
60～69機関	6.8	8.5	3.1	4.1	3.9	4.7
70～79機関	5.7	6.3	4.6	2.7	2.7	3.0
80機関以上	27.5	34.0	10.8	25.8	34.9	11.2
無回答	6.2	6.0	6.9	10.7	16.1	1.2

	全体	リフィル処方箋を受け付けたことがある	受け付けたことはない	全体	リフィル処方箋を受け付けたことがある	受け付けたことはない
回答数(件)	427	299	121	391	214	167
平均値	79	94.4	41.6	64.2	82.6	39.8
標準偏差	99.7	109.9	56.3	61.9	69.3	40.6
中央値	50	61	30	40	59	29

※本表の「平均値」「標準偏差」「中央値」はすべて「機関数」を単位としている。

(6) 調剤基本料の届出状況 (調査票設問 1. ⑪)

令和 7 年度の調剤基本料の届出状況については、リフィル処方箋の受付実績がある薬局は「調剤基本料 1」が最も多く 52.5%、次いで「調剤基本料 3 ハ」が多く 33.3%であった。リフィル処方箋の受付実績がない薬局についても「調剤基本料 1」が最も多く 76.2%、次いで「調剤基本料 3 ハ」が多く 9.2%であった。

図表 4-6 調剤基本料の届出状況
(リフィル処方箋の受付実績有無別)

	今回調査			参考:令和6年度調査		
	全体	リフィル処方箋を受け付けたことがある	受け付けたことはない	全体	リフィル処方箋を受け付けたことがある	受け付けたことはない
回答数(件)	455	318	130	438	255	169
調剤基本料1	59.3	52.5	76.2	60.0	53.3	69.8
調剤基本料2	2.9	1.9	5.4	3.9	3.9	4.1
調剤基本料3イ	3.7	4.4	2.3	3.7	3.9	3.6
調剤基本料3ロ	6.2	6.3	6.2	5.7	5.5	6.5
調剤基本料3ハ	26.6	33.3	9.2	23.7	31.0	12.4
特別調剤基本料 A	0.9	0.9	0.8	1.8	1.6	2.4
特別調剤基本料 B	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	0.4	0.6	0.0	1.1	0.8	1.2

(7) 認定等の状況 (調査票設問 1. ⑫)

薬局の認定等の状況は「該当なし」が最も多く、リフィル処方箋の受付実績がある薬局では 60.1%、リフィル処方箋の受付実績がない薬局では 68.5%であった。

図表 4-7 認定等の状況 (複数回答)
(リフィル処方箋の受付実績有無別)

	今回調査			参考:令和6年度調査		
	全体	リフィル処方箋を受け付けたことがある	受け付けたことはない	全体	リフィル処方箋を受け付けたことがある	受け付けたことはない
回答数(件)	455	318	130	438	255	169
地域連携薬局	18.2	19.8	14.6	15.3	20.4	8.9
専門医療機関連携薬局	0.2	0.3	0.0	0.9	1.6	0.0
健康サポート薬局 (健康増進支援薬局)	7.0	8.8	3.1	9.8	13.3	4.7
該当なし	62.4	60.1	68.5	63.0	58.0	70.4
無回答	16.3	16.7	14.6	16.9	16.1	17.2

2) リフィル処方箋の対応状況について

(1) リフィル処方箋を受け付けた医療機関の医療機能区分（調査票設問3. ②-2）

リフィル処方箋を受け付けたことが「ある」と回答した場合、どのような医療機能をもつ医療機関からリフィル処方箋を受け付けたかについては、「診療所」が最も多く42.8%、次いで「一般病院1（主として、日常生活圏域等の比較的狭い地域において地域医療を支える中小規模病院）」が28.9%であった。

図表 4-8 リフィル処方箋を受け付けた医療機関の医療機能区分（複数回答）

	割合
回答数（件）	318
一般病院1（主として、日常生活圏域等の比較的狭い地域において地域医療を支える中小規模病院）	28.9
一般病院2（主として、二次医療圏等の比較的広い地域において急性期医療を中心に地域医療を支える基幹的病院）	28.0
一般病院3（主として、高度の医療の提供、高度の医療技術の開発・評価、高度の医療に関する研修を実施する病院または準ずる病院（特定機能病院、大学病院本院等））	24.2
リハビリテーション病院	0.3
慢性期病院	0.0
精神科病院	0.0
緩和ケア病院	0.0
診療所	42.8
その他	0.9
無回答	1.6

(2) リフィル処方箋の件数の変化（調査票設問3. ⑤）

リフィル処方箋を受け付けたことが「ある」と回答した場合、令和6年度診療報酬改定の前後で、最後の回の調剤を終えたリフィル処方箋の件数に変化はあったかについては、「変わらない」が最も多く74.2%、次いで「やや増えた」が17.6%であった。

図表 4-9 リフィル処方箋の件数の変化

	割合
回答数（件）	318
非常に増えた	0.9
やや増えた	17.6
変わらない	74.2
やや減った	3.8
非常に減った	1.9
無回答	1.6

(3) 患者が来局したことに係る医療機関（かかりつけ医）への報告（調査票設問3. ⑩）

リフィル処方箋を受け付けたことが「ある」と回答した場合、リフィル処方箋の2回目・3回目の調剤を行った際、患者が来局したことを医療機関（かかりつけ医）に報告しているかについては、「報告していない」が最も多く48.7%、次いで「副作用の発現等、必要に応じて報告している」が25.5%であった。

図表 4-10 患者が来局したことに係る医療機関（かかりつけ医）への報告

	割合
回答数（件）	318
毎回報告している	22.6
副作用の発現等、必要に応じて報告している	25.5
報告していない	48.7
その他	0.6
無回答	2.5

(4) 患者が来局しなかったことに係る医療機関（かかりつけ医）への報告（調査票設問3. ⑪）

リフィル処方箋を受け付けたことが「ある」と回答した場合、リフィル処方箋の2回目・3回目の調剤の期間に来局しなかった場合、医療機関（かかりつけ医）に報告しているかについて、来局しなかったケースで最も多かったのは「報告していない」で28.6%であり、かかりつけ医との情報共有が十分でないケースが一定数存在することが示唆された。

図表 4-11 患者が来局しなかったことに係る医療機関（かかりつけ医）への報告

	割合
回答数（件）	318
必ず報告している	3.1
必要と判断した場合のみ報告している	15.4
報告していない	28.6
来局しなかったケースはない	49.4
その他	0.9
無回答	2.5

3) 長期処方への対応状況について

(1) 長期処方を応需する件数が多い医療機関の医療機能区分（調査票設問4. ①ー2）

どのような医療機能をもつ医療機関から長期処方を受け付けたかについては、リフィル処方箋の受付実績がある薬局は「一般病院2（主として、二次医療圏等の比較的広い地域において急性期医療を中心に地域医療を支える基幹的病院）」が最も多く56.3%、次いで「一般病院1（主として、日常生活圏域等の比較的狭い地域において地域医療を支える中小規模病院）」が50.0%であった。

図表 4-12 長期処方を応需する件数が多い医療機関の医療機能区分（複数回答）

	全体	リフィル処方箋を受け付けたことがある	受け付けたことはない
回答数(件)	455	318	130
一般病院1（主として、日常生活圏域等の比較的狭い地域において地域医療を支える中小規模病院）	49.2	50.0	48.5
一般病院2（主として、二次医療圏等の比較的広い地域において急性期医療を中心に地域医療を支える基幹的病院）	53.8	56.3	49.2
一般病院3（主として、高度の医療の提供、高度の医療技術の開発・評価、高度の医療に関する研修を実施する病院または準ずる病院（特定機能病院、大学病院本院等））	45.5	47.8	40.8
リハビリテーション病院	3.7	3.5	3.8
慢性期病院	5.7	5.7	4.6
精神科病院	6.6	6.9	6.2
緩和ケア病院	0.2	0.3	0.0
診療所	38.0	37.1	39.2
その他	0.7	0.6	0.0
無回答	2.4	1.3	5.4

4) リフィル処方箋の制度に対する相談体制や課題等について

(1) 薬剤師としてリフィル処方が適すると考える状況等（調査票設問5. ②）

薬剤師としてリフィル処方が適すると考える状況等については、リフィル処方箋の受け付け有無にかかわらず、「待ち時間の長い医療機関から処方がある場合」が最も多くそれぞれ41.2%、30.8%であった。

図表 4-13 薬剤師としてリフィル処方が適すると考える状況等（複数回答）
（リフィル処方箋の受付実績有無別）

	今回調査			参考:令和6年度調査		
	全体	リフィル処方箋を受け付けたことがある	受け付けたことはない	全体	リフィル処方箋を受け付けたことがある	受け付けたことはない
回答数(件)	455	318	130	438	255	169
医薬品供給が不安定な品目が処方されている場合	17.4	16.4	19.2	16.7	13.7	21.9
パンデミックや災害による医療アクセスの制限がある場合	23.5	24.5	21.5	26.7	22.4	33.1
待ち時間の長い医療機関から処方がある場合	38.2	41.2	30.8	29.9	33.3	25.4
医師不足や医療資源が限られている地域での対応が求められる場合	26.2	28.3	22.3			
受診の間隔を延長する際の切り替え(例:30日処方→30日×2回)	22.2	26.7	11.5	29.5	36.5	20.1
長期処方からの切り替え(例:60日処方→30日×2回)	27.3	30.5	20.8	32.0	36.1	26.6
かかりつけ薬剤師指導料の同意を得ている患者	6.6	7.9	3.8	10.3	8.2	13.6
調剤後薬剤管理指導料に係るフォローアップを実施している患者	7.0	7.5	6.2	14.2	14.1	14.8
対面でのフォローアップが必要な患者	20.4	21.7	18.5			
遠距離の医療機関を受診している患者	38.9	43.4	28.5			
副作用のモニタリングが必要な患者	20.7	21.1	20.8			
その他	3.1	2.5	3.1	4.6	5.9	2.4
無回答	5.7	4.1	9.2	6.8	6.3	6.5

(2) 薬局でリフィル処方箋を受けるにあたっての課題（調査票設問5. ③）

薬局でリフィル処方箋を受けるにあたっての課題については、リフィル処方箋を受け付けたことがある保険薬局では「患者が処方箋を紛失してしまうことへの対応」が最も多く59.1%、リフィル処方箋を受け付けたことがない保険薬局でも「患者が処方箋を紛失してしまうことへの対応」が最も多く65.4%であった。

図表 4-14 薬局でリフィル処方箋を受けるにあたっての課題（複数回答）
（リフィル処方箋の受付実績有無別）

	今回調査			参考:令和6年度調査		
	全体	リフィル処方箋を受け付けたことがある	受け付けたことはない	全体	リフィル処方箋を受け付けたことがある	受け付けたことはない
回答数(件)	455	318	130	438	255	169
患者が次回調剤日に別の薬局を利用した場合の対応	40.4	36.2	52.3	43.2	36.5	53.8
患者が処方箋を紛失してしまうことへの対応	60.4	59.1	65.4	62.3	58.4	68.6
調剤か受診勧奨の適切な判断の実施	28.8	28.0	31.5	26.0	25.9	24.9
適切な副作用の評価	21.5	23.9	16.9	16.9	18.4	15.4
リフィル処方箋を受付する機会が少なく対応に不慣れであること	38.0	31.8	54.6	36.8	18.4	65.7
処方医との適切な情報連携	20.4	20.4	20.8	20.5	20.4	21.9
患者が2回目以降、期限内に来局することへの対応	43.5	41.8	48.5	47.5	45.1	52.1
患者がリフィル処方箋の仕組みを理解すること	35.6	34.9	38.5			
医師がリフィル処方箋の仕組みを理解すること	16.9	17.0	16.9			
薬剤師がリフィル処方箋の仕組みを理解すること	11.9	11.0	14.6			
その他	3.5	4.1	1.5	2.7	3.5	1.8
特になし	4.0	3.8	3.8	3.2	5.1	0.6
無回答	2.6	0.6	6.9	3.4	3.5	2.4

(3) 患者から最も多く受けた相談の内容（調査票設問5. ⑤ー2）

患者からのリフィル処方に関する相談を受けた経験が「ある」と回答した場合、受けた相談の内容については、リフィル処方箋の受け付け有無にかかわらず、「リフィル処方箋を使用したい」が最も多く、次いで「リフィル処方がどのような仕組みになっているのかを知りたい」であった。

図表 4-15 最も多く受けた相談の内容

	全体	リフィル処方箋を受け付けたことがある	受け付けたことはない
回答数(件)	84	72	9
リフィル処方箋を使用したい	48.8	45.8	55.6
リフィル処方がどのような仕組みになっているのかを知りたい	38.1	41.7	22.2
自身がリフィル処方の対象になりうるか知りたい	2.4	1.4	11.1
医師への相談（申し出）方法について知りたい	6.0	5.6	11.1
その他	3.6	4.2	0.0
無回答	1.2	1.4	0.0

※「受け付けたことはない」の回答数は30件以下であり、結果のばらつきが大きくなる可能性があるため、参考値として参照する必要がある。

5) 長期処方の仕組みに対する相談体制や課題等

(1) 長期処方を医師へ提案したことのある薬剤の種類(調査票設問6. ①)

長期処方(本調査では28日以上とする)を医師へ提案したことのある薬剤の種類については、リフィル処方箋を受け付けた経験の有無にかかわらず、「長期処方を医師へ提案したことはない」が最も多く、それぞれ87.1%、93.1%であった。

図表 4-16 長期処方を医師へ提案したことのある薬剤の種類(複数回答)

	全体	リフィル処方箋を受け付けたことがある	受け付けたことはない
回答数(件)	455	318	130
血圧降下剤	6.2	6.9	3.8
高脂血症用剤	6.2	6.6	5.4
経口血糖降下剤	3.3	4.4	0.8
インスリン製剤	0.9	0.9	0.0
ホルモン剤	0.2	0.3	0.0
花粉症治療薬	2.6	2.8	2.3
消化器用剤	3.7	3.1	4.6
その他	0.2	0.3	0.0
長期処方を医師へ提案したことはない	88.8	87.1	93.1
無回答	2.4	3.5	0.0

(2) 薬剤師として長期処方が適すると考える状況等(調査票設問6. ②)

薬剤師として長期処方が適すると考える状況等については、リフィル処方箋を受け付けたことがある保険薬局では「待ち時間の長い医療機関から処方がある場合」が最も多く48.1%、次いで「医薬品供給が安定している品目が処方されている場合」「受診の間隔を延長する際の切り替え(例:30日処方→60日処方)」がそれぞれ30.5%であった。

図表 4-17 薬剤師として長期処方が適すると考える状況等(複数回答)

	全体	リフィル処方箋を受け付けたことがある	受け付けたことはない
回答数(件)	455	318	130
医薬品供給が安定している品目が処方されている場合	34.1	30.5	42.3
パンデミックや災害による医療アクセスの制限がある場合	32.3	29.2	40.8
待ち時間の長い医療機関から処方がある場合	46.8	48.1	43.1
受診の間隔を延長する際の切り替え(例:30日処方→60日処方)	27.9	30.5	23.1
リフィル処方からの切り替え(例:30日×2回→60日処方)	9.7	10.7	7.7
かかりつけ薬剤師指導料の同意を得ている患者	6.6	7.5	4.6
調剤後薬剤管理指導料に係るフォローアップを実施している患者	8.8	8.8	9.2
その他	5.9	6.3	4.6
無回答	5.9	6.3	5.4

(3) 薬局で長期処方を受けるにあたって課題と感ずること (調査票設問 6. ③)

薬局で長期処方を受けるにあたって課題と感ずることについては、リフィル処方箋の受け付け有無にかかわらず、「医薬品の供給体制」が最も多く、次いで「適切な副作用の評価」であった。

図表 4-18 薬局で長期処方を受けるにあたって課題と感ずること (複数回答)

	全体	リフィル処方箋を受け付けたことがある	受け付けたことはない
回答数(件)	455	318	130
医薬品の供給体制	83.3	84.0	83.1
適切な副作用の評価	40.9	39.9	43.8
処方医との適切な情報連携	28.8	27.7	31.5
その他	2.0	2.2	0.8
特になし	4.8	5.0	4.6
無回答	2.0	1.9	2.3

(4) 患者からの長期処方に関する相談を受けた経験 (調査票設問 6. ④)

患者からの長期処方に関する相談を受けた経験については、リフィル処方箋を受け付けたことがある保険薬局では「ない」が 68.6%、「ある」が 28.9%であった。

図表 4-19 患者からの長期処方に関する相談を受けた経験

	全体	リフィル処方箋を受け付けたことがある	受け付けたことはない
回答数(件)	455	318	130
ある	26.6	28.9	20.8
ない	70.5	68.6	76.9
無回答	2.9	2.5	2.3

(5) 相談を受けた患者の種類 (調査票設問 6. ⑤-1)

患者からの長期処方に関する相談を受けた経験が「ある」と回答した場合、どのような患者からの相談だったかについては、リフィル処方箋を受け付けたことがある保険薬局では「待ち時間の長い医療機関からの処方を受けている患者」が 60.9%、次いで「生活習慣病に係る薬物治療を受けている患者」が 45.7%であった。

図表 4-20 相談を受けた患者の種類 (複数回答)

	全体	リフィル処方箋を受け付けたことがある	受け付けたことはない
回答数(件)	121	92	27
医薬品供給が不安定な品目を使用している患者	7.4	7.6	3.7
待ち時間の長い医療機関からの処方を受けている患者	62.8	60.9	66.7
リフィル処方を受けている患者	2.5	2.2	0.0
生活習慣病に係る薬物治療を受けている患者	47.9	45.7	59.3
かかりつけ薬剤師指導料の同意を得ている患者	5.0	6.5	0.0
調剤後薬剤管理指導料に係るフォローアップを実施している患者	0.8	1.1	0.0
その他	16.5	18.5	11.1
無回答	0.0	0.0	0.0

※「受け付けたことはない」の回答数は 30 件以下であり、結果のばらつきが大きくなる可能性があるため、参考値として参照する必要がある。

(6) 患者から最も多く受けた相談の内容（調査票設問6. ⑤-2）

患者からの長期処方に関する相談を受けた経験が「ある」と回答した場合、患者から受けた相談の内容については、リフィル処方箋の受け付け有無にかかわらず、「長期処方をしてほしい」が最も多く、それぞれ72.8%、74.1%であった。

図表 4-21 最も多く受けた相談の内容

	全体	リフィル処方箋を受け付けたことがある	受け付けたことはない
回答数(件)	121	92	27
長期処方をしてほしい	72.7	72.8	74.1
長期処方がどのような仕組みになっているのかを知りたい	4.1	4.3	3.7
自身が長期処方の対象になりうるか知りたい	9.9	9.8	11.1
医師への相談（申し出）方法について知りたい	9.1	9.8	3.7
その他	1.7	2.2	0.0
無回答	2.5	1.1	7.4

※「受け付けたことはない」の回答数は30件以下であり、結果のばらつきが大きくなる可能性があるため、参考値として参照する必要がある。

(7) 患者の希望を処方医へ情報提供した経験（調査票設問6. ⑤-3）

受け付けたことがある薬局では経験が「ない」が54.3%であった。またリフィル処方箋を受け付けたことがない薬局においても、経験が「ない」が44.4%を占めており、患者の希望情報が処方医に十分共有されていないケースが多いことが示唆された。

図表 4-22 患者の希望を処方医へ情報提供した経験

	全体	リフィル処方箋を受け付けたことがある	受け付けたことはない
回答数(件)	121	92	27
ある	44.6	43.5	51.9
ない	52.9	54.3	44.4
無回答	2.5	2.2	3.7

※「受け付けたことはない」の回答数は30件以下であり、結果のばらつきが大きくなる可能性があるため、参考値として参照する必要がある。

5. 患者調査（郵送調査／インターネット調査）

【調査対象等】

○調査票 患者票（郵送調査）

調査対象：病院・診療所調査の対象施設（2,000 件）の調査日に来院した患者及び、保険薬局調査の対象施設（1,000 件）の調査日に来局した患者を調査対象とした。1 施設につき 2 人（3,000 件×2 人＝合計 6,000 人）を本調査の対象とした。

回 答 数：860 人

回 答 者：患者本人もしくは家族

○調査票 患者票（インターネット調査）

調査対象：インターネット調査会社のモニターのうち、直近 3 か月以内に保険薬局に処方箋を持参した患者。男女別、年齢階級別に対象者数を確定した。

回 答 数：3,000 人

回 答 者：患者本人もしくは家族

※ 「全体」はその設問に回答したすべての人数を示している。ただし、クロス集計に使用している設問に未回答の場合、その人数はクロス集計の対象外となる。そのため、「全体」とクロス集計軸の合計数は一致しない場合がある。

※ 単純集計・クロス集計の各図に記載された「回答数（件）」の数値は実際の全回答者数、同じ列のそれ以外の項目の数値は全回答者数に対する設問の選択肢の回答者の割合（％）をそれぞれ示し、オレンジのバーは回答者の割合の大きさを視覚的に表している。

＜調査方法・調査対象の違いと回答結果の特徴＞

- 郵送調査は、保険薬局調査の対象施設の調査日に来局した患者を調査対象としている。性別や年齢階級での割り付けは行っていない。最大で合計 6,000 人を対象とし 860 人（男性：女性＝4：6 程度）の回答を得た。
- 一方、インターネット調査は、直近 3 ヶ月以内に保険薬局に処方箋を持って来局した患者を調査対象としている。性・年代ごとに等分（150 人ずつ）とし、地域別の割合を人口推計（総務省「人口推計（2024 年（令和 6 年）10 月 1 日現在）」）に比例配分する形とした。3,000 人の回答が得られるまで調査を行い、年代別の男女構成比は男性：女性＝1：1、郵送調査と比較すると 20 歳代以下の割合が多かった。
- 上記のように、郵送調査とインターネット調査では回答者の性別・年代特性に違いがあるため、単純な比較はできないため留意が必要である。
- また、郵送調査とインターネット調査で回答に大きな違いがあったのは下記の点である。
 - ✓ 定期的に受診している医療機関の数について、郵送調査では「1 施設」以上と回答した割合が 92.0%であったのに対し、インターネット調査では 79.0%に留まった。
 - ✓ 同様に定期的に利用している薬局の数についても、郵送調査では「1 施設」以上と回答した割合が 87.3%であったのに対し、インターネット調査では 77.1%に留まった。
 - ✓ 定期的に薬の処方を受けている疾患の有無について、郵送調査では「定期的な処方を受けている疾患はない」と回答した割合が全体で 9.3%であったのに対し、インターネット調査では 29.3%であり、郵送調査より高い傾向がみられた。

患者調査（郵送調査／インターネット調査）

- ✓ リフィル処方認知度について、郵送調査では「知らなかった」と回答した割合が全体で38.7%であったのに対し、インターネット調査では全体で72.4%であり、インターネット調査の方が認知度が低い傾向がみられた。
- ✓ 長期処方を受けた経験について、郵送調査では「ある」と回答した割合が73.3%であったのに対し、インターネット調査では57.4%であり、インターネット調査の方が長期処方の経験が低い傾向がみられた。
- ✓ リフィル処方箋2、3回目の調剤で、調剤を受けずに受診することになった経験について、郵送調査では「ない」と回答した割合が92.6%であったのに対し、インターネット調査では74.8%であり、インターネット調査の方が調剤を受けずに受診する割合が多い傾向がみられた。
- ✓ リフィル処方の利用意向について、郵送調査では「利用したくない」が17.7%であったのに対し、インターネット調査では5.4%であり、インターネット調査の方がリフィル処方の利用意向の割合が多い傾向がみられた。
- ✓ 長期処方の利用意向について、郵送調査では「利用したい」が55.4%であったのに対し、インターネット調査では38.8%であり、郵送調査の方が長期処方の利用意向の割合が多い傾向がみられた。
- 郵送調査とインターネット調査で回答結果に差が出た背景には、調査対象者の属性や医療機関・薬局の利用頻度の違いが影響していると考えられる。郵送調査は薬局に来局した患者を対象としている。このため、日常的に医療機関や薬局を利用する頻度が高い層が多く含まれていると推察される。実際に、郵送調査では「定期的に受診している医療機関や薬局」が「1施設以上」と回答した割合がインターネット調査対象者より多く、また「定期的な処方を受けている疾患はない」と回答した割合はインターネット調査対象者より低かった。そのため、医療機関・薬局との関わりが深い層が多いことが示唆される。一方、インターネット調査は年代を均等に割り付けており、若年層など、一般に薬局の利用頻度が比較的低いと考えられる層が含まれていると考えられる。さらに、インターネット調査は自宅等から手軽に回答できるため、医療制度や薬局利用に対する関心が必ずしも高くない層も参加しやすいという特徴がある。こうした調査対象者の違いが、リフィル処方認知度や長期処方の経験、利用意向等の設問においても結果の違いとして表れていると考えられる。

1) 回答者（患者）について

(1) 性別（調査票設問2. ①）

回答者の性別は、郵送調査では「男性」が39.3%、「女性」が57.9%であった。
インターネット調査では性別にサンプル数を同数で割り付けているため、割合はそれぞれ50.0%である。

図表 5-1 性別（郵送調査・インターネット調査）

	郵送調査	インターネット調査
回答数（件）	857	3000
男性	39.3	50.0
女性	57.9	50.0
無回答	2.8	0.0

（２）年代（調査票設問２．②）

年代は、郵送調査では男女ともに「50 歳代」がそれぞれ 25.8%、22.2%で最も多かった。インターネット調査では、年齢階級別にサンプル数を割り付けているため、性別にみたときの構成割合は男女ともにほぼ同様である。

図表 5-2 年代（性別）
（郵送調査）

	全体	男性	女性
回答数(件)	857	337	496
10歳代以下	3.7	6.2	2.2
20歳代	3.4	1.8	4.6
30歳代	7.2	7.1	7.7
40歳代	16.7	13.9	18.5
50歳代	23.3	25.8	22.2
60歳代	20.8	19.0	22.0
70歳代	13.8	15.1	12.9
80歳代以上	10.7	10.7	9.7
無回答	0.4	0.3	0.2

図表 5-3 年代（性別）
（インターネット調査）

	全体	男性	女性
回答数(件)	3000	1500	1500
10歳代以下	20.0	20.0	20.0
20歳代	10.0	10.0	10.0
30歳代	10.0	10.0	10.0
40歳代	10.0	10.0	10.0
50歳代	10.0	10.0	10.0
60歳代	20.0	20.0	20.0
70歳代	16.7	16.9	16.5
80歳代以上	3.3	3.1	3.5
無回答	0.0	0.0	0.0

（３）医療費の自己負担額の有無（調査票設問２．④）

医療費の自己負担額の有無についてみると、自己負担額が「ある」の割合は、郵送調査では全体で 92.4%、インターネット調査では 82.8%であった。

年代別にみると、郵送調査・インターネット調査ともに、「10 歳代」以下では自己負担額が「ある」の割合は「20 歳代」以上に比べて低かった。

図表 5-4 医療費の自己負担額の有無
（性別）（郵送調査）

	全体	男性	女性
回答数(件)	857	337	496
ある	92.4	91.7	93.1
ない	7.4	8.3	6.7
無回答	0.2	0.0	0.2

図表 5-5 医療費の自己負担額の有無
（インターネット調査）

	全体	男性	女性
回答数(件)	3000	1500	1500
ある	82.8	82.7	82.9
ない	17.2	17.3	17.1
無回答	0.0	0.0	0.0

図表 5-6 医療費の自己負担額の有無（年代）（郵送調査）

	全体	10歳代以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
回答数(件)	857	32	29	62	143	200	178	118	92
ある	92.4	34.4	93.1	91.9	95.1	97.5	96.6	93.2	90.2
ない	7.4	65.6	6.9	8.1	4.9	2.5	3.4	6.8	8.7
無回答	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1

※「20 歳代」の回答数は 30 件以下であり、結果のばらつきが大きくなる可能性があるため、参考値として参照する必要がある。

図表 5-7 医療費の自己負担額の有無（年代）（インターネット調査）

	全体	10歳代以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
回答数(件)	3000	600	300	300	300	300	600	502	98
ある	82.8	40.3	88.0	90.0	89.0	92.3	96.5	97.6	95.9
ない	17.2	59.7	12.0	10.0	11.0	7.7	3.5	2.4	4.1
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

2) 医療機関や保険薬局の利用状況について

(1) 定期的に受診している医療機関（病院・診療所）の数（調査票設問3. ①）

患者が定期的に受診している医療機関（病院・診療所）についてみると、郵送調査・インターネット調査ともに「1箇所」が最も多かった。

※本設問の図表にある「平均値」「標準偏差」「中央値」はすべて「機関数」を単位としている。

図表 5-8 定期的に受診している医療機関の数（性別）（郵送調査）

	全体	男性	女性
回答数(件)	857	337	496
0箇所	7.4	7.4	7.5
1箇所	46.1	50.4	43.5
2箇所	31.3	29.7	31.7
3箇所	11.1	8.9	12.7
4箇所以上	3.6	2.7	4.2
無回答	0.6	0.9	0.4

	全体	男性	女性
回答数(件)	852	334	494
平均値	1.6	1.5	1.6
標準偏差	1	0.9	1
中央値	1	1	1

図表 5-9 定期的に受診している医療機関の数（性別）（インターネット調査）

	全体	男性	女性
回答数(件)	3000	1500	1500
0箇所	21.0	20.6	21.5
1箇所	46.4	48.4	44.5
2箇所	20.1	19.1	21.0
3箇所	8.8	8.7	8.9
4箇所以上	3.7	3.2	4.1
無回答	0.0	0.0	0.0

	全体	男性	女性
回答数(件)	3000	1500	1500
平均値	1.3	1.3	1.3
標準偏差	1.2	1.1	1.3
中央値	1	1	1

図表 5-10 定期的に受診している医療機関の数（年代）（郵送調査）

	全体	10歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
回答数(件)	857	32	29	62	143	200	178	118	92
0箇所	7.4	6.3	37.9	25.8	11.2	6.0	2.2	1.7	0.0
1箇所	46.1	50.0	31.0	48.4	55.2	49.0	50.6	33.9	33.7
2箇所	31.3	40.6	24.1	17.7	23.8	31.5	32.6	39.0	38.0
3箇所	11.1	0.0	3.4	8.1	6.3	11.5	12.4	15.3	18.5
4箇所以上	3.6	3.1	3.4	0.0	2.8	2.0	2.2	10.2	5.4
無回答	0.6	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	4.3

	全体	10歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
回答数(件)	852	32	29	62	142	200	178	118	88
平均値	1.6	1.4	1.1	1.1	1.4	1.6	1.6	2	2
標準偏差	1	0.7	1.1	0.9	0.9	0.9	0.9	1.1	0.9
中央値	1	1	1	1	1	1	1	2	2

※「20歳代」の回答数は30件以下であり、結果のばらつきが大きくなる可能性があるため、参考値として参照する必要がある。

図表 5-11 定期的に受診している医療機関の数（年代）（インターネット調査）

	全体	10歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
回答数(件)	3000	600	300	300	300	300	600	502	98
0箇所	21.0	41.2	28.7	26.0	22.0	18.3	11.7	4.8	5.1
1箇所	46.4	36.8	47.7	48.0	51.0	56.0	50.0	44.0	43.9
2箇所	20.1	14.0	17.0	18.7	17.7	15.7	22.5	28.7	32.7
3箇所	8.8	6.3	4.3	4.7	6.7	7.7	11.3	15.1	12.2
4箇所以上	3.7	1.7	2.3	2.7	2.7	2.3	4.5	7.4	6.1
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	全体	10歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
回答数(件)	3000	600	300	300	300	300	600	502	98
平均値	1.3	0.9	1.1	1.1	1.2	1.3	1.5	1.8	1.7
標準偏差	1.2	1	1.1	1.1	1	1.3	1.2	1.6	1.1
中央値	1	1	1	1	1	1	1	2	2

（２）定期的に利用している薬局の数（調査票設問３．①）

患者が定期的に利用している薬局についてみると、郵送調査・インターネット調査ともに「１箇所」が最も多かった。

※本設問の図表にある「平均値」「標準偏差」「中央値」はすべて「機関数」を単位としている。

図表 5-12 定期的に利用している薬局の数（性別）（郵送調査）

	全体	男性	女性
回答数(件)	857	337	496
0箇所	10.2	8.9	11.1
1箇所	65.8	70.9	63.1
2箇所	18.4	15.4	20.4
3箇所	2.5	1.5	3.0
4箇所以上	0.7	0.3	0.6
無回答	2.5	3.0	1.8

	全体	男性	女性
回答数(件)	836	327	487
平均値	1.2	1.1	1.2
標準偏差	0.7	0.6	0.7
中央値	1	1	1

図表 5-13 定期的に利用している薬局の数（性別）（インターネット調査）

	全体	男性	女性
回答数(件)	3000	1500	1500
0箇所	22.9	22.5	23.3
1箇所	57.3	58.0	56.6
2箇所	15.1	14.7	15.5
3箇所	3.8	3.9	3.7
4箇所以上	0.9	0.9	0.9
無回答	0.0	0.0	0.0

	全体	男性	女性
回答数(件)	3000	1500	1500
平均値	1	1.1	1
標準偏差	1	1.2	0.8
中央値	1	1	1

図表 5-14 定期的に利用している薬局の数（年代）（郵送調査）

	全体	10歳代以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
回答数(件)	857	32	29	62	143	200	178	118	92
0箇所	10.2	12.5	37.9	33.9	14.7	9.5	4.5	1.7	1.1
1箇所	65.8	53.1	48.3	46.8	64.3	68.0	72.5	72.9	63.0
2箇所	18.4	31.3	13.8	16.1	16.1	19.5	15.2	18.6	25.0
3箇所	2.5	3.1	0.0	0.0	2.1	1.5	2.2	5.1	4.3
4箇所以上	0.7	0.0	0.0	1.6	0.0	0.5	1.7	0.0	1.1
無回答	2.5	0.0	0.0	1.6	2.8	1.0	3.9	1.7	5.4

	全体	10歳代以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
回答数(件)	836	32	29	61	139	198	171	116	87
平均値	1.2	1.3	0.8	0.9	1.1	1.1	1.2	1.3	1.4
標準偏差	0.7	0.7	0.7	0.8	0.6	0.6	0.8	0.6	0.6
中央値	1	1	1	1	1	1	1	1	1

※「20歳代」の回答数は30件以下であり、結果のばらつきが大きくなる可能性があるため、参考値として参照する必要がある。

図表 5-15 定期的に利用している薬局の数（年代）（インターネット調査）

	全体	10歳代以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
回答数(件)	3000	600	300	300	300	300	600	502	98
0箇所	22.9	43.7	31.7	28.3	22.7	20.0	13.5	6.2	5.1
1箇所	57.3	40.3	52.7	55.0	57.7	62.0	66.0	65.9	69.4
2箇所	15.1	12.2	12.3	11.0	14.3	14.3	15.5	22.3	18.4
3箇所	3.8	3.5	2.0	3.3	4.3	3.0	3.8	5.2	6.1
4箇所以上	0.9	0.3	1.3	2.3	1.0	0.7	1.2	0.4	1.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	全体	10歳代以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
回答数(件)	3000	600	300	300	300	300	600	502	98
平均値	1	0.8	0.9	1	1.1	1.1	1.1	1.3	1.3
標準偏差	1	0.8	1	0.9	1.2	1.9	0.8	0.7	0.7
中央値	1	1	1	1	1	1	1	1	1

（３）定期的に薬の処方を受けている疾患（調査票設問３．②）

患者が定期的に薬の処方を受けている疾患についてみると、郵送調査では全体では「高血圧性疾患」が38.9%で最も多く、インターネット調査では「定期的な処方を受けている疾患はない」が29.3%で最も多かった。

図表 5-16 定期的に薬の処方を受けている疾患（性別）（複数回答）（郵送調査）

	全体	男性	女性
回答数(件)	857	337	496
糖尿病	13.0	19.0	8.3
高血圧性疾患	38.9	46.3	33.1
虚血性心疾患（狭心症、心筋梗塞）	5.0	7.4	3.2
アレルギー鼻炎	12.5	10.7	13.9
脂質異常症	24.3	26.7	22.2
消化器系の疾患	11.1	13.6	9.5
悪性新生物＜腫瘍＞	2.9	2.4	3.2
神経系の疾患	3.9	4.2	3.8
皮膚及び皮下組織の疾患	10.0	9.5	10.5
眼及び付属器の疾患	12.0	11.0	12.7
呼吸器系の疾患	6.7	6.5	6.9
その他	26.5	19.3	31.3
定期的な処方を受けている疾患はない	9.3	8.3	10.3
無回答	1.1	0.6	1.2

図表 5-17 定期的に薬の処方を受けている疾患（性別）（複数回答）（インターネット調査）

	全体	男性	女性
回答数(件)	3000	1500	1500
糖尿病	7.5	11.3	3.7
高血圧性疾患	18.5	20.9	16.1
虚血性心疾患（狭心症、心筋梗塞）	2.2	3.5	0.9
アレルギー鼻炎	11.2	11.5	11.0
脂質異常症	10.7	10.9	10.5
消化器系の疾患	7.1	7.5	6.7
悪性新生物＜腫瘍＞	1.4	1.9	1.0
神経系の疾患	4.2	4.3	4.1
皮膚及び皮下組織の疾患	10.5	10.5	10.6
眼及び付属器の疾患	7.7	7.8	7.6
呼吸器系の疾患	5.2	5.8	4.6
その他	22.7	18.3	27.1
定期的な処方を受けている疾患はない	29.3	29.4	29.3
無回答	0.0	0.0	0.0

図表 5-18 定期的に薬の処方を受けている疾患（年代）（複数回答）（郵送調査）

	全体	10歳代以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
回答数(件)	857	32	29	62	143	200	178	118	92
糖尿病	13.0	0.0	0.0	4.8	7.0	12.5	14.0	19.5	26.1
高血圧性疾患	38.9	0.0	0.0	6.5	18.2	34.0	59.0	55.9	67.4
虚血性心疾患（狭心症、心筋梗塞）	5.0	0.0	0.0	0.0	1.4	3.5	3.4	6.8	20.7
アレルギー鼻炎	12.5	25.0	34.5	29.0	12.6	12.5	8.4	5.9	6.5
脂質異常症	24.3	0.0	0.0	1.6	14.0	28.0	39.9	29.7	26.1
消化器系の疾患	11.1	0.0	10.3	4.8	6.3	14.5	9.0	11.9	21.7
悪性新生物＜腫瘍＞	2.9	0.0	0.0	0.0	2.8	3.0	2.2	2.5	7.6
神経系の疾患	3.9	9.4	3.4	1.6	5.6	2.5	3.4	3.4	5.4
皮膚及び皮下組織の疾患	10.0	40.6	17.2	14.5	9.8	9.0	6.2	7.6	6.5
眼及び付属器の疾患	12.0	3.1	3.4	4.8	11.2	8.5	14.0	19.5	18.5
呼吸器系の疾患	6.7	3.1	6.9	9.7	8.4	5.5	4.5	10.2	5.4
その他	26.5	15.6	17.2	24.2	33.6	24.5	19.7	30.5	37.0
定期的な処方を受けている疾患はない	9.3	25.0	37.9	27.4	11.2	9.5	3.4	2.5	0.0
無回答	1.1	3.1	0.0	0.0	3.5	0.5	1.1	0.0	0.0

※「20歳代」の回答数は30件以下であり、結果のばらつきが大きくなる可能性があるため、参考値として参照する必要がある。

図表 5-19 定期的に薬の処方を受けている疾患（年代）（複数回答）（インターネット調査）

	全体	10歳代以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
回答数(件)	3000	600	300	300	300	300	600	502	98
糖尿病	7.5	0.0	2.3	1.7	4.0	7.3	12.7	17.3	16.3
高血圧性疾患	18.5	0.5	3.7	1.7	11.3	19.7	29.0	43.8	51.0
虚血性心疾患（狭心症、心筋梗塞）	2.2	0.3	1.3	1.7	1.3	1.0	3.0	5.0	6.1
アレルギー鼻炎	11.2	15.2	20.0	15.7	11.7	7.0	8.8	5.4	3.1
脂質異常症	10.7	0.3	2.0	3.3	7.7	9.3	19.2	24.3	16.3
消化器系の疾患	7.1	2.2	4.3	6.7	7.7	7.7	8.2	12.2	11.2
悪性新生物＜腫瘍＞	1.4	0.8	1.0	1.3	1.0	2.0	1.7	1.8	3.1
神経系の疾患	4.2	1.3	6.0	3.7	3.7	5.7	6.0	4.0	4.1
皮膚及び皮下組織の疾患	10.5	13.0	15.3	16.7	14.7	8.3	6.5	5.8	5.1
眼及び付属器の疾患	7.7	2.8	2.7	4.3	4.3	8.3	10.0	14.9	20.4
呼吸器系の疾患	5.2	5.0	3.3	3.7	3.7	5.3	6.7	6.2	7.1
その他	22.7	9.3	16.0	24.7	23.0	24.3	28.2	32.9	27.6
定期的な処方を受けている疾患はない	29.3	56.7	42.7	37.7	30.0	27.3	14.3	6.2	10.2
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

（４）リフィル処方方の認知度（調査票設問３．④）

リフィル処方方の認知度についてみると、郵送調査では全体ではいずれの項目において大きな差異はなかった一方で、インターネット調査では「知らなかった」が72.4%で最も多かった。

図表 5-20 リフィル処方方の認知度（性別）（郵送調査）

	今回調査			参考:令和6年度調査		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性
回答数(件)	857	337	496	922	385	518
仕組みを理解していた	32.6	29.7	35.3	33.2	29.4	37.1
名称だけ聞いたことがあった	28.5	29.1	28.0	22.2	20.6	22.6
知らなかった	38.7	41.2	36.5	41.1	47.0	36.9
無回答	0.2	0.0	0.2	3.5	3.6	3.5

図表 5-21 リフィル処方方の認知度（性別）（インターネット調査）

	今回調査			参考:令和6年度調査		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性
回答数(件)	3000	1500	1500	3000	1500	1500
仕組みを理解していた	9.5	8.7	10.3	6.1	6.0	6.3
名称だけ聞いたことがあった	18.1	17.9	18.3	15.1	15.7	14.5
知らなかった	72.4	73.5	71.3	78.8	78.3	79.3
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※令和6年度調査では、「制度の内容まで知っていた」「名称だけ聞いたことがあった」「知らなかった」を選択肢として採用している。今回調査の選択肢「仕組みを理解していた」とは表現が異なるため、単純比較には注意が必要である。

図表 5-22 リフィル処方方の認知度（年代）（郵送調査）

	今回調査										参考:令和6年度調査									
	全体	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	全体	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
回答数(件)	857	32	29	62	143	200	178	118	92	922	25	41	91	138	211	165	153	96	96	
仕組みを理解していた	32.6	28.1	27.6	48.4	41.3	38.5	28.1	22.0	19.6	33.2	44.0	48.8	53.8	44.2	33.2	31.5	19.6	13.5	13.5	
名称だけ聞いたことがあった	28.5	31.5	27.6	25.8	31.5	31.5	31.5	23.7	19.6	22.2	4.0	17.1	22.0	25.4	25.6	20.9	17.7	17.7	17.7	
知らなかった	38.7	40.6	44.8	25.8	27.3	30.0	39.5	54.2	59.5	41.1	52.0	29.3	18.7	25.4	37.4	41.8	57.5	67.7	67.7	
無回答	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	3.5	0.0	4.9	5.5	5.1	3.8	3.6	2.0	1.0	1.0	

※「20歳代」の回答数は30件以下であり、結果のばらつきが大きくなる可能性があるため、参考値として参照する必要がある。

図表 5-23 リフィル処方方の認知度（年代）（インターネット調査）

	今回調査										参考:令和6年度調査									
	全体	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	全体	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代		
回答数(件)	3000	600	300	300	300	300	600	502	98	3000	600	300	300	300	300	600	525	75		
仕組みを理解していた	9.5	8.2	17.3	12.3	10.3	7.3	8.5	6.8	9.2	6.1	5.8	10.0	11.3	8.0	3.3	5.7	2.9	2.7		
名称だけ聞いたことがあった	18.1	15.8	23.7	17.3	20.3	17.0	17.8	17.3	19.4	15.1	14.3	23.3	17.0	17.3	15.3	12.5	12.6	9.3		
知らなかった	72.4	76.0	59.0	70.3	69.3	75.7	73.7	75.9	71.4	78.8	79.8	66.7	71.7	74.7	81.3	81.8	84.8	89.0		
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

（５）リフィル処方についての関心の程度（調査票設問３．⑥）

リフィル処方について「名称だけ聞いたことがあった」と回答した場合、リフィル処方についての関心の程度は、郵送調査・インターネット調査いずれも「ある程度関心がある」が最も多く、それぞれ 30.3%、42.0%であった。

図表 5-24 リフィル処方についての関心の程度（性別）（郵送調査）

	全体	男性	女性
回答数(件)	244	98	139
非常に関心がある	2.9	4.1	2.2
ある程度関心がある	30.3	21.4	35.3
どちらともいえない	23.4	30.6	18.7
あまり関心がない	19.7	19.4	19.4
全く関心がない	12.3	12.2	12.9
無回答	11.5	12.2	11.5

図表 5-25 リフィル処方についての関心の程度（性別）（インターネット調査）

	全体	男性	女性
回答数(件)	543	268	275
非常に関心がある	11.0	8.2	13.8
ある程度関心がある	42.0	45.9	38.2
どちらともいえない	36.6	37.7	35.6
あまり関心がない	9.2	7.8	10.5
全く関心がない	1.1	0.4	1.8
無回答	0.0	0.0	0.0

図表 5-26 リフィル処方についての関心の程度（年代）（郵送調査）

	全体	10歳代以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
回答数(件)	244	10	8	16	45	63	56	28	18
非常に関心がある	2.9	10.0	12.5	0.0	2.2	3.2	0.0	3.6	5.6
ある程度関心がある	30.3	60.0	62.5	31.3	28.9	28.6	28.6	25.0	22.2
どちらともいえない	23.4	10.0	12.5	37.5	20.0	27.0	21.4	25.0	22.2
あまり関心がない	19.7	10.0	12.5	18.8	22.2	20.6	21.4	17.9	16.7
全く関心がない	12.3	10.0	0.0	6.3	15.6	12.7	7.1	17.9	22.2
無回答	11.5	0.0	0.0	6.3	11.1	7.9	21.4	10.7	11.1

※「40歳代」「50歳代」「60歳代」以外の回答数は30件以下であり、結果のばらつきが大きくなる可能性があるため、参考値として参照する必要がある。

図表 5-27 リフィル処方についての関心の程度（年代）（インターネット調査）

	全体	10歳代以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
回答数(件)	543	95	71	52	61	51	107	87	19
非常に関心がある	11.0	9.5	15.5	17.3	14.8	5.9	9.3	8.0	10.5
ある程度関心がある	42.0	47.4	43.7	44.2	32.8	51.0	35.5	40.2	52.6
どちらともいえない	36.6	32.6	35.2	30.8	39.3	37.3	43.0	37.9	26.3
あまり関心がない	9.2	10.5	5.6	5.8	11.5	5.9	11.2	10.3	10.5
全く関心がない	1.1	0.0	0.0	1.9	1.6	0.0	0.9	3.4	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※「80歳代以上」の回答数は30件以下であり、結果のばらつきが大きくなる可能性があるため、参考値として参照する必要がある。

3) これまで長期処方された経験について

(1) 長期処方を受けた経験（調査票設問4. ①）

長期処方を受けた経験は、郵送調査・インターネット調査いずれも全体では経験が「ある」が多く、それぞれ 73.3%、57.4%であった。

図表 5-28 長期処方を受けた経験（性別）
（郵送調査）

	全体	男性	女性
回答数(件)	857	337	496
ある	73.3	75.1	71.4
ない	21.2	19.9	22.8
無回答	5.5	5.0	5.8

図表 5-29 長期処方を受けた経験（性別）
（インターネット調査）

	全体	男性	女性
回答数(件)	3000	1500	1500
ある	57.4	55.8	58.9
ない	42.6	44.2	41.1
無回答	0.0	0.0	0.0

図表 5-30 長期処方を受けた経験（年代別）
（郵送調査）

	全体	10歳代以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
回答数(件)	857	32	29	62	143	200	178	118	92
ある	73.3	71.9	48.3	59.7	63.6	78.0	72.5	78.8	90.2
ない	21.2	28.1	51.7	35.5	30.1	15.5	19.7	16.1	7.6
無回答	5.5	0.0	0.0	4.8	6.3	6.5	7.9	5.1	2.2

※「20歳代」の回答数は30件以下であり、結果のばらつきが大きくなる可能性があるため、参考値として参照する必要がある。

図表 5-31 長期処方を受けた経験（年代別）
（インターネット調査）

	全体	10歳代以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
回答数(件)	3000	600	300	300	300	300	600	502	98
ある	57.4	32.3	44.0	46.7	56.7	59.0	71.8	79.5	79.6
ない	42.6	67.7	56.0	53.3	43.3	41.0	28.2	20.5	20.4
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

（２）医療機関で長期処方された薬について、１回の処方で出された期間（調査票設問４．②）

長期処方を受けた経験が「ある」と回答した場合、医療機関で長期処方された薬を１回の処方で出された期間は、郵送調査・インターネット調査いずれも全体では「28～41日」が最も多く、それぞれ 37.6%、37.3%であった。

図表 5-32 医療機関で長期処方された薬について、１回の処方で出された期間（性別）（郵送調査）

	全体	男性	女性
回答数(件)	628	253	354
28～41日	37.6	39.9	36.4
42～55日	7.8	7.1	8.2
56～69日	28.2	26.9	27.7
70～83日	2.9	3.6	2.3
84～90日	17.8	16.2	19.8
91日以上	3.0	3.6	2.8
無回答	2.7	2.8	2.8

図表 5-33 医療機関で長期処方された薬について、１回の処方で出された期間（性別）（インターネット調査）

	全体	男性	女性
回答数(件)	1721	837	884
28～41日	37.3	38.6	36.1
42～55日	11.4	11.6	11.2
56～69日	25.9	27.4	24.5
70～83日	2.7	2.6	2.8
84～90日	17.0	14.7	19.1
91日以上	5.7	5.1	6.2
無回答	0.0	0.0	0.0

図表 5-34 医療機関で長期処方された薬について、１回の処方で出された期間（年代別）（郵送調査）

	全体	10歳代以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
回答数(件)	628	23	14	37	91	156	129	93	83
28～41日	37.6	26.1	28.6	43.2	36.3	32.7	34.1	47.3	45.8
42～55日	7.8	0.0	14.3	2.7	12.1	4.5	9.3	4.3	14.5
56～69日	28.2	34.8	21.4	21.6	25.3	32.7	32.6	21.5	24.1
70～83日	2.9	0.0	0.0	0.0	5.5	5.1	0.8	4.3	0.0
84～90日	17.8	21.7	28.6	24.3	17.6	19.2	18.6	15.1	12.0
91日以上	3.0	4.3	0.0	5.4	2.2	4.5	1.6	3.2	2.4
無回答	2.7	13.0	7.1	2.7	1.1	1.3	3.1	4.3	1.2

※「10歳代以下」「20歳代」の回答数は30件以下であり、結果のばらつきが大きくなる可能性があるため、参考値として参照する必要がある。

図表 5-35 医療機関で長期処方された薬について、１回の処方で出された期間（年代別）（インターネット調査）

	全体	10歳代以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
回答数(件)	1721	194	132	140	170	177	431	399	78
28～41日	37.3	57.7	37.1	37.1	42.9	33.3	32.9	30.8	41.0
42～55日	11.4	8.8	15.9	14.3	11.2	8.5	10.7	12.8	9.0
56～69日	25.9	14.9	20.5	20.7	20.6	32.8	29.9	30.1	24.4
70～83日	2.7	1.0	3.0	4.3	1.8	4.0	2.6	2.8	3.8
84～90日	17.0	11.3	17.4	15.0	19.4	15.8	18.8	17.8	16.7
91日以上	5.7	6.2	6.1	8.6	4.1	5.6	5.1	5.8	5.1
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

（３）長期処方された薬について使用せずに残した経験（調査票設問４．③）

長期処方を受けた経験が「ある」と回答した場合、長期処方された薬について使用せずに残した経験は、郵送調査・インターネット調査いずれも全体では「ない」が最も多く、それぞれ 75.2%、65.3%であった。

図表 5-36 長期処方された薬について使用せずに残した経験（性別）（郵送調査）

	全体	男性	女性
回答数(件)	628	253	354
ある	20.7	19.4	22.0
ない	75.2	76.7	74.0
覚えていない	2.9	2.8	3.1
無回答	1.3	1.2	0.8

図表 5-37 長期処方された薬について使用せずに残した経験（性別）（インターネット調査）

	全体	男性	女性
回答数(件)	1721	837	884
ある	30.8	31.7	30.0
ない	65.3	64.5	66.0
覚えていない	4.0	3.8	4.1
無回答	0.0	0.0	0.0

図表 5-38 長期処方された薬について使用せずに残した経験（年代別）
（郵送調査）

	全体	10歳代以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
回答数(件)	628	23	14	37	91	156	129	93	83
ある	20.7	26.1	35.7	21.6	18.7	22.4	13.2	22.6	24.1
ない	75.2	60.9	57.1	75.7	78.0	75.6	85.3	68.8	69.9
覚えていない	2.9	13.0	7.1	2.7	2.2	1.3	0.8	6.5	2.4
無回答	1.3	0.0	0.0	0.0	1.1	0.6	0.8	2.2	3.6

※「10歳代以下」「20歳代」の回答数は30件以下であり、結果のばらつきが大きくなる可能性があるため、参考値として参照する必要がある。

図表 5-39 長期処方された薬について使用せずに残した経験（年代別）
（インターネット調査）

	全体	10歳代以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
回答数(件)	1721	194	132	140	170	177	431	399	78
ある	30.8	41.8	54.5	37.1	32.4	29.4	24.6	22.6	28.2
ない	65.3	52.6	38.6	57.9	64.1	66.7	71.9	74.7	69.2
覚えていない	4.0	5.7	6.8	5.0	3.5	4.0	3.5	2.8	2.6
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

（４）長期処方された薬について使用せずに残した量（調査票設問４．④）

長期処方された薬を使用せずに残したことが「ある」と回答した場合、長期処方された薬について使用せずに残した量は、郵送調査・インターネット調査いずれも全体では「15日分以上30日分未満の薬が残った」が最も多く、それぞれ52.3%、50.4%であった。

図表 5-40 使用せずに残した量（性別）
（郵送調査）

	全体	男性	女性
回答数(件)	130	49	78
60日分以上の薬が残った	2.3	2.0	2.6
30日分以上60日分未満の薬が残った	5.4	6.1	5.1
15日分以上30日分未満の薬が残った	52.3	49.0	55.1
覚えていない	32.3	34.7	29.5
無回答	7.7	8.2	7.7

図表 5-41 使用せずに残した量（性別）
（インターネット調査）

	全体	男性	女性
回答数(件)	530	265	265
60日分以上の薬が残った	4.5	5.7	3.4
30日分以上60日分未満の薬が残った	12.6	12.1	13.2
15日分以上30日分未満の薬が残った	50.4	49.4	51.3
覚えていない	32.5	32.8	32.1
無回答	0.0	0.0	0.0

図表 5-42 使用せずに残した量（年代別）
（郵送調査）

	全体	10歳代以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
回答数(件)	130	6	5	8	17	35	17	21	20
60日分以上の薬が残った	2.3	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	9.5	0.0
30日分以上60日分未満の薬が残った	5.4	0.0	0.0	0.0	5.9	14.3	0.0	0.0	5.0
15日分以上30日分未満の薬が残った	52.3	50.0	60.0	37.5	41.2	60.0	52.9	42.9	60.0
覚えていない	32.3	50.0	20.0	50.0	41.2	20.0	35.3	33.3	35.0
無回答	7.7	0.0	20.0	12.5	5.9	5.7	11.8	14.3	0.0

※「50歳代」以外の回答数は30件以下であり、結果のばらつきが大きくなる可能性があるため、参考値として参照する必要がある。

図表 5-43 使用せずに残した量（年代別）
（インターネット調査）

	全体	10歳代以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
回答数(件)	530	81	72	52	55	52	106	90	22
60日分以上の薬が残った	4.5	2.5	9.7	1.9	5.5	0.0	6.6	4.4	0.0
30日分以上60日分未満の薬が残った	12.6	18.5	22.2	23.1	12.7	5.8	8.5	3.3	9.1
15日分以上30日分未満の薬が残った	50.4	53.1	50.0	44.2	49.1	59.6	43.4	56.7	45.5
覚えていない	32.5	25.9	18.1	30.8	32.7	34.6	41.5	35.6	45.5
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※「80歳代以上」の回答数は30件以下であり、結果のばらつきが大きくなる可能性があるため、参考値として参照する必要がある。

（５）長期処方された薬について使用せずに残した理由（調査票設問４．⑤）

長期処方された薬を使用せずに残したことが「ある」と回答した場合、長期処方された薬について使用せずに残した理由は、郵送調査・インターネット調査いずれも全体では「服用を忘れることが多かったため」が最も多く、それぞれ 63.1%、50.8%であった。

図表 5-44 使用せずに残した理由（性別）（複数回答）（郵送調査）

	全体	男性	女性
回答数(件)	130	49	78
副作用が生じ、使用の継続が困難となったため	6.2	4.1	5.1
症状が改善し、服用が必要なくなったため	26.2	24.5	28.2
医師の指示で途中で使用を中止したため	7.7	8.2	7.7
服用を忘れることが多かったため	63.1	69.4	59.0
薬の効果を感じられなかったため	4.6	4.1	5.1
薬の味やにおいが苦手だったため	0.0	0.0	0.0
万が一のために残しておきたいと考えたため	7.7	8.2	7.7
医師の指示で災害時や体調不良等に備えて一定量を手元に残しておくように言われたため	5.4	2.0	7.7
その他	9.2	6.1	11.5
無回答	0.8	0.0	1.3

図表 5-45 使用せずに残した理由（性別）（複数回答）（インターネット調査）

	全体	男性	女性
回答数(件)	530	265	265
副作用が生じ、使用の継続が困難となったため	6.8	7.5	6.0
症状が改善し、服用が必要なくなったため	29.4	27.5	31.3
医師の指示で途中で使用を中止したため	7.5	10.6	4.5
服用を忘れることが多かったため	50.8	55.1	46.4
薬の効果を感じられなかったため	9.1	10.2	7.9
薬の味やにおいが苦手だったため	3.8	4.2	3.4
万が一のために残しておきたいと考えたため	9.8	9.4	10.2
医師の指示で災害時や体調不良等に備えて一定量を手元に残しておくように言われたため	4.2	3.4	4.9
その他	9.6	8.3	10.9
無回答	0.0	0.0	0.0

図表 5-46 使用せずに残した理由（年代別）（複数回答）（郵送調査）

	全体	10歳代以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
回答数(件)	130	6	5	8	17	35	17	21	20
副作用が生じ、使用の継続が困難となったため	6.2	0.0	0.0	0.0	5.9	5.7	5.9	4.8	15.0
症状が改善し、服用が必要なくなったため	26.2	16.7	20.0	50.0	29.4	28.6	11.8	42.9	10.0
医師の指示で途中で使用を中止したため	7.7	0.0	20.0	12.5	11.8	2.9	0.0	14.3	10.0
服用を忘れることが多かったため	63.1	100.0	40.0	50.0	52.9	57.1	88.2	57.1	55.0
薬の効果を感じられなかったため	4.6	16.7	0.0	12.5	0.0	2.9	5.9	4.8	5.0
薬の味やにおいが苦手だったため	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
万が一のために残しておきたいと考えたため	7.7	0.0	20.0	25.0	5.9	2.9	0.0	14.3	10.0
医師の指示で災害時や体調不良等に備えて一定量を手元に残しておくように言われたため	5.4	0.0	0.0	25.0	5.9	2.9	5.9	4.8	5.0
その他	9.2	0.0	0.0	0.0	17.6	8.6	11.8	0.0	20.0
無回答	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0

※「50歳代」以外の回答数は30件以下であり、結果のばらつきが大きくなる可能性があるため、参考値として参照する必要がある。

図表 5-47 使用せずに残した理由（年代別）（複数回答）（インターネット調査）

	全体	10歳代以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
回答数(件)	530	81	72	52	55	52	106	90	22
副作用が生じ、使用の継続が困難となったため	6.8	3.7	9.7	7.7	10.9	5.8	6.6	6.7	0.0
症状が改善し、服用が必要なくなったため	29.4	43.2	38.9	36.5	32.7	23.1	22.6	20.0	9.1
医師の指示で途中で使用を中止したため	7.5	6.2	13.9	9.6	3.6	5.8	9.4	5.6	0.0
服用を忘れることが多かったため	50.8	45.7	45.8	42.3	43.6	53.5	53.8	53.3	58.2
薬の効果を感じられなかったため	9.1	8.6	13.9	9.6	10.9	5.8	7.5	6.7	13.6
薬の味やにおいが苦手だったため	3.8	4.9	6.9	5.8	5.5	3.8	0.9	1.1	4.5
万が一のために残しておきたいと考えたため	9.8	9.9	12.5	11.5	14.5	13.5	7.5	5.6	4.5
医師の指示で災害時や体調不良等に備えて一定量を手元に残しておくように言われたため	4.2	2.5	2.8	3.8	3.6	3.8	3.8	6.7	9.1
その他	9.6	6.2	4.2	5.8	9.1	9.6	12.3	15.6	13.6
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※「80歳代以上」の回答数は30件以下であり、結果のばらつきが大きくなる可能性があるため、参考値として参照する必要がある。

（６）受け取った処方箋について、薬局での調剤を受けなかった経験（調査票設問４．⑥）

長期処方を受けた経験が「ある」と回答した場合、受け取った処方箋について、薬局での調剤を受けなかった経験は、郵送調査・インターネット調査いずれも全体では「ない」が90%以上であった。

図表 5-48 受け取った処方箋について、薬局での調剤を受けなかった経験
（性別）（郵送調査）

	全体	男性	女性
回答数(件)	628	253	354
ある	3.2	2.0	4.2
ない	95.1	97.2	93.2
無回答	1.8	0.8	2.5

図表 5-49 受け取った処方箋について、薬局での調剤を受けなかった経験
（性別）（インターネット調査）

	全体	男性	女性
回答数(件)	1721	837	884
ある	8.3	9.3	7.4
ない	91.7	90.7	92.6
無回答	0.0	0.0	0.0

図表 5-50 受け取った処方箋について、薬局での調剤を受けなかった経験
（年代別）（郵送調査）

	全体	10歳代以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
回答数(件)	628	23	14	37	91	156	129	93	83
ある	3.2	0.0	0.0	13.5	3.3	2.6	2.3	4.3	1.2
ない	95.1	95.7	100.0	81.1	92.3	96.2	96.9	95.7	97.6
無回答	1.8	4.3	0.0	5.4	4.4	1.3	0.8	0.0	1.2

※「10歳代以下」「20歳代」の回答数は30件以下であり、結果のばらつきが大きくなる可能性があるため、参考値として参照する必要がある。

図表 5-51 受け取った処方箋について、薬局での調剤を受けなかった経験
（年代別）（インターネット調査）

	全体	10歳代以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
回答数(件)	1721	194	132	140	170	177	431	399	78
ある	8.3	9.8	21.2	12.1	8.8	7.3	7.7	3.8	3.8
ない	91.7	90.2	78.8	87.9	91.2	92.7	92.3	96.2	96.2
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

（７）調剤を受けなかった理由（調査票設問４．⑦）

長期処方を受けた経験が「ある」と回答した場合、受け取った処方箋について、薬局での調剤を受けなかった経験は、インターネット調査全体では「以前に調剤された薬が十分に余っていたため」が最も多く、55.9%であった。

図表 5-52 調剤を受けなかった理由（複数回答）（性別）（郵送調査）

	全体	男性	女性
回答数(件)	20	5	15
処方せんの有効期限を切らしてしまったため	45.0	40.0	46.7
以前に調剤された薬が十分に余っていたため	35.0	20.0	40.0
症状が改善し、薬が必要なくなったため	15.0	0.0	20.0
その他	10.0	20.0	6.7
無回答	5.0	20.0	0.0

※回答数はいずれも 30 件以下であり、結果のばらつきが大きくなる可能性があるため、参考値として参照する必要がある。

図表 5-53 調剤を受けなかった理由（複数回答）（性別）（インターネット調査）

	全体	男性	女性
回答数(件)	143	78	65
処方せんの有効期限を切らしてしまったため	31.5	30.8	32.3
以前に調剤された薬が十分に余っていたため	55.9	57.7	53.8
症状が改善し、薬が必要なくなったため	18.2	24.4	10.8
その他	11.9	7.7	16.9
無回答	0.0	0.0	0.0

図表 5-54 調剤を受けなかった理由（年代別）（複数回答）（郵送調査）

	全体	10歳代以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
回答数(件)	20	0	0	5	3	4	3	4	1
処方せんの有効期限を切らしてしまったため	45.0	0.0	0.0	60.0	66.7	75.0	0.0	25.0	0.0
以前に調剤された薬が十分に余っていたため	35.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	100.0	50.0	100.0
症状が改善し、薬が必要なくなったため	15.0	0.0	0.0	20.0	33.3	0.0	0.0	25.0	0.0
その他	10.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
無回答	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0

※回答数はいずれも 30 件以下であり、結果のばらつきが大きくなる可能性があるため、参考値として参照する必要がある。

図表 5-55 調剤を受けなかった理由（年代別）（複数回答）（インターネット調査）

	全体	10歳代以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
回答数(件)	143	19	28	17	15	13	39	15	3
処方せんの有効期限を切らしてしまったため	31.5	36.8	50.0	35.3	13.3	30.8	18.2	26.7	66.7
以前に調剤された薬が十分に余っていたため	55.9	78.9	57.1	58.8	73.3	38.5	48.5	33.3	66.7
症状が改善し、薬が必要なくなったため	18.2	21.1	21.4	23.5	6.7	30.8	15.2	13.3	0.0
その他	11.9	5.3	0.0	11.8	6.7	15.4	21.2	26.7	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※「60 歳代」以外の回答数は 30 件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

（８）長期処方を受け始めて以降の医療機関や薬局の利用に関する変化（調査票設問４．⑧）

長期処方を受けた経験が「ある」と回答した場合、長期処方を受け始めて以降の医療機関や薬局の利用に関する変化は、郵送調査・インターネット調査いずれも全体では「通院回数が減った」が最も多く、それぞれ 63.9%、45.8%であった。

図表 5-56 長期処方を受け始めて以降の医療機関や薬局の利用に関する変化（複数回答）
（性別）（郵送調査）

	全体	男性	女性
回答数(件)	628	253	354
通院回数が減った	63.9	62.1	65.5
医療費の支払い額が減った	28.2	26.1	29.9
薬局に行く回数が減った	39.2	42.3	37.3
医師や薬剤師との相談の頻度が変わった	5.6	6.7	5.1
特に変化は感じない	27.1	28.1	26.3
その他	1.9	2.0	1.7
無回答	3.0	2.8	3.1

図表 5-57 長期処方を受け始めて以降の医療機関や薬局の利用に関する変化（複数回答）
（性別）（インターネット調査）

	全体	男性	女性
回答数(件)	1721	837	884
通院回数が減った	45.8	41.5	50.0
医療費の支払い額が減った	18.3	18.4	18.2
薬局に行く回数が減った	34.7	32.4	36.9
医師や薬剤師との相談の頻度が変わった	5.4	6.1	4.8
特に変化は感じない	43.0	46.7	39.5
その他	0.3	0.1	0.5
無回答	0.0	0.0	0.0

図表 5-58 長期処方を受け始めて以降の医療機関や薬局の利用に関する変化（年代別）
（複数回答）（郵送調査）

	全体	10歳代以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
回答数(件)	628	23	14	37	91	156	129	93	83
通院回数が減った	63.9	78.3	71.4	48.6	62.6	73.7	62.0	59.1	56.6
医療費の支払い額が減った	28.2	21.7	21.4	37.8	30.8	29.5	33.3	25.8	16.9
薬局に行く回数が減った	39.2	52.2	42.9	43.2	45.1	38.5	40.3	34.4	32.5
医師や薬剤師との相談の頻度が変わった	5.6	4.3	0.0	10.8	2.2	4.5	7.8	5.4	7.2
特に変化は感じない	27.1	13.0	14.3	35.1	27.5	22.4	28.7	30.1	31.3
その他	1.9	0.0	0.0	2.7	3.3	2.6	2.3	1.1	0.0
無回答	3.0	4.3	0.0	5.4	6.6	1.9	2.3	1.1	3.6

※「10歳代以下」「20歳代」の回答数は30件以下であり、結果のばらつきが大きくなる可能性があるため、参考値として参照する必要がある。

図表 5-59 長期処方を受け始めて以降の医療機関や薬局の利用に関する変化（年代別）
（複数回答）（インターネット調査）

	全体	10歳代以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
回答数(件)	1721	194	132	140	170	177	431	399	78
通院回数が減った	45.8	53.1	56.8	56.4	45.3	48.6	42.9	39.3	34.6
医療費の支払い額が減った	18.3	11.9	37.1	23.6	17.1	22.0	14.6	17.0	14.1
薬局に行く回数が減った	34.7	39.2	42.4	39.3	30.0	39.0	31.1	32.1	35.9
医師や薬剤師との相談の頻度が変わった	5.4	5.7	13.6	6.4	3.5	4.5	3.2	5.3	7.7
特に変化は感じない	43.0	33.0	20.5	30.0	46.5	42.4	47.6	52.1	51.3
その他	0.3	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.7	0.3	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

（９）長期処方を受けて「良かった」と感じたこと（調査票設問４．⑨）

長期処方を受けた経験が「ある」と回答した場合、長期処方を受けて「良かった」と感じたことは、郵送調査・インターネット調査いずれも全体では「通院回数の手間が減って助かった」が最も多く、それぞれ 74.8%、75.4%であった。

図表 5-60 長期処方を受けて「良かった」と感じたこと（性別）（複数回答）
（郵送調査）

	全体	男性	女性
回答数(件)	628	253	354
通院の手間が減って助かった	74.8	75.1	75.4
忙しい時期でも薬を切らずに済んだ	41.1	33.2	46.9
医師との信頼関係が深まった	5.6	7.1	4.8
自分の体調管理に自信が持てるようになった	6.5	5.5	7.3
その他	5.4	7.1	4.2
無回答	7.3	7.9	6.8

図表 5-61 長期処方を受けて「良かった」と感じたこと（性別）（複数回答）
（インターネット調査）

	全体	男性	女性
回答数(件)	1721	837	884
通院の手間が減って助かった	75.4	74.4	76.4
忙しい時期でも薬を切らずに済んだ	38.7	37.4	39.9
医師との信頼関係が深まった	9.5	11.8	7.2
自分の体調管理に自信が持てるようになった	9.4	9.9	8.9
その他	3.0	2.7	3.3
無回答	0.0	0.0	0.0

図表 5-62 長期処方を受けて「良かった」と感じたこと（年代別）（複数回答）
（郵送調査）

	全体	10歳代以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
回答数(件)	628	23	14	37	91	156	129	93	83
通院の手間が減って助かった	74.8	87.0	85.7	73.0	69.2	77.6	76.0	68.8	77.1
忙しい時期でも薬を切らずに済んだ	41.1	34.8	50.0	59.5	38.5	43.6	46.5	31.2	34.9
医師との信頼関係が深まった	5.6	4.3	0.0	2.7	4.4	4.5	5.4	8.6	8.4
自分の体調管理に自信が持てるようになった	6.5	8.7	14.3	5.4	4.4	4.5	5.4	10.8	7.2
その他	5.4	0.0	0.0	2.7	9.9	5.8	2.3	10.8	2.4
無回答	7.3	13.0	7.1	13.5	12.1	5.1	4.7	6.5	7.2

※「10歳代以下」「20歳代」の回答数は30件以下であり、結果のばらつきが大きくなる可能性があるため、参考値として参照する必要がある。

図表 5-63 長期処方を受けて「良かった」と感じたこと（年代別）（複数回答）
（インターネット調査）

	全体	10歳代以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
回答数(件)	1721	194	132	140	170	177	431	399	78
通院の手間が減って助かった	75.4	70.6	73.0	79.3	76.5	74.0	74.9	59.9	76.9
忙しい時期でも薬を切らずに済んだ	38.7	49.5	50.8	45.7	45.9	45.8	31.3	31.3	25.6
医師との信頼関係が深まった	9.5	6.2	10.6	5.7	4.7	8.5	7.2	16.8	10.3
自分の体調管理に自信が持てるようになった	9.4	4.1	9.8	5.7	7.6	9.0	7.4	15.0	15.4
その他	3.0	1.0	0.8	2.1	2.4	3.4	4.9	3.5	1.3
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

4) リフィル処方箋の経験について

(1) リフィル処方箋を交付された経験（調査票設問5. ①）

リフィル処方箋を交付された経験は、郵送調査・インターネット調査いずれも全体では「ない」が多く、それぞれ88.8%、88.1%であった。

図表 5-64 リフィル処方箋を交付された経験（性別）（郵送調査）

	全体	男性	女性
回答数(件)	857	337	496
ある	7.9	6.5	9.1
ない	88.8	90.8	87.5
無回答	3.3	2.7	3.4

図表 5-65 リフィル処方箋を交付された経験（性別）（インターネット調査）

	全体	男性	女性
回答数(件)	3000	1500	1500
ある	11.9	11.1	12.7
ない	88.1	88.9	87.3
無回答	0.0	0.0	0.0

図表 5-66 リフィル処方箋を交付された経験（年代別）（郵送調査）

	全体	10歳代以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
回答数(件)	857	32	29	62	143	200	178	118	92
ある	7.9	12.5	10.3	0.0	5.6	10.5	5.1	11.0	10.9
ない	88.8	87.5	89.7	98.4	89.5	87.5	88.8	85.6	88.0
無回答	3.3	0.0	0.0	1.6	4.9	2.0	6.2	3.4	1.1

※「20歳代」の回答数は30件以下であり、結果のばらつきが大きくなる可能性があるため、参考値として参照する必要がある。

図表 5-67 リフィル処方箋を交付された経験（年代別）（インターネット調査）

	全体	10歳代以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
回答数(件)	3000	600	300	300	300	300	600	502	98
ある	11.9	7.0	17.0	12.3	11.3	8.7	11.8	15.5	18.4
ない	88.1	93.0	83.0	87.7	88.7	91.3	88.2	84.5	81.6
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

（２）リフィル処方箋を交付された経緯（調査票設問５．②）

リフィル処方箋を交付された経験が「ある」と回答した場合、リフィル処方箋を交付された経緯は、郵送調査・インターネット調査いずれも全体では「医師から提案された」が多く、それぞれ 75.0%、66.7%であった。

図表 5-68 リフィル処方箋を交付された経緯（性別）（郵送調査）

	全体	男性	女性
回答数(件)	68	22	45
自ら希望した	23.5	31.8	20.0
医師から提案された	75.0	63.6	80.0
無回答	1.5	4.5	0.0

※「男性」の回答数は 30 件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

図表 5-69 リフィル処方箋を交付された経緯（性別）（インターネット調査）

	全体	男性	女性
回答数(件)	357	166	191
自ら希望した	33.3	32.5	34.0
医師から提案された	66.7	67.5	66.0
無回答	0.0	0.0	0.0

図表 5-70 リフィル処方箋を交付された経緯（年代別）（郵送調査）

	全体	10歳代以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
回答数(件)	68	4	3	0	8	21	9	13	10
自ら希望した	23.5	25.0	66.7	0.0	12.5	19.0	55.6	23.1	0.0
医師から提案された	75.0	75.0	33.3	0.0	87.5	81.0	44.4	76.9	90.0
無回答	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0

※「クロス集計」の回答数は 30 件以下であり、結果のばらつきが大きくなる可能性があるため、参考値として参照する必要がある。

図表 5-71 リフィル処方箋を交付された経緯（年代別）（インターネット調査）

	全体	10歳代以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
回答数(件)	357	42	51	37	34	26	71	78	18
自ら希望した	33.3	35.7	43.1	43.2	38.2	26.9	29.6	26.9	22.2
医師から提案された	66.7	64.3	56.9	56.8	61.8	73.1	70.4	73.1	77.8
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※「50歳代」「80歳代以上」の回答数は 30 件以下であり、結果のばらつきが大きくなる可能性があるため、参考値として参照する必要がある。

（３）リフィル処方箋 2, 3 回目の調剤で調剤を受けずに受診することになった経験（調査票設問 5. ⑦）

リフィル処方箋を交付された経験が「ある」と回答した場合、リフィル処方箋 2, 3 回目の調剤で、調剤を受けずに受診することになった経験は、郵送調査・インターネット調査いずれも全体では「ない」が多く、それぞれ 92.6%、74.8%であった。

図表 5-72 リフィル処方箋 2, 3 回目の調剤で調剤を受けずに受診することになった経験（性別）（郵送調査）

	全体	男性	女性
回答数(件)	68	22	45
ある	2.9	4.5	2.2
ない	92.6	90.9	95.6
無回答	4.4	4.5	2.2

※「男性」の回答数は 30 件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

図表 5-73 リフィル処方箋 2, 3 回目の調剤で調剤を受けずに受診することになった経験（性別）（インターネット調査）

	全体	男性	女性
回答数(件)	357	166	191
ある	25.2	29.5	21.5
ない	74.8	70.5	78.5
無回答	0.0	0.0	0.0

図表 5-74 リフィル処方箋 2, 3 回目の調剤で調剤を受けずに受診することになった経験（年代別）（郵送調査）

	全体	10歳代以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
回答数(件)	68	4	3	0	8	21	9	13	10
ある	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	10.0
ない	92.6	100.0	100.0	0.0	100.0	90.5	100.0	92.3	80.0
無回答	4.4	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	7.7	10.0

※「クロス集計」の回答数は 30 件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

図表 5-75 リフィル処方箋 2, 3 回目の調剤で調剤を受けずに受診することになった経験（年代別）（インターネット調査）

	全体	10歳代以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
回答数(件)	357	42	51	37	34	26	71	78	18
ある	25.2	31.0	54.9	37.8	38.2	11.5	16.9	6.4	11.1
ない	74.8	69.0	45.1	62.2	61.8	88.5	83.1	93.6	88.9
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※「50 歳代」「80 歳代以上」の回答数は 30 件以下であり、結果のばらつきが大きくなる可能性があるため、参考値として参照する必要がある。

（４）調剤を受けずに受診することになった理由（調査票設問５．⑧）

リフィル処方箋２，３回目の調剤で調剤を受けずに受診することになった経験が「ある」と回答した場合、その理由は、インターネット調査では全体では「薬剤師による受診勧奨があったから」が 48.9% で最も多かった。

図表 5-76 調剤を受けずに受診することになった理由（性別）（複数回答）（郵送調査）

	全体	男性	女性
回答数(件)	2	1	1
医師による受診指示があったから	100.0	100.0	100.0
薬剤師による受診勧奨があったから	0.0	0.0	0.0
ご自身で受診を受けた方がよいと考えたから	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0

※回答数はいずれも 30 件以下であり、結果のばらつきが大きくなる可能性があるため、参考値として参照する必要がある。

図表 5-77 調剤を受けずに受診することになった理由（性別）（複数回答）（インターネット調査）

	全体	男性	女性
回答数(件)	90	49	41
医師による受診指示があったから	43.3	42.9	43.9
薬剤師による受診勧奨があったから	48.9	61.2	34.1
ご自身で受診を受けた方がよいと考えたから	30.0	26.5	34.1
その他	0.0	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0

図表 5-78 調剤を受けずに受診することになった理由（年代別）（複数回答）（郵送調査）

	全体	10歳代以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
回答数(件)	2	0	0	0	0	1	0	0	1
医師による受診指示があったから	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
薬剤師による受診勧奨があったから	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ご自身で受診を受けた方がよいと考えたから	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※「クロス集計」の回答数は 30 件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

図表 5-79 調剤を受けずに受診することになった理由（年代別）（複数回答）（インターネット調査）

	全体	10歳代以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
回答数(件)	90	13	28	14	13	3	12	5	2
医師による受診指示があったから	43.3	69.2	60.7	28.6	15.4	66.7	16.7	60.0	0.0
薬剤師による受診勧奨があったから	48.9	23.1	53.6	78.6	76.9	33.3	33.3	0.0	0.0
ご自身で受診を受けた方がよいと考えたから	30.0	23.1	17.9	21.4	30.8	33.3	58.3	40.0	100.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※「クロス集計」の回答数は 30 件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

（５）リフィル処方を利用し始めて以降の医療機関や薬局の利用に関する変化（調査票設問 5. ⑬）

リフィル処方箋を交付された経験が「ある」と回答した場合、リフィル処方を利用し始めて以降の医療機関や薬局の利用に関する変化は、郵送調査・インターネット調査いずれも全体では「通院回数が減った」が最も多く、それぞれ 75.0%、54.9%であった。

図表 5-80 リフィル処方を利用し始めて以降の医療機関や薬局の利用に関する変化（性別）（複数回答）（郵送調査）

	全体	男性	女性
回答数(件)	68	22	45
通院回数が減った	75.0	68.2	77.8
医療費の支払い額が減った	36.8	40.9	35.6
薬局での相談機会が増えた	8.8	13.6	6.7
薬剤師との関係が深まった	10.3	27.3	2.2
特に変化は感じない	13.2	9.1	15.6
その他	5.9	9.1	4.4
無回答	0.0	0.0	0.0

※「男性」の回答数は 30 件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

図表 5-81 リフィル処方を利用し始めて以降の医療機関や薬局の利用に関する変化（性別）（複数回答）（インターネット調査）

	全体	男性	女性
回答数(件)	357	166	191
通院回数が減った	54.9	51.2	58.1
医療費の支払い額が減った	26.9	28.9	25.1
薬局での相談機会が増えた	12.6	15.1	10.5
薬剤師との関係が深まった	9.5	13.3	6.3
特に変化は感じない	24.6	24.7	24.6
その他	0.3	0.0	0.5
無回答	0.0	0.0	0.0

図表 5-82 リフィル処方を利用し始めて以降の医療機関や薬局の利用に関する変化（年代別）（複数回答）（郵送調査）

	全体	10歳代以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
回答数(件)	68	4	3	0	8	21	9	13	10
通院回数が減った	75.0	100.0	100.0	0.0	87.5	66.7	66.7	76.9	70.0
医療費の支払い額が減った	36.8	25.0	0.0	0.0	50.0	47.6	33.3	30.8	30.0
薬局での相談機会が増えた	8.8	25.0	33.3	0.0	0.0	4.8	0.0	7.7	20.0
薬剤師との関係が深まった	10.3	25.0	0.0	0.0	12.5	4.8	11.1	23.1	0.0
特に変化は感じない	13.2	0.0	0.0	0.0	12.5	14.3	33.3	7.7	10.0
その他	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	10.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※「クロス集計」の回答数は 30 件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

図表 5-83 リフィル処方を利用し始めて以降の医療機関や薬局の利用に関する変化（年代別）（複数回答）（インターネット調査）

	全体	10歳代以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
回答数(件)	357	42	51	37	34	26	71	78	18
通院回数が減った	54.9	47.6	45.1	48.6	41.2	73.1	62.0	59.0	66.7
医療費の支払い額が減った	26.9	16.7	49.0	37.8	26.5	34.6	18.3	21.8	11.1
薬局での相談機会が増えた	12.6	19.0	21.6	24.3	8.8	11.5	7.0	7.7	0.0
薬剤師との関係が深まった	9.5	9.5	15.7	24.3	11.8	7.7	4.2	2.6	11.1
特に変化は感じない	24.6	26.2	7.8	8.1	29.4	15.4	28.2	38.5	33.3
その他	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※「50 歳代」「80 歳代以上」の回答数は 30 件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

（６）リフィル処方を受けて「良かった」と感じたこと（調査票設問５．⑭）

リフィル処方箋を交付された経験が「ある」と回答した場合、リフィル処方を受けて「良かった」と感じたことは、郵送調査・インターネット調査いずれも全体では「自分のペースで薬を受け取れるようになった」が最も多く、それぞれ 61.8%、58.3%であった。

図表 5-84 リフィル処方を受けて「良かった」と感じたこと（性別）（複数回答）（郵送調査）

	全体	男性	女性
回答数(件)	68	22	45
自分のペースで薬を受け取れるようになった	61.8	63.6	60.0
忙しい時期でも薬の受け取りがスムーズだった	39.7	45.5	37.8
薬剤師との信頼関係が深まった	8.8	18.2	4.4
健康管理への意識が高まった	8.8	13.6	6.7
薬局でのフォローアップが安心感につながった	11.8	9.1	13.3
その他	10.3	4.5	13.3
無回答	4.4	0.0	6.7

※「男性」の回答数は 30 件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

図表 5-85 リフィル処方を受けて「良かった」と感じたこと（性別）（複数回答）（インターネット調査）

	全体	男性	女性
回答数(件)	357	166	191
自分のペースで薬を受け取れるようになった	58.3	55.4	60.7
忙しい時期でも薬の受け取りがスムーズだった	37.5	37.3	37.7
薬剤師との信頼関係が深まった	13.4	17.5	9.9
健康管理への意識が高まった	16.5	20.5	13.1
薬局でのフォローアップが安心感につながった	7.3	9.6	5.2
その他	2.8	3.0	2.6
無回答	0.0	0.0	0.0

図表 5-86 リフィル処方を受けて「良かった」と感じたこと（年代別）（複数回答）（郵送調査）

	全体	10歳代以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
回答数(件)	68	4	3	0	8	21	9	13	10
自分のペースで薬を受け取れるようになった	61.8	100.0	100.0	0.0	62.5	57.1	33.3	69.2	60.0
忙しい時期でも薬の受け取りがスムーズだった	39.7	50.0	33.3	0.0	62.5	33.3	44.4	46.2	20.0
薬剤師との信頼関係が深まった	8.8	25.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	15.4	20.0
健康管理への意識が高まった	8.8	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	22.2	15.4	10.0
薬局でのフォローアップが安心感につながった	11.8	0.0	33.3	0.0	25.0	0.0	0.0	23.1	20.0
その他	10.3	0.0	0.0	0.0	0.0	23.8	22.2	0.0	0.0
無回答	4.4	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	20.0

※「クロス集計」の回答数は 30 件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

図表 5-87 リフィル処方を受けて「良かった」と感じたこと（年代別）（複数回答）（インターネット調査）

	全体	10歳代以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
回答数(件)	357	42	51	37	34	26	71	78	18
自分のペースで薬を受け取れるようになった	58.3	52.4	58.8	54.1	55.9	65.4	62.0	55.1	72.2
忙しい時期でも薬の受け取りがスムーズだった	37.5	50.0	41.2	56.8	29.4	46.2	26.8	32.1	27.8
薬剤師との信頼関係が深まった	13.4	9.5	23.5	29.7	11.8	3.8	8.5	9.0	16.7
健康管理への意識が高まった	16.5	9.5	17.6	24.3	20.6	19.2	9.9	20.5	11.1
薬局でのフォローアップが安心感につながった	7.3	7.1	3.9	10.8	11.8	7.7	7.0	7.7	0.0
その他	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.5	3.8	5.6
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※「50 歳代」「80 歳代以上」の回答数は 30 件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

5) これからのリフィル処方や長期処方の利用意向について

(1) リフィル処方の利用に際して、薬剤師の判断を不安に感じる理由や懸念点（調査票設問6. ①ー3）

本調査では、リフィル処方の利用に関して、郵送調査・インターネット調査ともに、全体回答数の約1割が「薬剤師の判断に不安を感じる」と回答しており、制度の仕組みに対して不安を抱く人が一定数存在することが示唆されたが、その不安に感じる理由や懸念点は、郵送調査では全体では「副作用や体調の変化に対して、薬剤師が判断して必要な対応をしてくれるか不安がある」が46.4%で最も多く、インターネット調査では全体では「薬の内容や用法について、薬剤師が適切に判断して説明してくれるか不安がある」が45.9%で最も多かった。

図表 5-88 薬剤師の判断を不安に感じる理由や懸念点（性別）（複数回答）（郵送調査）

	全体	男性	女性
回答数(件)	84	37	47
薬の内容や用法について、薬剤師が適切に判断して説明してくれるか不安がある	40.5	37.8	42.6
市販薬や併用薬との関係について、薬剤師が適切に対応してくれるか不安がある	21.4	13.5	27.7
副作用や体調の変化に対して、薬剤師が判断して必要な対応をしてくれるか不安がある	46.4	32.4	57.4
プライバシーに配慮された環境で相談できるか不安がある	19.0	13.5	23.4
薬局内に血圧計などの基本的な設備が整っておらず、体調確認が不十分になるのではないかと感じる	21.4	24.3	19.1
その他	10.7	18.9	4.3
無回答	3.6	5.4	2.1

図表 5-89 薬剤師の判断を不安に感じる理由や懸念点（性別）（複数回答）（インターネット調査）

	全体	男性	女性
回答数(件)	294	159	135
薬の内容や用法について、薬剤師が適切に判断して説明してくれるか不安がある	45.9	48.4	43.0
市販薬や併用薬との関係について、薬剤師が適切に対応してくれるか不安がある	37.8	42.1	32.6
副作用や体調の変化に対して、薬剤師が判断して必要な対応をしてくれるか不安がある	43.2	39.6	47.4
プライバシーに配慮された環境で相談できるか不安がある	24.1	23.3	25.2
薬局内に血圧計などの基本的な設備が整っておらず、体調確認が不十分になるのではないかと感じる	17.7	17.0	18.5
その他	1.7	2.5	0.7
無回答	0.0	0.0	0.0

図表 5-90 薬剤師の判断を不安に感じる理由や懸念点（年代別）（複数回答）（郵送調査）

	全体	10歳代以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
回答数(件)	84	2	2	5	12	25	19	10	9
薬の内容や用法について、薬剤師が適切に判断して説明してくれるか不安がある	40.5	100.0	0.0	40.0	33.3	40.0	31.6	30.0	77.8
市販薬や併用薬との関係について、薬剤師が適切に対応してくれるか不安がある	21.4	50.0	0.0	40.0	50.0	16.0	15.8	10.0	11.1
副作用や体調の変化に対して、薬剤師が判断して必要な対応をしてくれるか不安がある	46.4	50.0	50.0	60.0	50.0	32.0	42.1	50.0	77.8
プライバシーに配慮された環境で相談できるか不安がある	19.0	50.0	50.0	40.0	8.3	8.0	26.3	30.0	11.1
薬局内に血圧計などの基本的な設備が整っておらず、体調確認が不十分になるのではないかと感じる	21.4	0.0	0.0	40.0	16.7	20.0	26.3	10.0	33.3
その他	10.7	0.0	0.0	0.0	8.3	24.0	10.5	0.0	0.0
無回答	3.6	0.0	0.0	0.0	8.3	4.0	0.0	10.0	0.0

※「クロス集計」の回答数は30件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

図表 5-91 薬剤師の判断を不安に感じる理由や懸念点（年代別）（複数回答）（インターネット調査）

	全体	10歳代以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
回答数(件)	294	45	33	45	29	29	51	49	13
薬の内容や用法について、薬剤師が適切に判断して説明してくれるか不安がある	45.9	42.2	39.4	44.4	48.3	48.3	51.0	53.1	23.1
市販薬や併用薬との関係について、薬剤師が適切に対応してくれるか不安がある	37.8	37.8	51.5	33.3	51.7	34.5	33.3	30.6	38.5
副作用や体調の変化に対して、薬剤師が判断して必要な対応をしてくれるか不安がある	43.2	33.3	27.3	48.9	62.1	41.4	43.1	46.9	46.2
プライバシーに配慮された環境で相談できるか不安がある	24.1	28.9	36.4	20.0	27.6	34.5	21.6	10.2	23.1
薬局内に血圧計などの基本的な設備が整っておらず、体調確認が不十分になるのではないかと感じる	17.7	13.3	18.2	8.9	34.5	31.0	17.6	14.3	7.7
その他	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	4.1	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※「40歳代」「50歳代」「80歳代以上」の回答数は30件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

（２）リフィル処方方の利用意向（調査票設問 6. ①ー 6）

今後、症状が安定している場合にリフィル処方方を利用したいと思うかについて尋ねたところ、郵送調査・インターネット調査いずれも全体では「どちらかといえば利用したい」が最も多く、それぞれ 32.0%、50.5%であった。

図表 5-92 リフィル処方方の利用意向（性別）（郵送調査）

	今回調査			参考:令和6年度調査		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性
回答数(件)	857	337	496	922	385	518
利用したい	25.6	26.1	25.6	31.8	30.9	32.8
どちらかといえば利用したい	32.0	28.5	33.5	28.5	26.5	29.9
どちらかといえば利用したくない	21.6	24.3	19.8	22.8	23.4	21.8
利用したくない	17.7	19.0	17.3	15.1	16.4	14.3
無回答	3.2	2.1	3.8	1.8	2.9	1.2

図表 5-93 リフィル処方方の利用意向（性別）（インターネット調査）

	今回調査			参考:令和6年度調査		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性
回答数(件)	3000	1500	1500	3000	1500	1500
利用したい	25.4	25.7	25.1	19.0	17.9	20.1
どちらかといえば利用したい	50.5	48.5	52.6	47.1	47.4	46.8
どちらかといえば利用したくない	18.7	19.1	18.3	25.8	25.0	26.7
利用したくない	5.4	6.7	4.0	8.1	9.7	6.5
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

図表 5-94 リフィル処方方の利用意向（年代別）（郵送調査）

	今回調査										参考:令和6年度調査									
	全体	10歳代以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上		全体	10歳代以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	
回答数(件)	857	32	29	62	143	200	178	118	92		922	25	41	91	138	211	165	153	96	
利用したい	25.6	34.4	34.5	27.4	25.2	24.5	28.1	22.9	20.7		31.8	44.0	36.6	38.5	29.0	35.5	34.5	30.1	14.6	
どちらかといえば利用したい	32.0	34.4	51.7	33.9	35.0	31.0	28.7	31.4	27.2		28.5	40.0	41.5	38.5	34.1	25.1	26.7	21.6	25.0	
どちらかといえば利用したくない	21.6	21.9	3.4	24.2	23.8	22.5	22.5	18.6	22.8		16.0	14.6	11.0	22.3	22.3	22.4	28.8	31.3		
利用したくない	17.7	6.3	6.9	14.5	12.6	20.0	16.9	22.9	25.0		15.1	0.0	7.3	9.9	12.3	14.7	14.5	18.3	27.1	
無回答	3.2	3.1	3.4	0.0	3.5	2.0	3.9	4.2	4.3		1.8	0.0	0.0	2.2	2.2	2.4	1.3	1.3	2.1	

※「20歳代」の回答数は30件以下であり、結果のばらつきが大きくなる可能性があるため、参考値として参照する必要がある。

図表 5-95 リフィル処方方の利用意向（年代別）（インターネット調査）

	今回調査										参考:令和6年度調査									
	全体	10歳代以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上		全体	10歳代以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	
回答数(件)	3000	600	300	300	300	300	600	502	98		3000	600	300	300	300	600	525	75		
利用したい	25.4	26.7	26.3	24.3	33.7	23.3	22.0	25.3	21.4		19.0	18.3	21.7	19.7	21.3	17.0	18.2	18.3	20.0	
どちらかといえば利用したい	50.5	58.8	54.7	54.0	43.3	52.3	48.3	42.4	48.0		47.1	54.7	49.0	50.0	45.3	47.3	44.3	41.9	32.0	
どちらかといえば利用したくない	18.7	11.8	15.3	16.0	16.3	20.0	22.3	25.3	25.5		25.8	21.0	23.7	22.0	21.7	28.7	28.5	31.0	36.0	
利用したくない	5.4	2.7	3.7	5.7	6.7	4.3	7.3	7.0	5.1		8.1	6.0	5.7	8.3	11.7	7.0	9.0	8.8	12.0	
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

（３）長期処方の利用意向（調査票設問６．①ー７）

今後、症状が安定している場合に長期処方を利用したいと思うかについて尋ねたところ、郵送調査では全体では「利用したい」が 55.4%で最も多く、インターネット調査では全体では「どちらかといえば利用したい」が 45.6%で最も多かった。

図表 5-96 長期処方の利用意向（性別）
（郵送調査）

	今回調査			参考:令和6年度調査		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性
回答数(件)	857	337	496	857	337	496
利用したい	55.4	54.6	56.3	55.4	54.6	56.3
どちらかといえば利用したい	27.8	28.8	26.6	27.8	28.8	26.6
どちらかといえば利用したくない	7.7	8.0	7.9	7.7	8.0	7.9
利用したくない	5.1	5.9	4.6	5.1	5.9	4.6
無回答	4.0	2.7	4.6	4.0	2.7	4.6

図表 5-97 長期処方の利用意向（性別）
（インターネット調査）

	今回調査			参考:令和6年度調査		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性
回答数(件)	3000	1500	1500	3000	1500	1500
利用したい	38.8	38.7	38.8	26.8	26.1	27.5
どちらかといえば利用したい	45.6	44.5	46.7	46.9	45.9	47.8
どちらかといえば利用したくない	11.6	11.8	11.3	19.7	19.7	19.6
利用したくない	4.1	5.0	3.1	6.7	8.3	5.1
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

図表 5-98 長期処方の利用意向（年代別）（郵送調査）

	今回調査										参考:令和6年度調査									
	全体	10歳代以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上		全体	10歳代以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	
回答数(件)	857	32	29	62	143	200	178	118	92		922	25	41	91	138	211	165	153	96	
利用したい	55.4	71.9	58.6	61.3	53.8	53.5	56.2	39.0	48.9		33.2	44.0	48.8	53.8	44.2	33.2	31.5	19.6	13.5	
どちらかといえば利用したい	27.8	18.8	27.6	24.2	29.4	25.5	26.4	35.6	26.1		22.2	4.0	17.1	22.0	25.4	25.6	23.0	20.9	17.7	
どちらかといえば利用したくない	7.7	3.1	6.9	9.7	9.1	5.0	7.9	6.8	13.0		22.2	4.0	17.1	22.0	25.4	25.6	23.0	20.9	17.7	
利用したくない	5.1	3.1	0.0	4.8	4.9	3.0	5.6	9.3	6.5		41.1	52.0	29.3	18.7	25.4	37.4	41.8	57.5	67.7	
無回答	4.0	3.1	6.9	0.0	2.8	2.0	3.9	9.3	5.4		3.5	0.0	4.9	5.5	5.1	3.8	3.6	2.0	1.0	

※「20歳代」の回答数は30件以下であり、結果のばらつきが大きくなる可能性があるため、参考値として参照する必要がある。

図表 5-99 長期処方の利用意向（年代別）（インターネット調査）

今回調査										参考:令和6年度調査									
	全体	10歳代以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	全体	10歳代以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	
回答数(件)	3000	600	300	300	300	300	600	502	98	3000	600	300	300	300	300	600	525	75	
利用したい	38.8	32.5	36.7	33.3	44.3	36.0	40.5	46.2	42.9	26.8	23.0	22.7	25.7	30.3	24.3	29.3	30.1	30.7	
どちらかといえば利用したい	45.6	33.0	45.7	50.3	37.3	47.3	44.5	39.8	41.5	46.9	54.3	50.0	47.3	41.3	49.0	44.2	42.5	38.7	
どちらかといえば利用したくない	11.6	10.5	13.0	10.7	12.7	13.3	10.8	11.6	12.2	19.7	16.5	21.3	21.0	20.3	20.3	18.3	22.1	21.3	
利用したくない	4.1	4.0	4.7	5.7	5.7	3.3	4.2	2.4	3.1	6.7	6.2	6.0	6.0	8.0	6.3	8.2	5.3	9.3	
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

（４）リフィル処方や長期処方について、医師への相談・要望に対する考え（調査票設問 6. ①－⑧）

リフィル処方や長期処方について、医師への相談・要望は、郵送調査・インターネット調査いずれも全体では「特に相談しづらいと感じたことはない」が最も多く、それぞれ 47.7%、43.5%であった。

図表 5-100 リフィル処方や長期処方について、医師への相談・要望（性別）（複数回答）（郵送調査）

	全体	男性	女性
回答数(件)	857	337	496
医師に遠慮して要望を伝えにくい	20.4	16.3	23.0
医師が忙しそうで相談しづらい	11.7	10.1	13.1
制度の内容をよく理解しておらず相談しづらい	23.3	24.3	22.0
特に相談しづらいと感じたことはない	47.7	52.2	45.2
その他	2.0	2.1	2.0
無回答	7.2	6.8	7.5

図表 5-101 リフィル処方や長期処方について、医師への相談・要望（性別）（複数回答）（インターネット調査）

	全体	男性	女性
回答数(件)	3000	1500	1500
医師に遠慮して要望を伝えにくい	23.1	20.9	25.4
医師が忙しそうで相談しづらい	15.4	16.0	14.8
制度の内容をよく理解しておらず相談しづらい	29.4	29.8	29.1
特に相談しづらいと感じたことはない	43.5	44.5	42.5
その他	1.6	1.3	2.0
無回答	0.0	0.0	0.0

図表 5-102 リフィル処方や長期処方について、医師への相談・要望（性別）（複数回答）（郵送調査）

	全体	10歳代以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
回答数(件)	857	32	29	62	143	200	178	118	92
医師に遠慮して要望を伝えにくい	20.4	18.8	24.1	22.6	32.2	18.5	14.0	18.6	19.6
医師が忙しそうで相談しづらい	11.7	15.6	13.8	11.3	16.1	10.0	7.9	11.0	15.2
制度の内容をよく理解しておらず相談しづらい	23.3	28.1	13.8	29.0	20.3	19.0	23.0	26.3	32.6
特に相談しづらいと感じたことはない	47.7	40.6	44.8	50.0	41.3	54.5	51.1	44.1	41.3
その他	2.0	0.0	0.0	1.6	0.7	2.0	3.9	1.7	2.2
無回答	7.2	9.4	6.9	3.2	6.3	5.0	8.4	12.7	6.5

図表 5-103 リフィル処方や長期処方について、医師への相談・要望（性別）（複数回答）（インターネット調査）

	全体	10歳代以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
回答数(件)	3000	600	300	300	300	300	600	502	98
医師に遠慮して要望を伝えにくい	23.1	27.3	23.7	27.3	27.3	22.7	20.3	17.5	17.3
医師が忙しそうで相談しづらい	15.4	20.2	22.3	19.7	19.3	16.0	11.3	6.6	8.2
制度の内容をよく理解しておらず相談しづらい	29.4	34.5	27.3	32.0	27.0	28.7	29.5	27.1	18.4
特に相談しづらいと感じたことはない	43.5	34.3	41.0	36.7	39.7	43.3	47.8	54.2	58.2
その他	1.6	1.8	0.7	1.3	1.0	1.3	1.7	2.2	4.1
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

参考資料：NDB データを用いた集計

1. 病院・診療所別の処方箋料の算定回数

		令和4年11月診療分		令和5年11月診療分		令和6年11月診療分	
病院	リフィル処方箋	13,992	0.10%	18,163	0.13%	19,229	0.14%
	全処方箋	14,129,763		14,313,038		13,832,173	
診療所	リフィル処方箋	15,921	0.03%	17,544	0.03%	30,085	0.05%
	全処方箋	49,441,253		52,749,798		54,731,337	
全体	リフィル処方箋	29,913	0.05%	35,713	0.05%	49,314	0.07%
	全処方箋	63,571,344		67,063,161		68,563,649	

※ 割合は全処方箋に占めるリフィル処方箋の割合を表している。

2. 病院・診療所別の処方箋料（リフィル）の算定医療機関数

	令和4年11月診療分		令和5年11月診療分		令和6年11月診療分	
病院	911	27.2%	948	28.0%	897	21.7%
診療所	2,444	72.8%	2,438	72.0%	3,245	78.3%
全体	3,355		3,387		4,142	

※ 割合は全体に占める病院または診療所の割合を表している。

3. リフィル処方箋の受付状況（調剤レセプトにおける分析）

	令和4年11月診療分		令和5年11月診療分		令和6年11月診療分	
	薬局数	受付回数	薬局数	受付回数	薬局数	受付回数
リフィル処方箋1／2回目	4,065	15,272	5,427	20,519	7,337	27,648
リフィル処方箋2／2回目	3,625	12,011	5,346	17,614	7,070	23,209
リフィル処方箋1／3回目	3,444	9,303	3,831	10,395	4,684	13,989
リフィル処方箋2／3回目	3,615	8,389	4,185	9,829	4,907	12,431
リフィル処方箋3／3回目	3,021	6,366	3,713	7,740	4,581	10,519
リフィル処方箋の合計	11,071	51,341	13,661	66,097	16,972	87,796
全処方箋	59,751	67,433,897	60,214	70,992,918	60,756	72,667,317

4. 長期処方箋の状況（調剤レセプトにおける分析）

	令和4年11月診療分		令和5年11月診療分		令和6年11月診療分	
	薬局数	受付回数	薬局数	受付回数	薬局数	受付回数
長期処方箋の処方箋	59,699	33,299,047	60,162	33,553,143	60,700	34,702,077
全処方箋	59,751	67,433,897	60,214	70,992,918	60,756	72,667,317

病院（医科・歯科）

処方日数	令和4年11月		令和5年11月		令和6年11月	
28日未満	3,355,236	28.1%	3,559,200	29.4%	3,400,534	29.0%
28日～41日	3,572,803	29.9%	3,478,185	28.7%	3,333,811	28.4%
42日～55日	626,813	5.3%	620,352	5.1%	597,977	5.1%
56日～69日	1,803,360	15.1%	1,782,784	14.7%	1,712,157	14.6%
70日～83日	592,278	5.0%	616,006	5.1%	604,374	5.2%
84日～97日	1,718,818	14.4%	1,761,578	14.6%	1,783,279	15.2%
98日～111日	211,668	1.8%	231,270	1.9%	244,299	2.1%
112日～125日	26,575	0.2%	27,938	0.2%	29,431	0.3%
126日～139日	5,550	0.0%	6,387	0.1%	6,110	0.1%
140日～153日	3,304	0.0%	3,272	0.0%	3,380	0.0%
154日～167日	889	0.0%	1,019	0.0%	1,045	0.0%
168日～181日	9,362	0.1%	9,153	0.1%	9,473	0.1%
182日以上	4,938	0.0%	5,178	0.0%	5,418	0.0%
合計	11,931,594	100.0%	12,102,322	100.0%	11,731,288	100.0%

※ 割合は合計数に占める長期処方の各処方日数が占める割合を表している。

令和6年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（令和7年度調査）

_01-2 リフィル_単純集計表_v0.6.xlsx_1.病院・診療所調査

施設	割合
回答数（件）	471
病院	54.4
診療所	45.6
無回答	0.0

1. ① 所在地

	割合
回答数（件）	471
北海道	7.2
青森県	1.3
岩手県	0.8
宮城県	1.7
秋田県	1.5
山形県	0.6
福島県	2.5
茨城県	2.3
栃木県	0.8
群馬県	1.3
埼玉県	3.8
千葉県	4.5
東京都	10.6
神奈川県	7.0
新潟県	1.7
富山県	1.1
石川県	1.1
福井県	1.3
山梨県	0.2
長野県	1.1
岐阜県	2.1
静岡県	2.1
愛知県	4.0
三重県	1.9
滋賀県	0.8
京都府	2.1
大阪府	4.9
兵庫県	4.0
奈良県	1.1
和歌山県	1.1
鳥取県	0.0
島根県	0.4
岡山県	1.1
広島県	1.9
山口県	0.6
徳島県	0.6
香川県	0.6
愛媛県	1.5
高知県	0.8
福岡県	5.7
佐賀県	1.5
長崎県	1.3
熊本県	1.9
大分県	1.5
宮崎県	1.3
鹿児島県	2.1
沖縄県	0.4
無回答	0.0

1. ② 開設者

	割合
回答数（件）	471
国	1.9
公立	10.6
公的	3.2
社会保険関係団体	0.0
医療法人（社会医療法人を除く）	47.1
会社	0.0
その他の法人	15.3
個人	21.4
無回答	0.4

1. ③ 医療機関の種別

	割合
回答数（件）	471
病院	53.5
有床診療所	2.3
無床診療所	42.9
無回答	1.3

1. ④ 許可病床数 一般病床（床）

	割合
回答数（件）	259
平均値	115.8
標準偏差	136.3
中央値	84.0

1. ④ 許可病床数 療養病床（床）

	割合
回答数（件）	259
平均値	29.2
標準偏差	45.4
中央値	0.0

1. ④ 許可病床数 精神病床（床）

	割合
回答数（件）	259
平均値	15.4
標準偏差	58.3
中央値	0.0

1. ④ 許可病床数 結核病床（床）

	割合
回答数（件）	259
平均値	0.3
標準偏差	3.5
中央値	0.0

1. ④ 許可病床数 感染症病床（床）

	割合
回答数（件）	259
平均値	0.3
標準偏差	1.0
中央値	0.0

1. ④ 許可病床数 病院・診療所全体（床）

	割合
回答数（件）	259
平均値	161.0
標準偏差	137.5
中央値	141.0

1. ④ 許可病床数 病院全体

	割合
回答数（件）	256
99床以下	34.0
100～199床	44.1
200～299床	7.8
300～399床	5.9
400～499床	3.5
500床以上	2.0
無回答	2.7

1. ④ 許可病床数 病院全体

	割合
回答数（件）	256
200床未満	78.1
200床以上	19.1
無回答	2.7

1. ④ 許可病床数 診療所全体

	割合
回答数（件）	11
9床以下	9.1
10～14床	27.3
15床以上	0.0
無回答	63.6

1. ⑤ 過去1年の病床数変更

	割合
回答数（件）	263
変更あり	9.1
変更なし	88.6
無回答	2.3

1. ⑥ 標榜診療科

	割合
回答数（件）	471
内科	79.4
外科	39.1
精神科	16.8
小児科	25.3
皮膚科	30.1
泌尿器科	27.2
産婦人科・産科	13.2
眼科	22.1
耳鼻咽喉科	21.2
放射線科	21.2
脳神経外科	22.7
整形外科	43.7
麻酔科	22.3
救急科	8.5
歯科・歯科口腔外科	7.6
リハビリテーション科	43.5
その他	15.3
無回答	0.0

1. ⑥ - 1 内科において主に対応している患者像はどのような疾患が多いか

	割合
回答数（件）	374
糖尿病	82.1
高血圧性疾患	88.0
虚血性心疾患	48.4
アレルギー・鼻炎	23.5
脂質異常症	78.1
消化器系の疾患	61.0
悪性新生物＜腫瘍＞	15.5
神経系の疾患	20.9
皮膚及び皮下組織の疾患	6.4
眼及び付属器の疾患	2.4
呼吸器系の疾患	40.6
その他	6.7
無回答	2.1

1. ⑦ 施設の外来分離

	割合
回答数（件）	471
外来分離をしている	24.0
外来分離をしていない	69.0
無回答	7.0

1. ⑧ 地域医療情報連携ネットワークへの参加の有無

	割合
回答数（件）	471
参加あり	38.2
参加なし	58.4
無回答	3.4

1. ⑨ 外来を担う医師の人数 a. 常勤医師（人）

	割合
回答数（件）	460
平均値	10.5
標準偏差	30.4
中央値	2.0

1. ⑨ 外来を担う医師の人数 b. 非常勤医師：実人数（人）

	割合
回答数（件）	330
平均値	17.3
標準偏差	26.6
中央値	6.0

1. ⑨ 外来を担う医師の人数 b. 非常勤医師：常勤換算（人）

	割合
回答数（件）	306
平均値	3.1
標準偏差	5.4
中央値	1.5

1. ⑩ 外来の患者数（初診患者数＋再診延べ患者数 令和7年4～6月の合計）（人）

	割合
回答数（件）	451
平均値	9699.4
標準偏差	14597.1
中央値	4898.0

1. ⑪ 処方箋の発行枚数（令和7年4～6月の合計）（枚）

	割合
回答数（件）	438
平均値	5445.9
標準偏差	7397.3
中央値	3125.5

1. ⑫ - 1 診療報酬の算定の有無（令和7年6月1か月） 生活習慣病管理料（Ⅰ）

	割合
回答数（件）	471
算定あり	14.2
算定なし	79.0
無回答	6.8

1. ⑫ - 2 診療報酬の算定の有無（令和7年6月1か月） 生活習慣病管理料（Ⅱ）

	割合
回答数（件）	471
算定あり	57.1
算定なし	39.5
無回答	3.4

1. ⑫ - 3 診療報酬の算定の有無（令和7年6月1か月） 特定疾患処方管理加算

	割合
回答数（件）	471
算定あり	62.2
算定なし	32.7
無回答	5.1

1. ⑫ - 4 診療報酬の算定の有無（令和7年6月1か月） 地域包括診療料（地域包括診療加算）

	割合
回答数（件）	471
算定あり	3.0
算定なし	89.4
無回答	7.6

令和6年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（令和7年度調査）

①-2 リフィル 単純集計表_v0.6.xlsx 1.病院・診療所調査

1. ⑫-1 診療報酬の算定の件数（令和7年6月1か月）生活習慣病管理料（Ⅰ）（件）

	割合
回答数（件）	62
平均値	85.4
標準偏差	109.5
中央値	23.5

1. ⑫-2 診療報酬の算定の件数（令和7年6月1か月）生活習慣病管理料（Ⅱ）（件）

	割合
回答数（件）	252
平均値	446.5
標準偏差	432.2
中央値	341.5

1. ⑫-3 診療報酬の算定の件数（令和7年6月1か月）特定疾患処方管理加算（件）

	割合
回答数（件）	270
平均値	243.9
標準偏差	437.6
中央値	116.5

1. ⑫-4 診療報酬の算定の件数（令和7年6月1か月）地域包括診療料（地域包括診療加算）（件）

	割合
回答数（件）	13
平均値	904.9
標準偏差	1278.7
中央値	290.0

1. ⑬ リフィル処方を交付すること又は28日以上長期の投薬を行うことについて、当該対応が可能であることを当該保険医療機関の見やすい場所に提示しているか

	割合
回答数（件）	471
提示している	59.0
提示していない	37.4
無回答	3.6

1. ⑭ リフィル処方箋の発行に係る検討についての今後の見通し

	割合
回答数（件）	471
積極的に検討する	6.2
患者希望があれば検討する	53.3
検討には消極的	39.5
無回答	1.1

1. ⑮ 長期処方の発行に係る検討についての今後の見通し

	割合
回答数（件）	471
積極的に検討する	25.3
患者希望があれば検討する	55.4
検討には消極的	18.0
無回答	1.3

2. ① リフィル処方の仕組みの認知

	割合
回答数（件）	471
仕組みを理解している	84.5
名称だけ知っている	12.5
知らない	1.5
無回答	1.5

2. ①-1 仕組みを知ったきっかけ

	割合
回答数（件）	457
新聞・雑誌のニュース等の報道	10.1
医師会や薬剤師会等の団体からの案内等	44.0
薬局からの案内等	1.3
保険者側からの案内等	5.3
患者からの問い合わせ	1.8
行政からの案内等	31.7
その他	4.8
無回答	1.1

2. ② 施設において、リフィル処方箋を発行した経験（施設種別）

	割合
回答数（件）	471
病院・リフィル処方箋発行あり	19.7
病院・リフィル処方箋発行なし	34.2
診療所・リフィル処方箋発行あり	24.0
診療所・リフィル処方箋発行なし	21.2
無回答	0.8

2. ② 施設において、リフィル処方箋を発行した経験

	割合
回答数（件）	471
経験がある	43.7
経験はない	55.4
無回答	0.8

2. ②-1 リフィル処方箋に関する薬局からの服薬情報提供書（トレーシングレポート）の有無

	割合
回答数（件）	206
有	46.6
無	51.5
無回答	1.9

2. ③-1 どのような患者に長期処方を発行しているか、また発行が適していると思われるか

	割合
回答数（件）	471
慢性疾患管理が必要な患者	41.4
遠隔地に住んでおり通院回数を減らしたい患者	39.9
症状が安定している患者	85.1
訪問診療や在宅医療を受けている患者	11.3
仕事や生活の都合で通院が難しい患者	46.1
その他	3.2
無回答	2.5

2. ③-2 どのような患者にリフィル処方箋を発行しているか、また発行が適していると思われるか

	割合
回答数（件）	471
慢性疾患管理が必要な患者	27.8
遠隔地に住んでおり通院回数を減らしたい患者	28.9
症状が安定している患者	71.8
訪問診療や在宅医療を受けている患者	10.8
仕事や生活の都合で通院が難しい患者	31.4
その他	7.6
無回答	10.2

2. ④ リフィル処方を普及させるための課題と考えられること

	割合
回答数（件）	471
患者への仕組みの周知が十分でないこと	54.4
医師への仕組みの周知が十分でないこと	34.6
薬剤師への仕組みの周知が十分でないこと	9.6
かかりつけ薬剤師制度の普及が十分でないこと	15.9
処方日数・量に制限のある医薬品をリフィル処方にできないこと	38.2
その他	18.5
無回答	8.1

令和6年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（令和7年度調査）

_01-2 リフィル_単純集計表_v0.6.xlsx_2.医師調査

1. ① 性別

	割合
回答数（件）	400
男性	83.0
女性	17.0
無回答	0.0

1. ② 年代

	割合
回答数（件）	400
20歳代	1.3
30歳代	7.0
40歳代	19.3
50歳代	33.0
60歳代	30.3
70歳代以上	9.3
無回答	0.0

1. ③ 主たる担当診療科

	割合
回答数（件）	400
内科	52.3
外科	9.0
精神科	3.0
小児科	3.8
皮膚科	4.0
泌尿器科	3.3
産婦人科・産科	1.5
眼科	3.0
耳鼻咽喉科	5.8
放射線科	0.0
脳神経外科	2.0
整形外科	8.5
麻酔科	0.3
救急科	1.0
歯科・歯科口腔外科	0.3
リハビリテーション科	0.5
その他	2.0
無回答	0.0

1. ④ 外来診察患者数（令和7年4月～6月）

	割合
回答数（件）	400
499人以下	29.3
500～999人	15.3
1000～1499人	9.3
1500～1999人	5.3
2000～2499人	5.3
2500～2999人	2.8
3000～3499人	5.0
3500人以上	26.8
無回答	1.0

1. ④ 外来診察患者数（令和7年4月～6月）（人）

	割合
回答数（件）	400
平均値	2876.8
標準偏差	4045.8
中央値	1214.0

2. ① 長期処方の実施有無

	割合
回答数（件）	400
実施したことがある	89.5
実施したことはない	10.5
無回答	0.0

2. ② 長期処方を行う際に、1回の処方を出すことが多い日数

	割合
回答数（件）	358
28～41日	31.8
42～55日	4.5
56～69日	35.5
70～83日	0.6
84～90日	22.3
91日以上	4.7
無回答	0.6

2. ③ 令和6年6月と令和7年6月を比較して、長期処方の処方件数に変化はあったか

回答数（件）	358
処方期間が長くなることが増えた	23.2
処方期間が短くなることが増えた	2.8
特に変化はない	70.9
わからない	2.8
無回答	0.3

2. ④ どのような患者に長期処方を実施しているか

	割合
回答数（件）	358
自施設のかかりつけの患者	72.1
症状が安定している患者	91.1
通院が困難な患者（高齢、遠方など）	60.1
服薬管理が適切にできている患者	61.7
希望があった患者	45.0
その他	0.6
無回答	0.3

2. ⑤ 長期処方を行う理由

	割合
回答数（件）	358
症状が安定していたから	90.5
患者の通院負担（時間・費用）を軽減するから	64.8
患者が高齢・遠方などで通院が困難だから	64.0
患者が服薬管理を適切に行えているから	57.3
医師の診察時に状態を十分に確認できているから	52.5
その他	1.7
無回答	0.6

2. ⑥ 長期処方を実施したことがない理由

	割合
回答数（件）	42
症状が安定している患者がいなかったから	14.3
患者の服薬管理や残薬・飲み忘れに不安があるから	28.6
定期的な診察で状態を確認したいから	66.7
長期処方による副作用や体調変化の見逃しが心配だから	35.7
患者から長期処方を希望されたことがないから	28.6
処方を提案したが、患者が断ったから	4.8
その他	7.1
無回答	0.0

2. ⑦ 患者への長期処方の説明・案内の実施状況

	割合
回答数（件）	400
患者から希望があれば説明・案内している	52.3
患者からの希望の有無に関わらず説明・案内している	27.8
基本的に説明・案内していない	20.0
無回答	0.0

2. ⑧ 長期処方について患者からの希望の有無

	割合
回答数（件）	400
あった	81.5
なかった	18.5
無回答	0.0

2. ⑨ 長期処方に係る検討についての今後の見通し

	割合
回答数（件）	400
積極的に検討する	30.0
患者希望があれば検討する	61.0
検討には消極的	9.0
無回答	0.0

2. ⑩ 長期処方について、「積極的に検討する」と回答した理由

	割合
回答数（件）	120
患者からの希望が多いから	46.7
患者の待ち時間が減るから	66.7
医師の負担軽減につながるから	68.3
その他	8.3
無回答	0.8

2. ⑪ 長期処方について、「検討には消極的」と回答した理由

	割合
回答数（件）	36
医師が患者の症状の変化に気付きにくくなるから	72.2
患者の服薬管理や残薬・飲み忘れに不安があるから	41.7
定期的な診察によるフォローが必要と考えるから	75.0
その他	13.9
無回答	0.0

2. ⑫ 長期処方の課題として考えられること

	割合
回答数（件）	400
医師が患者の症状の変化に気付きにくくなること	76.0
患者に長期処方が必要とされていないこと	9.3
処方箋の不正利用（転売や他人への譲渡等）が心配なこと	25.3
かかりつけ薬剤師制度の普及が十分でないこと	11.0
残薬の原因となること	63.8
薬剤の安定供給に影響すること	29.3
その他	5.3
無回答	0.0

3. ① リフィル処方の仕組みの認知

回答数（件）	400
仕組みを理解している	64.3
名称だけ知っている	26.0
知らない	9.8
無回答	0.0

3. ①・1 リフィル処方の仕組みを知ったきっかけ

	割合
回答数（件）	361
新聞・雑誌のニュース等の報道	35.5
医師会等の団体からの案内等	55.1
薬局からの案内等	13.6
保険者側からの案内等	9.7
患者からの問い合わせ	6.6
行政からの案内等	29.9
その他	5.5
無回答	0.6

3. ② リフィル処方箋の発行有無

	割合
回答数（件）	400
発行したことがある	28.5
発行したことはない	71.5
無回答	0.0

3. ③ どのような患者にリフィル処方箋を発行しているか

	割合
回答数（件）	114
自施設のかかりつけの患者	100.0
自施設と連携する薬局に「かかりつけ薬剤師」がいる患者	14.9
自施設と連携する薬局以外の薬局に「かかりつけ薬剤師」がいる患者	7.0
その他	0.9
無回答	0.0

3. ④ リフィル処方箋を発行した理由

	割合
回答数（件）	114
症状が安定していたから	74.6
患者に「かかりつけ薬剤師」がいたから	6.1
患者からの希望があったから	67.5
その他	4.4
無回答	0.0

3. ⑤ 長期処方ではなくリフィル処方箋を発行する理由

	割合
回答数（件）	114
患者が適切に薬の管理ができるか心配なため	42.1
薬剤師との連携により患者の状態や副作用のモニタリングができるため	41.2
その他	23.7
無回答	5.3

3. ⑥ リフィル処方箋を発行した患者に対し、薬剤師から受診勧奨を受けた経験の有無

	割合
回答数（件）	114
受診勧奨を受けた患者はいた	13.2
受診勧奨を受けた患者はいなかった	86.8
無回答	0.0

3. ⑦ 薬剤師からの受診勧奨の理由は適切だったか

	割合
回答数（件）	15
適切であった	100.0
必ずしも受診を要するとは言えない場合があった	0.0
無回答	0.0

3. ⑧ リフィル処方箋の2回目・3回目の調剤における薬局からの報告について、どのように考えているか

	割合
回答数（件）	114
必ずしも受診を要するとは言えない場合があった	17.5
問題がない場合でも、患者の来局や体調などを報告してほしい	71.1
問題がある場合のみ報告してくれればよい	11.4
報告が必要かどうかは薬局の判断に任せたい	0.0
無回答	0.0

3. ⑨ リフィル処方箋に関する薬局からの服薬情報提供書（トレーシングレポート）で提供してほしい情報

	割合
回答数（件）	114
他の医療機関から処方された薬の情報	53.5
患者の服用薬	38.6
患者の服薬状況	81.6
患者に対する服薬指導の要点	37.7
患者の状態	51.8
患者が容易に又は継続的に服用できるための調剤上の工夫等	21.1
その他	2.6
無回答	0.9

3. ⑩ 令和6年6月と令和7年6月を比較して、リフィル処方箋の発行件数に変化はあったか

	割合
回答数（件）	400
処方を行うことが増えた	8.5
処方を行うことが減った	2.3
特に変化はない	72.3
わからない	17.0
無回答	0.0

3. ⑪ 令和6年度診療報酬改定による処方箋料の見直しによる処方への影響

	割合
回答数（件）	400
特に処方の判断に変化はない	97.3
院内処方が増えた	0.0
処方日数を増やした	2.8
無回答	0.0

3. ⑪ 処方日数を増やした場合の枚数（枚程度）

	割合
回答数（件）	11
平均値	43.9
標準偏差	20.2
中央値	30.0

令和6年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（令和7年度調査）

_01-2 リフィル_単純集計表_v0.6.xlsx_2.医師調査

3. ⑫ リフィル処方箋を発行しなかった理由

	割合
回答数（件）	287
症状が安定している患者がいなかったから	5.2
薬剤師と適切に連携して管理できる患者がいなかったから	9.8
症状が安定し、薬剤師と連携して管理できるが、医師の判断が必須だったから	11.5
長期処方に対応が可能だったから	57.5
患者からの求めがないから	49.1
発行を提案したが、患者が断ったから	1.4
その他	8.4
無回答	0.7

3. ⑬ リフィル処方箋の発行ではなく長期処方を行った理由

	割合
回答数（件）	165
薬を処方する際には医師の判断が毎回必須と考えるから	63.6
患者にリフィル処方箋を必要とされていないから	40.0
処方箋の不正利用が心配だから	17.0
リフィル処方の仕組みがよく分からないから	25.5
患者が薬局に行く負担を軽減するため	25.5
患者の費用負担が少ないから	12.1
患者が希望したから	6.1
その他	3.0
無回答	0.6

3. ⑭ 患者へのリフィル処方の説明・案内の実施状況

	割合
回答数（件）	400
患者から希望があれば説明・案内している	37.3
患者からの希望の有無に関わらず説明・案内している	8.0
基本的に説明・案内していない	54.8
無回答	0.0

3. ⑮ 令和6年度診療報酬改定により、リフィル処方箋を発行した場合も特定疾患処方管理加算が算定可能となったことを知っているか

	割合
回答数（件）	400
知っている	33.0
知らなかった	67.0
無回答	0.0

3. ⑯ リフィル処方箋の発行について患者からの希望の有無

	割合
回答数（件）	400
あった	27.3
なかった	72.8
無回答	0.0

3. ⑰ リフィル処方箋の発行に係る検討についての今後の見通し

	割合
回答数（件）	400
積極的に検討する	8.5
患者希望があれば検討する	53.5
検討には消極的	38.0
無回答	0.0

3. ⑱ リフィル処方箋の発行について、「積極的に検討する」と回答した理由

	割合
回答数（件）	34
患者からの希望が多いから	20.6
患者の待ち時間が減るから	61.8
医師の負担軽減につながるから	67.6
その他	8.8
無回答	5.9

3. ⑲ リフィル処方箋の発行について、「検討には消極的」と回答した理由

	割合
回答数（件）	152
医師が患者の症状の変化に気づきにくくなるから	64.5
薬を処方する際には医師の判断が毎回必須と考えるから	52.0
患者にリフィル処方箋が必要とされていないから	28.9
処方箋の不正利用が心配だから	20.4
リフィル処方の仕組みがよくわからないから	19.7
薬剤師からのフィードバック（服薬情報提供書等）が十分に得られないから	13.8
その他	11.8
無回答	0.7

3. ⑳ リフィル処方のデメリットとして懸念していること

回答数（件）	400
患者の症状の変化や副作用の見逃し	71.8
患者が調剤を受ける際の負担の増加	23.8
処方箋の不正利用	34.8
患者の服薬管理への不安	51.5
薬剤師との連携への不安	21.3
その他	4.5
特に懸念はない	6.8
無回答	0.0

3. （21） リフィル処方が普及するための課題として考えられること

	割合
回答数（件）	400
患者への仕組みの周知が十分でないこと	67.5
薬剤師への仕組みの周知が十分でないこと	20.5
かかりつけ薬剤師制度の普及が十分でないこと	33.0
処方日数・量に制限のある医薬品をリフィル処方にできないこと	39.8
その他	13.3
無回答	0.0

4. ① 長期処方又はリフィル処方の実施有無

	割合
回答数（件）	400
長期処方又はリフィル処方を実施したことがある	90.8
どちらも実施したことはない	9.3
無回答	0.0

令和6年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（令和7年度調査）

_01-2 リフィル_単純集計表_v0.6.xlsx_3.保険薬局調査

1. ①所在地

	割合
回答数（件）	455
北海道	2.6
青森県	0.4
岩手県	0.4
宮城県	1.8
秋田県	1.5
山形県	1.3
福島県	0.2
茨城県	2.9
栃木県	1.3
群馬県	1.8
埼玉県	5.7
千葉県	6.8
東京都	11.0
神奈川県	6.4
新潟県	0.9
富山県	0.4
石川県	0.4
福井県	0.7
山梨県	0.7
長野県	1.3
岐阜県	1.3
静岡県	5.3
愛知県	5.5
三重県	1.1
滋賀県	2.0
京都府	1.8
大阪府	8.8
兵庫県	4.8
奈良県	0.7
和歌山県	1.1
鳥取県	0.2
島根県	0.4
岡山県	0.9
広島県	1.8
山口県	2.0
徳島県	0.4
香川県	1.3
愛媛県	1.1
高知県	0.7
福岡県	4.0
佐賀県	1.1
長崎県	0.9
熊本県	1.5
大分県	0.9
宮崎県	0.4
鹿児島県	1.3
沖縄県	0.2
無回答	0.0

1. ②開設者

	割合
回答数（件）	455
法人	89.9
個人	8.1
その他	0.2
無回答	1.8

1. ③同一グループによる薬局店舗数

	割合
回答数（件）	455
1店舗	16.3
2～4店舗	17.6
5～9店舗	9.5
10～19店舗	5.3
20～29店舗	5.1
30～39店舗	1.5
40～49店舗	0.9
50～99店舗	3.1
100～199店舗	3.1
200店舗以上	32.1
無回答	5.7

1. ③同一グループによる薬局店舗数（店舗）

	割合
回答数（件）	429
平均値	426.4
標準偏差	721.2
中央値	15.0

1. ④開設年

	割合
回答数（件）	455
1995年以前	9.2
1996～2000年	6.8
2001～2005年	9.0
2006～2010年	11.0
2011～2015年	18.5
2016～2020年	17.8
2021年以降	14.1
無回答	13.6

1. ④開設年（西暦）

	割合
回答数（件）	393
平均値	2009.2
標準偏差	14.3
中央値	2013.0

1. ⑤薬局の立地

	割合
回答数（件）	455
医療機関の近隣にある	69.5
医療モールの中にある	1.8
医療機関の敷地内にある	2.2
ビル診療所と同じ建物内にある	3.3
近隣に医療機関はない	10.8
その他	2.0
無回答	10.5

1. ⑥現在の薬局の立地に至った経緯

	割合
回答数（件）	358
既にある医療機関の近隣に立地することを目的として開設した	45.3
医療機関からの誘致・要請を受けて開設した	10.6
薬局が主導して医療モール等を企画・開設し、医療機関を誘致した	2.5
医療機関との位置関係は考慮せず開設した	12.3
医療機関と薬局、両者の協議により、連携を意図して開設した	13.1
その他	12.3
無回答	3.9

1. ⑦応需医療機関数（令和7年4月～6月の月平均値）

	割合
回答数（件）	455
1～9機関	7.9
10～19機関	10.5
20～29機関	10.8
30～39機関	9.7
40～49機関	6.8
50～59機関	8.1
60～69機関	6.8
70～79機関	5.7
80機関以上	27.5
無回答	6.2

1. ⑦応需医療機関数（令和7年4月～6月の月平均値）（施設）

	割合
回答数（件）	427
平均値	79.0
標準偏差	99.7
中央値	50.0

1. ⑧最も多く処方箋を受け付けた医療機関からの処方箋枚数割合（令和7年4月～6月における月平均値）

	割合
回答数（件）	455
30％未満	20.7
30％以上40％未満	7.3
40％以上50％未満	6.2
50％以上60％未満	5.3
60％以上70％未満	9.2
70％以上80％未満	8.6
80％以上90％未満	13.8
90％以上95％未満	14.1
95％以上100％未満	12.3
100％_	0.2
無回答	2.4

1. ⑧最も多く処方箋を受け付けた医療機関からの処方箋枚数割合（令和7年4月～6月における月平均値）（％）

	割合
回答数（件）	444
平均値	61.9
標準偏差	30.2
中央値	70.0

1. ⑨・1集中度率が最も高い医療機関の種別

	割合
回答数（件）	455
診療所	70.5
病院	27.9
無回答	1.5

1. ⑨・2最も多く処方箋を受け付けた医療機関と薬局との位置関係

	割合
回答数（件）	455
貴薬局の近隣に医療機関はない	12.7
当該医療機関や医療機関の駐車場と同一の敷地内にある	5.9
当該医療機関や医療機関の駐車場と隣接し公道を介さずに往来できる	11.0
当該医療機関の近隣にある	66.4
上記1～4.以外の状況	2.9
無回答	1.1

1. ⑨・3最も多く処方箋を受け付けた医療機関は複数の医療機関が所在する建物（いわゆる医療モール等）に該当するか

	割合
回答数（件）	455
該当する	5.1
該当しない	93.4
無回答	1.5

1. ⑨・4最も多く処方箋を受け付けた医療機関の診療科

	割合
回答数（件）	455
内科	75.2
外科	25.5
精神科	13.4
小児科	28.4
皮膚科	28.4
泌尿器科	20.0
産婦人科・産科	14.3
眼科	22.0
耳鼻咽喉科	21.8
放射線科	9.5
脳神経外科	17.1
整形外科	30.5
麻酔科	8.4
救急科	8.6
歯科・歯科口腔外科	14.7
リハビリテーション科	8.8
その他	2.2
無回答	2.0

1. ⑩薬局の売上高に占める保険調剤売上上の割合（令和6年度決算）

	割合
回答数（件）	455
30％未満	4.4
30％以上40％未満	1.3
40％以上50％未満	1.3
50％以上60％未満	0.4
60％以上70％未満	0.7
70％以上80％未満	1.1
80％以上90％未満	3.5
90％以上95％未満	6.6
95％以上100％未満	47.0
100％_	19.3
無回答	14.3

1. ⑩薬局の売上高に占める保険調剤売上上の割合（令和6年度決算）（％）

	割合
回答数（件）	390
平均値	90.1
標準偏差	22.0
中央値	99.0

1. ⑪令和7年度の調剤基本料の届出状況

	割合
回答数（件）	455
調剤基本料1	59.3
調剤基本料2	2.9
調剤基本料3イ	3.7
調剤基本料3ロ	6.2
調剤基本料3ハ	26.6
特別調剤基本料A	0.9
特別調剤基本料B	0.0
無回答	0.4

1. ⑫令和7年度の地域支援体制加算の届出状況

	割合
回答数（件）	455
地域支援体制加算1	15.8
地域支援体制加算2	13.4
地域支援体制加算3	9.0
地域支援体制加算4	7.9
届出していない	53.4
無回答	0.4

1. ⑬連携強化加算の届出状況

	割合
回答数（件）	455
届出あり	73.6
届出なし	25.9
無回答	0.4

1. ⑭かかりつけ薬剤師指導料及びかかりつけ薬剤師包括管理料の施設基準等の届出状況

	割合
回答数（件）	455
届出あり	67.7
届出なし	29.2
無回答	3.1

1. ⑮・1職員数 薬剤師 常勤職員

	割合
回答数（件）	455
0人	0.0
1人	32.3
2人	27.0
3人	17.4
4人以上	22.2
無回答	1.1

1. ⑮・1職員数 薬剤師 常勤職員（人）

	割合
回答数（件）	450
平均値	2.6
標準偏差	1.8
中央値	2.0

令和6年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（令和7年度調査）

_01-2 リフィル_単純集計表_v0.6.xlsx_3.保険薬局調査

1. ⑮・1 職員数 薬剤師 非常勤職員 実人数

	割合
回答数（件）	455
0人	13.4
1人	18.5
2人	13.8
3人	9.9
4人以上	15.2
無回答	29.2

1. ⑮・1 職員数 薬剤師 非常勤職員 実人数（人）

	割合
回答数（件）	322
平均値	2.6
標準偏差	3.2
中央値	2.0

1. ⑮・1 職員数 薬剤師 非常勤職員 常勤換算

回答数（件）	455
0人	17.4
0人超1人未満	27.5
1人以上2人未満	15.6
2人以上3人未満	4.8
3人以上	5.5
無回答	29.2

1. ⑮・1 職員数 薬剤師 非常勤職員 常勤換算（人）

	割合
回答数（件）	322
平均値	1.0
標準偏差	1.3
中央値	0.7

1. ⑮・1 職員数 かかりつけ薬剤師指導料等における薬剤師 常勤職員

回答数（件）	455
0人	21.8
1人	36.3
2人	16.9
3人	5.9
4人以上	4.6
無回答	14.5

1. ⑮・1 職員数 かかりつけ薬剤師指導料等における薬剤師 常勤職員（人）

	割合
回答数（件）	389
平均値	1.3
標準偏差	1.2
中央値	1.0

1. ⑮・1 職員数 かかりつけ薬剤師指導料等における薬剤師 非常勤職員 実人数

	割合
回答数（件）	455
0人	44.4
1人	5.5
2人	1.1
3人	0.2
4人以上	0.7
無回答	48.1

1. ⑮・1 職員数 かかりつけ薬剤師指導料等における薬剤師 非常勤職員 実人数（人）

	割合
回答数（件）	236
平均値	0.2
標準偏差	0.8
中央値	0.0

1. ⑮・1 職員数 かかりつけ薬剤師指導料等における薬剤師 非常勤職員 常勤換算

回答数（件）	455
0人	45.7
0人超1人未満	2.0
1人以上2人未満	2.9
2人以上3人未満	0.9
3人以上	0.4
無回答	48.1

1. ⑮・1 職員数 かかりつけ薬剤師指導料等における薬剤師 非常勤職員 常勤換算（人）

	割合
回答数（件）	236
平均値	0.2
標準偏差	0.5
中央値	0.0

1. ⑮・1 職員数 その他（事務職員等） 常勤職員

	割合
回答数（件）	455
0人	12.3
1人	31.4
2人	22.6
3人	14.1
4人以上	12.5
無回答	7.0

1. ⑮・1 職員数 その他（事務職員等） 常勤職員（人）

	割合
回答数（件）	423
平均値	2.0
標準偏差	1.8
中央値	2.0

1. ⑮・1 職員数 その他（事務職員等） 非常勤職員 実人数

回答数（件）	455
0人	23.5
1人	14.1
2人	11.4
3人	4.8
4人以上	7.7
無回答	38.5

1. ⑮・1 職員数 その他（事務職員等） 非常勤職員 実人数（人）

回答数（件）	280
平均値	1.6
標準偏差	2.1
中央値	1.0

1. ⑮・1 職員数 その他（事務職員等） 非常勤職員 常勤換算

回答数（件）	455
0人	26.4
0人超1人未満	16.0
1人以上2人未満	11.6
2人以上3人未満	3.7
3人以上	3.7
無回答	38.5
	割合

1. ⑮・1 職員数 その他（事務職員等） 非常勤職員 常勤換算（人）

回答数（件）	280
平均値	0.8
標準偏差	1.2
中央値	0.5

1. ⑯ 薬局の認定等の状況

	割合
回答数（件）	455
地域連携薬局	18.2
専門医療機関連携薬局	0.2
健康サポート薬局（健康増進支援薬局）	7.0
該当なし	62.4
無回答	16.3

2. ① リフィル処方 の仕組みについて知っているか

	割合
回答数（件）	455
知っている	99.6
知らない	0.2
無回答	0.2

2. ② リフィル処方箋を応需した際の薬局内の業務手順を定めているか

	割合
回答数（件）	455
薬局内で手順を定めている	84.8
個々の薬剤師の判断に委ねている	13.6
無回答	1.5

2. ③ リフィル処方箋の次回調剤日を薬局内で管理する方法

	割合
回答数（件）	455
紙による管理（メモや調剤録への記載）	53.8
電子的な管理（電子薬歴等のシステムによる管理）	37.4
その他	2.6
管理していない	5.5
無回答	0.7

2. ④ リフィル処方箋の次回調剤日を患者に対して通知（リマインド）する方法

	割合
回答数（件）	455
電話	49.0
SNSやメール	6.6
専用アプリ	3.5
書面の手渡し	50.8
書面の郵送	0.4
次回調剤可能期間をレシートに記載	5.5
その他	6.4
実施していない	12.1
無回答	0.7

2. ⑤ リフィル処方箋の受付経験

	割合
回答数（件）	455
リフィル処方箋を受け付けたことがある	69.9
受け付けたことはない	28.6
無回答	1.5

2. ⑥ リフィル処方箋の対応実績がない理由

	割合
回答数（件）	130
リフィル処方箋を持ちこまれたことがない	90.8
リフィル処方を希望している患者がいない	20.8
リフィルの電子処方箋の対応を希望されたがシステムが対応していない	0.0
その他	3.1
無回答	3.8

3. ① 受け付けたリフィル処方箋を発行した医療機関数（令和7年4月～6月の合計数）（か所）

	割合
回答数（件）	317
平均値	1.8
標準偏差	1.7
中央値	1.0

3. ②・1 どのような関係の医療機関からリフィル処方箋を受け付けたか

	割合
回答数（件）	318
近隣の診療所	43.1
近隣の病院（199床以下）	10.1
近隣の病院（200床以上399床以下）	9.1
近隣の病院（400床以上）	18.6
遠方の診療所	23.9
遠方の病院（199床以下）	6.6
遠方の病院（200床以上399床以下）	5.7
遠方の病院（400床以上）	17.6
同一敷地内の診療所	0.0
同一敷地内の病院（199床以下）	0.0
同一敷地内の病院（200床以上399床以下）	0.0
同一敷地内の病院（400床以上）	0.0
同一医療モール内の診療所	0.3
その他	0.6
無回答	0.6

3. ②・2 どのような医療機能をもつ医療機関からリフィル処方箋を受け付けたか

	割合
回答数（件）	318
一般病院1（主として、日常生活圏域等の比較的狭い地域において地域医療を支える中小規模病院）	28.9
一般病院2（主として、二次医療圏等の比較的広い地域において急性期医療を中心に地域医療を支える基幹的病院）	28.0
一般病院3（主として、高度の医療の提供、高度の医療技術の開発・評価、高度の医療に関する研究を実施する病院（特定機能病院、大学病院本院 等））	24.2
リハビリテーション病院	0.3
慢性期病院	0.0
精神科病院	0.0
緩和ケア病院	0.0
診療所	42.8
その他	0.9
無回答	1.6

3. ③・1 どの診療科のリフィル処方箋を受け付けたか

	割合
回答数（件）	318
内科	61.6
外科	13.2
精神科	0.6
小児科	3.5
皮膚科	12.3
泌尿器科	9.1
産婦人科・産科	13.2
眼科	5.7
耳鼻咽喉科	9.1
放射線科	0.6
脳神経外科	4.4
整形外科	14.5
麻酔科	0.0
救急科	0.0
歯科・歯科口腔外科	0.6
リハビリテーション科	0.6
その他	2.8
無回答	1.3

3. ③・2 最も多くリフィル処方箋を受け付けた診療科

	割合
回答数（件）	318
内科	52.2
外科	5.3
精神科	0.0
小児科	1.6
皮膚科	4.7
泌尿器科	5.7
産婦人科・産科	7.9
眼科	1.9
耳鼻咽喉科	5.3
放射線科	0.3
脳神経外科	1.9
整形外科	7.2
麻酔科	0.0
救急科	0.0
歯科・歯科口腔外科	0.3
リハビリテーション科	0.0
その他	2.2
無回答	3.5

令和6年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（令和7年度調査）

_01-2 リフィル_単純集計表_v0.6.xlsx_3.保険薬局調査

3. ③・1 どの診療科のリフィル処方箋を受け付けたか

	割合
回答数（件）	318
内科	61.6
外科	13.2
精神科	0.6
小児科	3.5
皮膚科	12.3
泌尿器科	9.1
産婦人科・産科	13.2
眼科	5.7
耳鼻咽喉科	9.1
放射線科	0.6
脳神経外科	4.4
整形外科	14.5
麻酔科	0.0
救急科	0.0
歯科・歯科口腔外科	0.6
リハビリテーション科	0.6
その他	2.8
無回答	1.3

3. ③・2 最も多くリフィル処方箋を受け付けた診療科

	割合
回答数（件）	318
内科	52.2
外科	5.3
精神科	0.0
小児科	1.6
皮膚科	4.7
泌尿器科	5.7
産婦人科・産科	7.9
眼科	1.9
耳鼻咽喉科	5.3
放射線科	0.3
脳神経外科	1.9
整形外科	7.2
麻酔科	0.0
救急科	0.0
歯科・歯科口腔外科	0.3
リハビリテーション科	0.0
その他	2.2
無回答	3.5

3. ④・1 リフィル処方箋の受付件数(令和7年4月～6月の合計) 1回目（回）

	割合
回答数（件）	278
平均値	3.7
標準偏差	12.7
中央値	1.0

3. ④・1 リフィル処方箋の受付件数(令和7年4月～6月の合計) 2回目（回）

	割合
回答数（件）	271
平均値	3.2
標準偏差	10.7
中央値	1.0

3. ④・1 リフィル処方箋の受付件数(令和7年4月～6月の合計) 3回目（回）

	割合
回答数（件）	215
平均値	1.3
標準偏差	2.6
中央値	1.0

3. ⑤ 令和6年度診療報酬改定の前後で、最後の回の調剤を終えたリフィル処方箋の件数に変化はあったか

	割合
回答数（件）	318
非常に増えた	0.9
やや増えた	17.6
変わらない	74.2
やや減った	3.8
非常に減った	1.9
無回答	1.6

3. ⑥ リフィル処方箋を受け付けた際、薬剤師より受診勧奨をしたことはあるか

	割合
回答数（件）	318
ある	9.7
ない	82.7
無回答	7.5

3. ⑦ リフィルの上限まで使用されなかった事例の有無とその理由

	割合
回答数（件）	318
薬剤師が受診勧奨をしたから	1.6
患者が処方箋期限内に医療機関の受診を希望したから	5.7
患者が別の薬局で処方を受けることになったから	12.6
患者と連絡は取れていたが、来局前に処方箋期限が切れたから	6.3
患者と連絡が取れず、処方箋期限が切れたから	8.8
その他	5.7
上限まで使用されなかったことはない	53.8
無回答	14.5

3. ⑧・1 薬剤師が受診勧奨をした回数（令和7年4月～6月）（回）

	割合
回答数（件）	5
平均値	0.8
標準偏差	0.4
中央値	1.0

3. ⑧・2 受診勧奨を判断し、説明する際の処方医への相談状況

	割合
回答数（件）	5
受診勧奨後に処方医に患者の情報を報告した	40.0
事前に処方医へ相談した	20.0
処方医に相談は行っていない	20.0
その他	20.0
無回答	0.0

3. ⑧・3 薬剤師が受診勧奨をした理由

	割合
回答数（件）	5
副作用が疑われたから	40.0
患者の症状の変化に気付いたから	20.0
服薬状況に注意すべき点があったから	20.0
その他	40.0
無回答	0.0

3. ⑧・4 医師への情報提供内容

	割合
回答数（件）	5
服薬状況や残薬などの状況	20.0
副作用や体調変化の状況	60.0
処方薬の効果	0.0
薬剤師が指導した内容	20.0
患者の質問や疑念	0.0
他の医療機関から処方された薬の情報	20.0
その他	0.0
情報提供は実施していない	40.0
無回答	0.0

3. ⑨ 1）服薬情報等提供料1により算定した回数(令和7年4月～6月の合計)（回）

	割合
回答数（件）	238
平均値	0.2
標準偏差	1.2
中央値	0.0

3. ⑨ 2）服薬情報等提供料2のロにより算定した回数(令和7年4月～6月の合計)（回）

	割合
回答数（件）	236
平均値	1.5
標準偏差	10.6
中央値	0.0

3. ⑨ 3）服薬情報等提供料を算定しない情報提供の回数(令和7年4月～6月の合計)（回）

	割合
回答数（件）	251
平均値	1.0
標準偏差	4.3
中央値	0.0

3. ⑩ リフィル処方箋の2回目・3回目の調剤を行った際、患者が来局したことを医療機関（かかりつけ医）に報告しているか

	割合
回答数（件）	318
毎回報告している	22.6
副作用の発現等、必要に応じて報告している	25.5
報告していない	48.7
その他	0.6
無回答	2.5

3. ⑪ 患者が、リフィル処方箋の2回目・3回目の調剤の間に来局しなかった場合、医療機関（かかりつけ医）に報告しているか

	割合
回答数（件）	318
必ず報告している	3.1
必要と判断した場合のみ報告している	15.4
報告していない	28.6
来局しなかったケースはない	49.4
その他	0.9
無回答	2.5

3. ⑫ リフィル処方の患者に関して、医師に服薬指導提供書（トレーシングレポート）を提供した情報の内容

	割合
回答数（件）	318
他の医療機関から処方された薬の情報	20.8
患者の服用薬	15.1
患者の服薬状況	44.3
患者に対する服薬指導の要点	19.2
患者の状態	38.4
患者が容易に又は継続的に服用できるための調剤上の工夫等	3.5
その他	7.9
無回答	37.1

3. ⑬ 患者へのフォローアップの有無

	割合
回答数（件）	318
1回目調剤後にフォローアップを行ったことがある	24.5
2回目調剤後にフォローアップを行ったことがある	9.1
3回目調剤後にフォローアップを行ったことがある	1.3
フォローアップを行ったことはない	62.3
無回答	2.8

3. ⑬・1 実施したフォローアップの内容

	割合
回答数（件）	111
服薬アドヒアランス	82.9
副作用のモニタリング	64.9
薬の効果確認	52.3
その他	1.8
無回答	0.0

3. ⑭ 1枚のリフィル処方箋の処方の途中で薬局が変わった経験

	割合
回答数（件）	318
ある（自薬局から他薬局へ）	10.1
ある（他薬局から自薬局へ）	27.7
ない	35.2
不明	3.8
無回答	28.9

3. ⑮・1 どのような方法で他薬局へ情報提供を行ったか

	割合
回答数（件）	32
他の薬局に文書を送付した	6.3
情報を記録したものを患者に提供した	15.6
お薬手帳に記載した	59.4
他の薬局に電話をした	12.5
他の薬局にメール・FAXを送付した	3.1
地域医療情報連携ネットワークを利用した	0.0
医療従事者用SNSを利用した	0.0
その他	9.4
無回答	6.3

3. ⑮・2 どのような内容を情報提供したか

	割合
回答数（件）	32
患者の服用薬	68.8
患者の服薬状況	34.4
患者に対する服薬指導の要点	3.1
患者の状態	9.4
残薬	6.3
調剤上の工夫	6.3
その他	9.4
無回答	9.4

4. ①・1 長期処方を応需する件数が多い医療機関の特徴

	割合
回答数（件）	455
近隣の診療所	55.6
近隣の病院（199床以下）	26.8
近隣の病院（200床以上399床以下）	32.7
近隣の病院（400床以上）	37.4
遠方の診療所	12.5
遠方の病院（199床以下）	13.8
遠方の病院（200床以上399床以下）	18.9
遠方の病院（400床以上）	29.0
同一敷地内の診療所	1.5
同一敷地内の病院（199床以下）	0.4
同一敷地内の病院（200床以上399床以下）	0.7
同一敷地内の病院（400床以上）	0.7
同一医療モール内の診療所	0.7
その他	0.4
無回答	1.8

4. ①・2 どのような医療機能をもつ医療機関から長期処方を受け付けたか

	割合
回答数（件）	455
一般病院1（主として、日常生活圏域等の比較的狭い地域において地域医療を支える中小規模病院）	49.2
一般病院2（主として、二次医療圏等の比較的広い地域において急性期医療を中心に地域医療を支える基幹的病院）	53.8
一般病院3（主として、高度の医療の提供、高度の医療技術の開発・評価、高度の医療に関する研究を実施する病院（特定機能病院、大学病院本院等））	45.5
リハビリテーション病院	3.7
慢性期病院	5.7
精神科病院	6.6
緩和ケア病院	0.2
診療所	38.0
その他	0.7
無回答	2.4

令和6年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（令和7年度調査）

01-2 リフィル 単純集計表_v0.6.xlsx_3.保険薬局調査

4. ② 長期処方 を応需する件数が多い診療科

	割合
回答数（件）	455
内科	65.5
外科	3.3
精神科	2.6
小児科	2.2
皮膚科	3.1
泌尿器科	5.1
産婦人科・産科	1.3
眼科	2.0
耳鼻咽喉科	1.5
放射線科	0.0
脳神経外科	3.7
整形外科	5.3
麻酔科	0.2
救急科	0.2
歯科・歯科口腔外科	0.2
リハビリテーション科	0.4
その他	0.7
無回答	2.6

4. ③ 改定前（令和6年5月以前）と比較して応需する処方箋の変化について

	割合
回答数（件）	455
28日以上 の長期処方が増加した	11.9
リフィル処方が増加した	7.0
変わらない	79.6
無回答	2.6

4. ④ 28日以上 の長期処方の処方箋を応需する際に特に注視して実施していること

	割合
回答数（件）	455
調剤に時間を要するため即時に調剤せず後日に調剤及び服薬指導等を実施している	19.1
在庫が足りないため複数回に分けて医薬品を交付している	15.6
事前に医療機関から連絡をもらっている	10.3
フォローアップの対象患者とする	21.5
かかりつけ薬剤師指導料の同意を得るようにしている	6.6
その他	21.1
無回答	20.2

5. ① リフィル処方 を医師へ提案したことのある薬剤の種類

	割合
回答数（件）	455
血圧降下剤	3.1
高脂血症用剤	1.8
経口血糖降下剤	0.7
インスリン製剤	0.4
ホルモン剤	0.2
花粉症治療薬	0.9
消化器用剤	0.4
その他	1.3
リフィル処方を医師へ提案したことはない	89.9
無回答	5.3

5. ② 薬剤師としてリフィル処方が適すると考える状況等

	割合
回答数（件）	455
医薬品供給が不安定な品目が処方されている場合	17.4
パンデミックや災害による医療アクセスの制限がある場合	23.5
待ち時間の長い医療機関から処方がある場合	38.2
医師不足や医療資源が限られている地域での対応が求められる場合	26.2
受診の間隔を延長する際の切り替え（例：30日処方→30日×2回）	22.2
長期処方からの切り替え（例：60日処方→30日×2回）	27.3
かかりつけ薬剤師指導料の同意を得ている患者	6.6
調剤後薬剤管理指導料に係るフォローアップを実施している患者	7.0
対面でのフォローアップが必要な患者	20.4
遠距離の医療機関を受診している患者	38.9
副作用のモニタリングが必要な患者	20.7
その他	3.1
無回答	5.7

5. ③ 薬局でリフィル処方箋を受けるにあたって課題と感 じること

	割合
回答数（件）	455
患者が次回調剤日に別の薬局を利用した場合の対応	40.4
患者が処方箋を紛失してしまうことへの対応	60.4
調剤か受診勧奨の適切な判断の実施	28.8
適切な副作用の評価	21.5
リフィル処方箋を受付する機会が少なく対応に不慣れであること	38.0
処方医との適切な情報連携	20.4
患者が2回目以降、期限内に来局することへの対応	43.5
患者がリフィル処方箋の仕組みを理解すること	35.6
医師がリフィル処方箋の仕組みを理解すること	16.9
薬剤師がリフィル処方箋の仕組みを理解すること	11.9
その他	3.5
特になし	4.0
無回答	2.6

5. ④ 患者からのリフィル処方に関する相談を受けた経験

	割合
回答数（件）	455
ある	18.5
ない	79.3
無回答	2.2

5. ⑤・1 どのような患者からの相談だったか

	割合
回答数（件）	84
医薬品供給が不安定な品目を使用している患者	1.2
待ち時間の長い医療機関からの処方を受けている患者	39.3
長期処方を受けている患者	42.9
生活習慣病に係る薬物治療を受けている患者	29.8
かかりつけ薬剤師指導料の同意を得ている患者	2.4
調剤後薬剤管理指導料に係るフォローアップを実施している患者	0.0
その他	10.7
無回答	1.2

5. ⑤・2 受けた相談の内容

	割合
回答数（件）	84
リフィル処方箋を使用したい	48.8
リフィル処方がどのような仕組みになっているのかを知りたい	38.1
自身がリフィル処方の対象になりうるか知りたい	2.4
医師への相談（申し出）方法について知りたい	6.0
その他	3.6
無回答	1.2

5. ⑤・3 患者がリフィル処方を希望していることに関して、処方医へ情報提供したことはあるか

	割合
回答数（件）	84
ある	17.9
ない	79.8
無回答	2.4

6. ① 長期処方（本調査では28日以上）を医師へ提案したことのある薬剤の種類

	割合
回答数（件）	455
血圧降下剤	6.2
高脂血症用剤	6.2
経口血糖降下剤	3.3
インスリン製剤	0.9
ホルモン剤	0.2
花粉症治療薬	2.6
消化器用剤	3.7
その他	0.2
長期処方を医師へ提案したことはない	88.8
無回答	2.4

6. ② 薬剤師として長期処方が適すると考える状況等

	割合
回答数（件）	455
医薬品供給が安定している品目が処方されている場合	34.1
パンデミックや災害による医療アクセスの制限がある場合	32.3
待ち時間の長い医療機関から処方がある場合	46.8
受診の間隔を延長する際の切り替え（例：30日処方→60日処方）	27.9
リフィル処方からの切り替え（例：30日×2回→60日処方）	9.7
かかりつけ薬剤師指導料の同意を得ている患者	6.6
調剤後薬剤管理指導料に係るフォローアップを実施している患者	8.8
その他	5.9
無回答	5.9

6. ③ 薬局で長期処方を受けるにあたって課題と感 じること

	割合
回答数（件）	455
医薬品の供給体制	83.3
適切な副作用の評価	40.9
処方医との適切な情報連携	28.8
その他	2.0
特になし	4.8
無回答	2.0

6. ④ 患者からの長期処方に関する相談を受けた経験

	割合
回答数（件）	455
ある	26.6
ない	70.5
無回答	2.9

6. ⑤・1 どのような患者からの相談だったか

	割合
回答数（件）	121
医薬品供給が不安定な品目を使用している患者	7.4
待ち時間の長い医療機関からの処方を受けている患者	62.8
リフィル処方を受けている患者	2.5
生活習慣病に係る薬物治療を受けている患者	47.9
かかりつけ薬剤師指導料の同意を得ている患者	5.0
調剤後薬剤管理指導料に係るフォローアップを実施している患者	0.8
その他	16.5
無回答	0.0

6. ⑤・2 受けた相談の内容

	割合
回答数（件）	121
長期処方をしてほしい	72.7
長期処方がどのような仕組みになっているのかを知りたい	4.1
自身が長期処方の対象になりうるか知りたい	9.9
医師への相談（申し出）方法について知りたい	9.1
その他	1.7
無回答	2.5

6. ⑤・3 患者が長期処方を希望していることに関して、処方医へ情報提供したことはあるか

	割合
回答数（件）	121
ある	44.6
ない	52.9
無回答	2.5

令和6年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（令和7年度調査）

_01-2 リフィル_単純集計表_v0.6.xlsx_4.患者調査

1. 記入者

	郵送調査	インターネット調査
回答数（件）	857	3000
患者本人（代筆の場合も含む）	76.2	79.1
本人以外の家族等	15.8	20.9
無回答	8.1	0.0

2. ① 性別

	郵送調査	インターネット調査
回答数（件）	857	3000
男性	39.3	50.0
女性	57.9	50.0
無回答	2.8	0.0

2. ② 年齢

	郵送調査	インターネット調査
回答数（件）	857	3000
10歳代以下	3.7	20.0
20歳代	3.4	10.0
30歳代	7.2	10.0
40歳代	16.7	10.0
50歳代	23.3	10.0
60歳代	20.8	20.0
70歳代	13.8	16.7
80歳代以上	10.7	3.3
無回答	0.4	0.0

2. ③ 居住地

	郵送調査	インターネット調査
回答数（件）	857	3000
北海道	3.3	4.1
青森県	1.2	1.0
岩手県	1.1	0.7
宮城県	2.0	2.2
秋田県	1.4	0.6
山形県	0.9	0.9
福島県	0.9	1.3
茨城県	2.3	1.9
栃木県	0.9	1.2
群馬県	1.6	0.7
埼玉県	4.2	6.3
千葉県	4.8	4.9
東京都	6.2	13.3
神奈川県	6.1	8.3
新潟県	1.4	1.0
富山県	0.5	0.8
石川県	0.5	0.9
福井県	0.9	0.3
山梨県	0.4	0.2
長野県	1.2	1.1
岐阜県	1.8	1.4
静岡県	4.1	2.3
愛知県	5.0	7.4
三重県	1.2	1.4
滋賀県	1.1	1.0
京都府	1.8	2.0
大阪府	6.3	6.4
兵庫県	3.7	4.7
奈良県	0.5	1.0
和歌山県	1.3	0.9
鳥取県	0.2	0.3
島根県	0.2	0.7
岡山県	1.1	1.4
広島県	1.8	2.3
山口県	1.2	0.9
徳島県	0.6	0.6
香川県	1.2	0.8
愛媛県	1.4	1.0
高知県	1.2	0.5
福岡県	6.4	5.4
佐賀県	1.4	0.8
長崎県	1.3	1.0
熊本県	1.6	1.0
大分県	1.3	1.0
宮崎県	1.1	0.7
鹿児島県	1.3	1.1
沖縄県	0.0	0.6
無回答	8.6	0.0

2. ④ 医療費の自己負担額（医療機関や薬局の窓口で支払う金額）があるか

	郵送調査	インターネット調査
回答数（件）	857	3000
ある	92.4	82.8
ない	7.4	17.2
無回答	0.2	0.0

3. ① 定期的に受診している医療機関数（病院・診療所）

	郵送調査	インターネット調査
回答数（件）	857	3000
0箇所	7.4	21.0
1箇所	46.1	46.4
2箇所	31.3	20.1
3箇所	11.1	8.8
4箇所以上	3.6	3.7
無回答	0.6	0.0

3. ① 定期的に受診している医療機関数（病院・診療所）（箇所）

	郵送調査	インターネット調査
回答数（件）	852	3000
平均値	1.6	1.3
標準偏差	1.0	1.2
中央値	1.0	1.0

3. ① 定期的に受診している薬局数

	郵送調査	インターネット調査
回答数（件）	857	3000
0箇所	10.2	22.9
1箇所	65.8	57.3
2箇所	18.4	15.1
3箇所	2.5	3.8
4箇所以上	0.7	0.9
無回答	2.5	0.0

3. ① 定期的に受診している薬局数（箇所）

	郵送調査	インターネット調査
回答数（件）	836	3000
平均値	1.6	1.0
標準偏差	1.0	1.0
中央値	1.0	1.0

3. ② 繰り返し同じ薬の処方を受けている疾患

	郵送調査	インターネット調査
回答数（件）	857	3000
糖尿病	13.0	7.5
高血圧性疾患	38.9	18.5
虚血性心疾患（狭心症、心筋梗塞）	5.0	2.2
アレルギー鼻炎	12.5	11.2
脂質異常症	24.3	10.7
消化器系の疾患	11.1	7.1
悪性新生物＜腫瘍＞	2.9	1.4
神経系の疾患	3.9	4.2
皮膚及び皮下組織の疾患	10.0	10.5
眼及び付属器の疾患	12.0	7.7
呼吸器系の疾患	6.7	5.2
その他	26.5	22.7
定期的な処方を受けている疾患はない	9.3	29.3
無回答	1.1	0.0

3. ③ 繰り返し同じ薬の処方を受けている期間

	郵送調査	インターネット調査
回答数（件）	768	2120
1年未満	11.3	14.2
1年以上3年未満	20.6	19.8
3年以上5年未満	15.1	15.2
5年以上	51.7	50.8
無回答	1.3	0.0

3. ④ リフィル処方を知っていたか

	郵送調査	インターネット調査
回答数（件）	857	3000
仕組みを理解していた	32.6	9.5
名称だけ聞いたことがあった	28.5	18.1
知らなかった	38.7	72.4
無回答	0.2	0.0

3. ⑤ リフィル処方の仕組みをどのようにして知ったか

	郵送調査	インターネット調査
回答数（件）	279	285
担当医師から説明を受けた	14.7	26.3
病院内での掲示物や病院のホームページを見て知った	18.6	16.5
薬局で教えてもらった	26.5	24.6
かかりつけの薬局内での掲示板や薬局のホームページで見えて知った	3.6	11.6
厚生労働省などの公的機関からの情報（ホームページ等）を見て知った	15.4	17.5
テレビやニュース等を見て知った	21.5	28.1
家族や知人から聞いて知った	8.6	8.1
その他	6.1	8.8
無回答	8.6	0.0

3. ⑥ リフィル処方について、関心の程度

	郵送調査	インターネット調査
回答数（件）	244	543
非常に関心がある	2.9	11.0
ある程度関心がある	30.3	42.0
どちらともいえない	23.4	36.6
あまり関心がない	19.7	9.2
全く関心がない	12.3	1.1
無回答	11.5	0.0

4. ① 1回の受診で28日分以上の処方（長期処方）を受けたことがあるか

	郵送調査	インターネット調査
回答数（件）	857	3000
ある	73.3	57.4
ない	21.2	42.6
無回答	5.5	0.0

4. ② 最近、医療機関で長期処方された薬について、1回の処方で何日分の薬が出されたか

	郵送調査	インターネット調査
回答数（件）	628	1721
28～41日	37.6	37.3
42～55日	7.8	11.4
56～69日	28.2	25.9
70～83日	2.9	2.7
84～90日	17.8	17.0
91日以上	3.0	5.7
無回答	2.7	0.0

4. ③ 28日分以上処方された薬を、使用せずに残したことがあるか

	郵送調査	インターネット調査
回答数（件）	628	1721
ある	20.7	30.8
ない	75.2	65.3
覚えていない	2.9	4.0
無回答	1.3	0.0

4. ④ 使用せずに残した量

	郵送調査	インターネット調査
回答数（件）	130	530
60日分以上の薬が残った	2.3	4.5
30日分以上60日分未満の薬が残った	5.4	12.6
15日分以上30日分未満の薬が残った	52.3	50.4
覚えていない	32.3	32.5
無回答	7.7	0.0

4. ⑤ 処方された薬を使用せずに残した理由

	郵送調査	インターネット調査
回答数（件）	130	530
副作用が生じ、使用の継続が困難となったため	6.2	6.8
症状が改善し、服用がなくなったため	26.2	29.4
医師の指示で途中で使用を中止したため	7.7	7.5
服用を忘れることが多かったため	63.1	50.8
薬の効果を感じられなかったため	4.6	9.1
薬の味やにおいが苦手だったため	0.0	3.8
万が一のために残しておきたいと考えたため	7.7	9.8
医師の指示で災害時や体調不良等に備えて一定量を手元に残しておくように言われたため	5.4	4.2
その他	9.2	9.6
無回答	0.8	0.0

4. ⑥ 受け取った処方せんについて、薬局での調剤を受けなかったことがあるか

	郵送調査	インターネット調査
回答数（件）	628	1721
ある	3.2	8.3
ない	95.1	91.7
無回答	1.8	0.0

4. ⑦ 調剤を受けなかった理由

	郵送調査	インターネット調査
回答数（件）	20	143
処方せんの有効期限を切らしてしまったため	45.0	31.5
以前に調剤された薬が十分に余っていたため	35.0	55.9
症状が改善し、薬がなくなったため	15.0	18.2
その他	10.0	11.9
無回答	5.0	0.0

4. ⑧ 長期処方を受けるようになって、医療機関や薬局の利用にどのような変化があったか

	郵送調査	インターネット調査
回答数（件）	628	1721
通院回数が減った	63.9	45.8
医療費の支払い額が減った	28.2	18.3
薬局に行く回数が減った	39.2	34.7
医師や薬剤師との相談の頻度が変わった	5.6	5.4
特に変化は感じない	27.1	43.0
その他	1.9	0.3
無回答	3.0	0.0

4. ⑨ 長期処方を受けて「良かった」と感じたこと

	郵送調査	インターネット調査
回答数（件）	628	1721
通院の手間が減って助かった	74.8	75.4
忙しい時期でも薬を切らずに済んだ	41.1	38.7
医師との信頼関係が深まった	5.6	9.5
自分の体調管理に自信が持てるようになった	6.5	9.4
その他	5.4	3.0
無回答	7.3	0.0

5. ① リフィル処方せんを交付されたことがあるか

|--|--|

令和6年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（令和7年度調査）

_01-2 リフィル 単純集計表_v0.6.xlsx 4.患者調査

5. ③ 直近のリフィル処方せんは、何回反復利用できる処方せんか

	郵送調査	インターネット調査
回答数（件）	68	357
3回	41.2	24.4
2回	50.0	75.6
無回答	8.8	0.0

5. ④ 直近のリフィル処方せんは、1回あたり何日分位の薬が調剤されたか（日分）

	郵送調査	インターネット調査
回答数（件）	65	282
平均値	49.7	38.8
標準偏差	28.4	25.6
中央値	35.0	30.0

5. ⑤ リフィル処方せんの1回目の調剤で、どこ薬局に行ったか

	郵送調査	インターネット調査
回答数（件）	68	357
自宅近くにある薬局	41.2	33.6
受診した医療機関の近くの薬局（1以外）	48.5	61.6
1～2.以外の薬局	10.3	4.8
無回答	0.0	0.0

5. ⑥ リフィル処方せんの2回目以降の調剤で、自宅近くにある薬局に変えたか

	郵送調査	インターネット調査
回答数（件）	40	237
はい	10.0	8.9
いいえ	85.0	83.1
まだ2回目の調剤を受けていない	0.0	8.0
無回答	5.0	0.0

5. ⑦ リフィル処方せんの2回目以降の調剤のタイミングで、調剤を受けずに受診しなければいけなくなったことはあるか

	郵送調査	インターネット調査
回答数（件）	68	357
ある	2.9	25.2
ない	92.6	74.8
無回答	4.4	0.0

5. ⑧ ⑦で「1. ある」と回答した理由

	郵送調査	インターネット調査
回答数（件）	2	90
医師による受診指示があったから	100.0	43.3
薬剤師による受診勧奨があったから	0.0	48.9
ご自身で受診を受けた方がよいと考えたから	0.0	30.0
その他	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0

5. ⑨ リフィル処方せんによる調剤を受けた後の期間に、薬剤師からフォローアップを受けたことがあるか

	郵送調査	インターネット調査
回答数（件）	68	357
ある	48.5	40.1
ない	48.5	59.9
無回答	2.9	0.0

5. ⑩ 薬剤師からどのようなフォローアップを受けたか

	郵送調査	インターネット調査
回答数（件）	33	143
薬の飲み方の指導を受けた	36.4	35.7
薬が効いているか確認された	30.3	47.6
副作用について確認された	21.2	39.9
体調などの確認をされた	66.7	58.7
服薬状況を確認された	51.5	30.1
他科の受診状況を確認された	9.1	7.0
その他	6.1	0.7
無回答	3.0	0.0

5. ⑪ 受け取ったリフィル処方せんについて、薬局での調剤を受けなかったことがあるか

	郵送調査	インターネット調査
回答数（件）	68	357
1回目の調剤を受けなかった	2.9	3.6
最大2回まで受け取り可能だったが、2回目の調剤を受けなかった	2.9	14.8
最大3回まで受け取り可能だったが、2回目の調剤を受けなかった	0.0	8.4
最大3回まで受け取り可能だったが、3回目の調剤を受けなかった	2.9	2.0
調剤を受けなかったことはない	82.4	71.1
無回答	8.8	0.0

5. ⑫ 前記⑪で「調剤を受けなかった」と回答した理由

	郵送調査	インターネット調査
回答数（件）	6	103
処方せんの有効期限を切らしてしまったため	66.7	22.3
以前に調剤された薬が十分に余っていたため	33.3	68.0
症状が改善し、薬がなくなったため	0.0	26.2
薬剤師から受診を勧められたため	0.0	5.8
無回答	0.0	0.0

5. ⑬ リフィル処方せんを利用して、医療機関や薬局の利用にどのような変化があったか

	郵送調査	インターネット調査
回答数（件）	68	357
通院回数が減った	75.0	54.9
医療費の支払い額が減った	36.8	26.9
薬局での相談機会が増えた	8.8	12.6
薬剤師との関係が深まった	10.3	9.5
特に変化は感じない	13.2	24.6
その他	5.9	0.3
無回答	0.0	0.0

5. ⑭ リフィル処方せんを利用して「良かった」と感じたこと

	郵送調査	インターネット調査
回答数（件）	68	357
自分のペースで薬を受け取れるようになった	61.8	58.3
忙しい時期でも薬の受け取りがスムーズだった	39.7	37.5
薬剤師との信頼関係が深まった	8.8	13.4
健康管理への意識が高まった	8.8	16.5
薬局でのフォローアップが安心感につながった	11.8	7.3
その他	10.3	2.8
無回答	4.4	0.0

6. ① - 1 リフィル処方利用の際して、メリットになると感じるもの

	郵送調査	インターネット調査
回答数（件）	857	3000
通院にかかる時間的負担（予約・移動・待ち時間）を減らせる	76.8	67.2
通院によってかかる医療費が安くなる	45.9	42.3
症状が安定していて、異変時には、医師に相談ができる	17.4	21.7
症状が安定していて、異変時には、薬剤師に相談ができる	11.2	12.5
医療機関に行く回数が減り、感染症に罹るリスクを減らすことができる	28.4	25.4
薬がほしいだけという自分の状況にあっている	25.7	32.4
その他	4.1	2.4
無回答	3.9	0.0

6. ① - 2 リフィル処方利用の際して、デメリットや懸念とを感じるもの

	郵送調査	インターネット調査
回答数（件）	857	3000
医師に診てもらう機会が減ってしまう	49.0	40.4
薬剤師の判断に不安がある	9.8	9.8
2回目、3回目の薬のもらい方や、かかる金額がよくわからない	18.8	23.1
リフィル処方せんを希望しても発行してもらえないことがある	7.1	11.4
処方せんを保管しておくことが手間である	42.0	19.7
調剤予定日の前後7日でしか薬を受け取れないのは不便である	25.2	18.5
その他	6.3	7.3
無回答	6.9	0.0

6. ① - 3 前記① - 2で「2. 薬剤師の判断に不安がある」の場合、不安に感じる理由や懸念点は何か

	郵送調査	インターネット調査
回答数（件）	84	294
薬の内容や用法について、薬剤師が適切に判断して説明してくれるか不安がある	40.5	45.9
市販薬や併用薬との関係について、薬剤師が適切に対応してくれるか不安がある	21.4	37.8
副作用や体調の変化に対して、薬剤師が判断に必要な対応をしてくれるか不安がある	46.4	43.2
プライバシーに配慮された環境で相談できるか不安がある	19.0	24.1
薬局内に血圧計などの基本的な設備が整っておらず、体調確認が不十分になるのではないかと感じる	21.4	17.7
その他	10.7	1.7
無回答	3.6	0.0

6. ① - 4 長期処方利用の際して、メリットになると感じるもの

	郵送調査	インターネット調査
回答数（件）	857	3000
通院にかかる時間的負担（予約・移動・待ち時間）を減らせる	86.0	71.1
通院によってかかる医療費が安くなる	44.1	43.5
医療機関に行く回数が減り、感染症に罹るリスクを減らすことができる	31.7	31.7
薬がほしいだけという自分の状況にあっている	22.3	33.1
その他	1.8	1.8
無回答	4.9	0.0

6. ① - 5 長期処方利用の際して、デメリットや懸念とを感じるもの

	郵送調査	インターネット調査
回答数（件）	857	3000
医師に診てもらう機会が減ってしまう	69.4	73.8
薬剤師に相談できる機会が減ってしまう	11.9	21.4
その他	10.0	14.0
無回答	18.6	0.0

6. ① - 6 今後、病状が安定している場合にリフィル処方を利用したいと思うか

	郵送調査	インターネット調査
回答数（件）	857	3000
利用したい	25.6	25.4
どちらかといえば利用したい	32.0	50.5
どちらかといえば利用したくない	21.6	18.7
利用したくない	17.7	5.4
無回答	3.2	0.0

6. ① - 7 今後、病状が安定している場合に長期処方を利用したいと思うか

	郵送調査	インターネット調査
回答数（件）	857	3000
利用したい	55.4	38.8
どちらかといえば利用したい	27.8	45.6
どちらかといえば利用したくない	7.7	11.6
利用したくない	5.1	4.1
無回答	4.0	0.0

6. ① - 8 リフィル処方や長期処方について、医師に相談・要望を伝えることに関して、次のように感じたことはあるか

	郵送調査	インターネット調査
回答数（件）	857	3000
医師に遠慮して要望を伝えにくい	20.4	23.1
医師が忙しいそうで相談しづらい	11.7	15.4
制度の内容をよく理解しておらず相談しづらい	23.3	29.4
特に相談しづらいと感じたことはない	47.7	43.5
その他	2.0	1.6
無回答	7.2	0.0

6. ② - 1 リフィル処方を利用するにあたり必要だと感じること

	郵送調査	インターネット調査
回答数（件）	857	3000
信頼する「かかりつけ医」がいること	65.3	69.5
信頼する「かかりつけ薬剤師」のいる薬局があること	32.6	32.1
薬剤師から薬について十分な説明があること	25.4	29.1
自分の服用している薬の効能、副作用を理解していること	40.0	34.6
「かかりつけ医」や「かかりつけ薬剤師」がいつでも相談にのってくれること	36.2	27.6
電子処方せんによる対応	6.1	9.7
その他	3.6	1.7
無回答	5.4	0.0

6. ② - 2 長期処方を利用するにあたり必要だと感じること

	郵送調査	インターネット調査
回答数（件）	857	3000
信頼する「かかりつけ医」がいること	70.1	70.7
信頼する「かかりつけ薬剤師」のいる薬局があること	31.7	33.0
薬剤師から薬について十分な説明があること	27.7	30.5
自分の服用している薬の効能、副作用を理解していること	42.5	37.1
「かかりつけ医」や「かかりつけ薬剤師」がいつでも相談にのってくれること	36.2	27.2
電子処方せんによる対応	4.4	9.1
その他	2.1	1.2
無回答	4.4	0.0

ID 番号：

令和6年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査(令和7年度調査) 長期処方やリフィル処方の実施状況調査 病院・診療所票

※この病院・診療所票は、病院・診療所の開設者・管理者の方に症状が安定している患者について医師の処方により医師及び薬剤師の適切な連携の下、一定期間内に処方箋を反復利用できるリフィル処方、また、患者の症状が安定している場合に長期の処方を行うことができる長期処方の影響についてお伺いするものです。

＜ご回答方法＞

- ・あてはまる番号を○(マル)で囲んでください。
- ・「※○は1つ」という質問については、あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。
- ・()内には具体的な数値、用語等をご記入ください。
- ・()内に数値を記入する設問で、該当なしは「0(ゼロ)」を、わからない場合は「-」をご記入ください。
- ・特に断りのない限り、令和7年7月1日時点の貴施設の状況についてお答えください。
- ・災害に被災した等の事情により回答が困難な場合には、事務局へご連絡くださいますようお願い申し上げます。

1. 貴施設の状況についてお伺いします(令和7年7月1日時点)。

①所在地(都道府県)	() 都・道・府・県					
②開設者※1 ※○は1つ	1. 国	2. 公立	3. 公的	4. 社会保険関係団体		
	5. 医療法人(社会医療法人を除く)	6. 会社	7. その他の法人	8. 個人		
③医療機関の種別 ※○は1つ	1. 病院 →④へ			2. 有床診療所 →④へ		
	3. 無床診療所 →⑥へ					
【③で「1.病院」または「2.有床診療所」と回答した場合、下記④～⑤にご回答ください】						
④許可病床数	一般病床	療養病床	精神病床	結核病床	感染症病床	病院・診療所全体
	() 床	() 床	() 床	() 床	() 床	() 床
⑤過去1年の病床数変更 ※○は1つ	1. 変更あり			2. 変更なし		
【全ての方がご回答ください】						
⑥標榜診療科 ※○はいくつでも	1. 内科※2→⑥-1へ	2. 外科※3	3. 精神科	4. 小児科	5. 皮膚科	
	6. 泌尿器科	7. 産婦人科・産科	8. 眼科	9. 耳鼻咽喉科	10. 放射線科	
	11. 脳神経外科	12. 整形外科	13. 麻酔科	14. 救急科	15. 歯科・歯科口腔外科	
	16. リハビリテーション科		17. その他(具体的に:)			
⑥-1 前記⑥で「1.内科」を選択した方がお答えください。診療科において主に対応している患者像はどのような疾患が多いですか。 ※○はいくつでも	1. 糖尿病	2. 高血圧性疾患	3. 虚血性心疾患	4. アレルギー鼻炎		
	5. 脂質異常症	6. 消化器系の疾患	7. 悪性新生物(腫瘍)	8. 神経系の疾患		
	9. 皮膚及び皮下組織の疾患	10. 眼及び付属器の疾患	11. 呼吸器系の疾患			
	12. その他(具体的に:)					
⑦貴施設の外来分離 ※○は1つ	1. 外来分離をしている			2. 外来分離をしていない		
⑧地域医療情報連携ネットワークへの参加の有無 ※○は1つ	1. 参加あり			2. 参加なし		
⑨外来を担う医師の人数 ※常勤換算は小数点第1位まで	a. 常勤医師: () 人 b. 非常勤医師: 実人数 () 人 常勤換算 () 人					
⑩外来の患者数 ※初診患者数+再診延べ患者数	令和7年4～6月の合計: () 人					
⑪処方箋の発行枚数	令和7年4～6月の合計: () 枚					
⑫令和7年6月1か月間における以下の診療報酬の算定の有無・件数 ※○はそれぞれ1つ						
⑫-1 生活習慣病管理料(I)	1. 算定あり () 件			2. 算定なし		
⑫-2 生活習慣病管理料(II)	1. 算定あり () 件			2. 算定なし		
⑫-3 特定疾患処方管理加算	1. 算定あり () 件			2. 算定なし		
⑫-4 地域包括診療料(地域包括診療加算)	1. 算定あり () 件			2. 算定なし		
⑬リフィル処方箋を交付すること又は28日以上長期の投薬を行うことについて、当該対応が可能であることを当該保険医療機関の見やすい場所に掲示していますか。 ※○は1つ	1. 掲示している			2. 掲示していない		
⑭リフィル処方箋の発行に係る検討についての今後の見通し ※○は1つ	1. 積極的に検討する			2. 患者希望があれば検討する		
⑮長期処方※4の発行に係る検討についての今後の見通し ※○は1つ	3. 検討には消極的					
	1. 積極的に検討する			2. 患者希望があれば検討する		
3. 検討には消極的						

※1 国立(国、独立行政法人国立病院機構、国立大学法人、独立行政法人労働者健康安全機構、国立高度専門医療研究センター、独立行政法人地域医療機能推進機構)
公立(都道府県、市町村、地方独立行政法人)

公的(日赤、済生会、北海道社会事業協会、厚生連、国民健康保険団体連合会)

社会保険関係(健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合)

医療法人(社会医療法人は含まない)

その他の法人(公益法人、学校法人、社会福祉法人、医療生協、会社、社会医療法人等、その他の法人)

※2 内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、糖尿病内科、血液内科、感染症内科、アレルギー内科、リウマチ内科、心療内科、神経内科は、「1.内科」としてご回答ください。

※3 外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、気管食道外科、消化器外科、肛門外科、小児外科は、「2.外科」としてご回答ください。

※4 この調査では長期処方とは28日以上処方(リフィルを除く)のことを指します。

2. リフィル処方、長期処方における貴施設の状況をお伺いします。

①リフィル処方の方の仕組みの認知 ※○は1つ	1. 仕組みを理解している →①-1へ
	2. 名称だけ知っている →①-1へ
	3. 知らない →②へ
【①で「1.仕組みを理解している」又は「2.名称だけ知っている」と回答した場合、下記①-1をご回答ください】	
①-1 仕組みを知ったきっかけ ※○は1つ	1. 新聞・雑誌のニュース等の報道
	2. 医師会や薬剤師会等の団体からの案内等
	3. 薬局からの案内等
	4. 保険者側からの案内等
	5. 患者からの問い合わせ
	6. 行政からの案内等
	7. その他（具体的に：_____）
【全ての方がご回答ください】	
②貴院において、リフィル処方箋を発行した経験がありますか。 ※○は1つ	1. 経験がある →②-1へ
	2. 経験はない →③-1へ
【②で「1. 経験がある」と回答した方は全員、下記②-1をご回答ください】	
②-1 リフィル処方箋に関する薬局からの服薬情報提供書(トレーシングレポート)の有無 ※○は1つ	1. 有 2. 無
【全ての方がご回答ください】	
③-1 どのような患者に長期処方を発行しているか、また発行が適していると思われますか。 ※○はいくつでも	1. 慢性疾患管理が必要な患者
	2. 遠隔地に住んでおり通院回数を減らしたい患者
	3. 症状が安定している患者
	4. 訪問診療や在宅医療を受けている患者
	5. 仕事や生活の都合で通院が難しい患者
	6. その他（具体的に _____）
③-2 どのような患者にリフィル処方箋を発行しているか、また発行が適していると思われますか。 ※○はいくつでも	1. 慢性疾患管理が必要な患者
	2. 遠隔地に住んでおり通院回数を減らしたい患者
	3. 症状が安定している患者
	4. 訪問診療や在宅医療を受けている患者
	5. 仕事や生活の都合で通院が難しい患者
	6. その他（具体的に _____）
④リフィル処方を普及させるための課題と考えられること ※○はいくつでも	1. 患者への仕組みの周知が十分でないこと
	2. 医師への仕組みの周知が十分でないこと
	3. 薬剤師への仕組みの周知が十分でないこと
	4. かかりつけ薬剤師制度の普及が十分でないこと
	5. 処方日数・量に制限のある医薬品をリフィル処方にできないこと
	6. その他（具体的に _____）

質問は以上です。ご協力頂き誠にありがとうございました。

令和7年8月29日(金)までに返信用封筒をご使用の上投函ください(切手不要)。

ID 番号：

令和6年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査(令和7年度調査)

長期処方やリフィル処方の実施状況調査 医師票

※この「医師票」は、病院・診療所で勤務する医師の方に症状が安定している患者について医師の処方により医師及び薬剤師の適切な連携の下、一定期間内に処方箋を反復利用できるリフィル処方、また、患者の症状が安定している場合に長期の処方を行うことができる長期処方の影響についてお伺いするものです。

＜ご回答方法＞

- ・あてはまる番号を○(マル)で囲んでください。
- ・「※○は1つ」という質問については、あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。
- ・()内には具体的な数値、用語等をご記入ください。
- ・()内に数値を記入する設問で、該当なしは「0(ゼロ)」を、わからない場合は「－」をご記入ください。
- ・特に断りのない限り、令和7年7月1日時点の状況についてお答えください。
- ・災害に被災した等の事情により回答が困難な場合には、事務局へご連絡くださいますようお願い申し上げます。

1. 回答者ご自身についてお伺いします(令和7年7月1日時点)。

①性別 ※○は1つ	1. 男性	2. 女性				
②年代 ※○は1つ	1. 20 歳代	2. 30 歳代	3. 40 歳代	4. 50 歳代	5. 60 歳代	6. 70 歳代以上
③主たる担当診療科 ※○は1つ	1. 内科※ ¹	2. 外科※ ²	3. 精神科	4. 小児科	5. 皮膚科	
	6. 泌尿器科	7. 産婦人科・産科	8. 眼科	9. 耳鼻咽喉科	10. 放射線科	
	11. 脳神経外科	12. 整形外科	13. 麻酔科	14. 救急科	15. 歯科・歯科口腔外科	
	16. リハビリテーション科	17. その他(具体的に:)				
④外来診察患者数 ※令和7年4月～6月の合計	() 人 ※調査票を受け取った施設の患者のみ					

※1: 内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、糖尿病内科、血液内科、感染症内科、アレルギー内科、リウマチ内科、心療内科、神経内科は、「1.内科」としてご回答ください。

※2: 外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、気管食道外科、消化器外科、肛門外科、小児外科は、「2.外科」としてご回答ください。

2. 長期処方※¹についてお伺いします。

※1: 長期処方とは 28 日以上処方(リフィルを除く)のことを指します。

【全ての方がご回答ください】	
①長期処方の実施有無 ※○は1つ	1. 実施したことがある →②へ 2. 実施したことはない →⑥へ
【①で「1. 長期処方を実施したことがある」と回答した場合、下記②～⑤をご回答ください】	
②長期処方を行う際に、1 回の処方で出すことが多い日数 ※○は1つ	1. 28～41 日 2. 42～55 日 3. 56～69 日 4. 70～83 日 5. 84～90 日 6. 91 日以上
③令和6年6月と令和7年6月を比較して、長期処方の処方件数に変化はありましたか。 ※○は1つ	1. 処方期間が長くなることが増えた 2. 処方期間が短くなることが増えた 3. 特に変化はない 4. わからない
④どのような患者に <u>長期処方</u> を実施していますか。 ※○はいくつでも	1. 自施設のかかりつけの患者 2. 症状が安定している患者 3. 通院が困難な患者(高齢、遠方など) 4. 服薬管理が適切にできている患者 5. 希望があった患者 6. その他(具体的に:)
⑤あなたが <u>長期処方</u> を行う理由 ※○はいくつでも	1. 症状が安定していたから 2. 患者の通院負担(時間・費用)を軽減するから 3. 患者が高齢・遠方などで通院が困難だから 4. 患者が服薬管理を適切に行えているから 5. 医師の診察時に状態を十分に確認できているから 6. その他(具体的に:)
【①で「2. 実施したことはない」と回答した場合、下記⑥をご回答ください】	
⑥あなたが <u>長期処方</u> を実施したことがない理由 ※○はいくつでも	1. 症状が安定している患者がいなかったから 2. 患者の服薬管理や残薬・飲み忘れに不安があるから 3. 定期的な診察で状態を確認したいから 4. 長期処方による副作用や体調変化の見逃しが心配だから 5. 患者から長期処方を希望されることがないから 6. 処方を提案したが、患者が断ったから 7. その他(具体的に:)

【全ての方がご回答ください】	
⑦患者への長期処方の説明・案内の実施状況 ※〇は1つ	1. 患者から希望があれば説明・案内している 2. 患者からの希望の有無に関わらず説明・案内している 3. 基本的に説明・案内していない
⑧長期処方について患者からの希望の有無 ※〇は1つ	1. あった 2. なかった
⑨長期処方に係る検討についての今後の見通し ※〇は1つ	1. 積極的に検討する →⑩へ 2. 患者希望があれば検討する →⑫へ 3. 検討には消極的 →⑪へ
【⑨で「1. 積極的に検討する」と回答した方は、下記⑩をご回答ください】	
⑩長期処方について、「1.積極的に検討する」と回答した理由 ※〇はいくつでも	1. 患者からの希望が多いから 2. 患者の待ち時間が減るから 3. 医師の負担軽減につながるから 4. その他（具体的に： ）
【⑨で「3. 検討には消極的」と回答した方は、下記⑪をご回答ください】	
⑪長期処方について、「3.検討には消極的」と回答した理由 ※〇はいくつでも	1. 医師が患者の症状の変化に気付きにくくなるから 2. 患者の服薬管理や残薬・飲み忘れに不安があるから 3. 定期的な診察によるフォローが必要と考えるから 4. その他（具体的に： ）
【全ての方がご回答ください】	
⑫長期処方の課題として考えられること ※〇はいくつでも	1. 医師が患者の症状の変化に気付きにくくなること 2. 患者に長期処方が必要とされていないこと 3. 処方箋の不正利用（転売や他人への譲渡等）が心配なこと 4. かかりつけ薬剤師制度の普及が十分でないこと 5. 残薬の原因となること 6. 薬剤の安定供給に影響すること 7. その他（具体的に： ）

3. リフィル処方についてお伺いします。

①リフィル処方の仕組みの認知 ※〇は1つ	1. 仕組みを理解している →①-1へ 2. 名称だけ知っている →①-1へ 3. 知らない →②へ
【①で「1.仕組みを理解している」又は「2. 名称だけ知っている」と回答した場合、下記①-1をご回答ください】	
①-1 リフィル処方の仕組みを知ったきっかけ ※〇はいくつでも	1. 新聞・雑誌のニュース等の報道 2. 医師会等の団体からの案内等 3. 薬局からの案内等 4. 保険者側からの案内等 5. 患者からの問い合わせ 6. 行政からの案内等 7. その他（具体的に： ）
【全ての方がご回答ください】	
②リフィル処方箋の発行有無 ※〇は1つ	1. 発行したことがある →③へ 2. 発行したことはない →⑩へ
【②で「1. 発行したことがある」と回答した場合、下記③～⑨をご回答ください】	
③どのような患者にリフィル処方箋を発行していますか。 ※〇はいくつでも	1. 自施設のかかりつけの患者 2. 自施設と連携する薬局に「かかりつけ薬剤師」がいる患者 3. 自施設と連携する薬局以外の薬局に「かかりつけ薬剤師」がいる患者 4. その他（具体的に： ）
④あなたがリフィル処方箋を発行した理由 ※〇はいくつでも	1. 症状が安定していたから 2. 患者に「かかりつけ薬剤師」がいたから 3. 患者からの希望があったから 4. その他（具体的に： ）
⑤長期処方ではなくリフィル処方箋を発行する理由 ※〇はいくつでも	1. 患者が適切に薬の管理ができるか心配なため 2. 薬剤師との連携により患者の状態や副作用のモニタリングができるため 3. その他（具体的に： ）

【②で「1.リフィル処方箋を発行したことがある」と回答した場合、下記⑥～⑨をご回答ください】

⑥あなたがリフィル処方箋を発行した患者に対し、薬剤師から受診勧奨を受けた経験の有無 ※〇は1つ	1. 受診勧奨を受けた患者はいた →⑦へ 2. 受診勧奨を受けた患者はいなかった →⑧へ
⑦薬剤師からの受診勧奨の理由は適切でしたか。 ※〇は1つ	1. 適切であった 2. 必ずしも受診を要するとは言えない場合があった
⑧リフィル処方箋の2回目・3回目の調剤における薬局からの報告について、どのようにお考えですか。 ※〇は1つ	1. 問題がない場合でも、患者の来局や体調などを報告してほしい 2. 問題がある場合のみ報告してくれればよい 3. 報告が必要かどうかは薬局の判断に任せたい 4. その他（具体的に： ）
⑨リフィル処方箋に関する薬局からの服薬情報提供書(トレーシングレポート)で提供してほしい情報 ※〇はいくつでも	1. 他の医療機関から処方された薬の情報 2. 患者の服用薬 3. 患者の服薬状況 4. 患者に対する服薬指導の要点 5. 患者の状態 6. 患者が容易に又は継続的に服用できるための調剤上の工夫等 7. その他（具体的に： ）

【全ての方がご回答ください】

⑩令和6年6月と令和7年6月を比較して、リフィル処方箋の発行件数に変化はありましたか。 ※〇は1つ	1. 処方を行うことが増えた 2. 処方を行うことが減った 3. 特に変化はない 4. わからない
⑪令和6年度診療報酬改定による処方箋料の見直しによる処方への影響 ※〇は1つ	1. 特に処方の判断に変化はない 2. 院内処方が増えた（具体的に： 枚程度） 3. 処方日数を増やした（具体的に： 日程度）

【②で「2. 発行したことはない」と回答した場合、下記⑫をご回答ください】

⑫あなたがリフィル処方箋を発行しなかった理由 ※〇はいくつでも	1. 症状が安定している患者がいなかったから 2. 薬剤師と適切に連携して管理できる患者がいなかったから 3. 症状が安定し、薬剤師と連携して管理できるが、医師の判断が必須だったから 4. 長期処方に対応が可能だったから →⑬へ 5. 患者からの求めがないから 6. 発行を提案したが、患者が断ったから 7. その他（具体的に： ）
---------------------------------	--

【⑫で「4. 長期処方に対応が可能だったから」と回答した場合、下記⑬をご回答ください】

⑬前記⑫で「4. 長期処方に対応が可能だったから」を回答した方にお伺いします。あなたがリフィル処方箋の発行ではなく長期処方を行った理由は何か。 ※〇はいくつでも	1. 薬を処方する際には医師の判断が毎回必須と考えるから 2. 患者にリフィル処方箋を必要とされていないから 3. 処方箋の不正利用が心配だから 4. リフィル処方の仕組みがよく分からないから 5. 患者が薬局に行く負担を軽減するため 6. 患者の費用負担が少ないから 7. 患者が希望したから 8. その他（具体的に： ）
--	---

【全ての方がご回答ください】	
⑭患者へのリフィル処方の説明・案内の実施状況 ※〇は1つ	1. 患者から希望があれば説明・案内している
	2. 患者からの希望の有無に関わらず説明・案内している
	3. 基本的に説明・案内していない
⑮令和6年度診療報酬改定により、リフィル処方箋を発行した場合も特定疾患処方管理加算が算定可能となったことを知っていますか。 ※〇は1つ	1. 知っている
	2. 知らなかった
⑯リフィル処方箋の発行について患者からの希望の有無 ※〇は1つ	1. あった
	2. なかった
⑰リフィル処方箋の発行に係る検討についての今後の見通し ※〇は1つ	1. 積極的に検討する →⑱へ
	2. 患者希望があれば検討する →⑳へ
	3. 検討には消極的 →㉑へ
【⑰で「1. 積極的に検討する」と回答した方は、下記⑱をご回答ください】	
⑱リフィル処方箋の発行について、「1.積極的に検討する」と回答した理由 ※〇はいくつでも	1. 患者からの希望が多いから
	2. 患者の待ち時間が減るから
	3. 医師の負担軽減につながるから
	4. その他（具体的に： ）
【⑰で「3. 検討には消極的」と回答した方は、下記⑲をご回答ください】	
⑲リフィル処方箋の発行について、「3.検討には消極的」と回答した理由 ※〇はいくつでも	1. 医師が患者の症状の変化に気付きにくくなるから
	2. 薬を処方する際には医師の判断が毎回必須と考えるから
	3. 患者にリフィル処方箋が必要とされていないから
	4. 処方箋の不正利用が心配だから
	5. リフィル処方の仕組みがよくわからないから
	6. 薬剤師からのフィードバック（服薬情報提供書等）が十分に得られないから
	7. その他（具体的に： ）
【全ての方がご回答ください】	
⑳リフィル処方のデメリットとして懸念していること ※〇はいくつでも	1. 患者の症状の変化や副作用の見逃し
	2. 患者が調剤を受ける際の負担の増加
	3. 処方箋の不正利用
	4. 患者の服薬管理への不安
	5. 薬剤師との連携への不安
	6. その他（具体的に： ）
	7. 特に懸念はない
㉑このほか、リフィル処方が普及するための課題として考えられること ※〇はいくつでも	1. 患者への仕組みの周知が十分でないこと
	2. 薬剤師への仕組みの周知が十分でないこと
	3. かかりつけ薬剤師制度の普及が十分でないこと
	4. 処方日数・量に制限のある医薬品をリフィル処方にできないこと
	5. その他（具体的に： ）

4. 長期処方・リフィル処方についてお伺いします。

【全ての方がご回答ください】	
①長期処方又はリフィル処方の実施有無 ※〇は1つ	1. 長期処方又はリフィル処方を実施したことがある
	2. どちらも実施したことはない

質問は以上です。ご協力頂き誠にありがとうございました。
令和7年8月29日(金)までに返信用封筒をご使用の上投函ください(切手不要)。

保險藥局票

＜ご回答方法＞

- ・あてはまる番号を○(マル)で囲んでください。
・「※○は1つ」という質問については、あてはまる番号を一つだけ○で囲んでください。
・()内には具体的な数値、用語等をご記入ください。
・()内に数値を記入する設問で、該当なしは「0(ゼロ)」を、わからない場合は「－」をご記入ください。
・特に断りのない限り、令和7年7月1日時点の貴薬局の状況についてお答えください。
・災害に被災した等の事情により回答が困難な場合には、事務局へご連絡くださいますようお願い申し上げます。

①所在地（都道府県）	（ ）都・道・府・県				
②開設者 ※○は1つ	1. 法人		2. 個人		3. その他
③同一グループ（財務上又は営業上若しくは事業上、緊密な関係にある範囲の保険薬局をいう）等※による薬局店舗数 ※同一グループは次の基準により判断する（調剤基本料の施設基準における同一グループの考え方と同様） 1. 保険薬局の事業者の最終親会社 2. 保険薬局の事業者の最終親会社の子会社 3. 保険薬局の事業者の最終親会社の関連会社 4. 1から3までに掲げる者と保険薬局の運営に関するフランチャイズ契約を締結している者	（ ）店舗 ※ 当該店舗を含めてお答えください。				
④開設年 ※当該店舗の開設年をお答えください。	西暦（ ）年				
⑤貴薬局はどのような場所に立地していますか。 ※○は1つ	1. 医療機関の近隣にある →⑥へ		2. 医療モールの中にある →⑥へ		
	3. 医療機関の敷地内にある →⑥へ		4. ビル診療所と同じ建物内にある →⑥へ		
	5. 近隣に医療機関はない →⑦へ		6. その他（ ） →⑥へ		
⑥現在の薬局の立地に 至った経緯について、 最も当てはまるものをお選びください。 ※○は1つ	1. 既にある医療機関の近隣に立地することを目的として開設した				
	2. 医療機関からの誘致・要請を受けて開設した				
	3. 薬局が主導して医療モール等を企画・開設し、医療機関を誘致した				
	4. 医療機関との位置関係は考慮せず開設した				
	5. 医療機関と薬局、両者の協議により、連携を意図して開設した				
	6. その他（具体的に： ）				
⑦応需医療機関数（令和7年4月～6月の月平均値）	（ ）施設				
⑧最も多く処方箋を受け付けた医療機関からの処方箋枚数割合（令和7年4月～6月における月平均値）	（ ）%				
⑨上記⑧の集中度が最も高い医療機関の情報					
⑨-1 診療所・病院の別 ※○は1つ	1. 診療所 2. 病院				
⑨-2 最も多く処方箋を受け付けた医療機関と貴薬局との位置関係 ※○は1つ	1. 貴薬局の近隣に医療機関はない				
	2. 当該医療機関や医療機関の駐車場と同一の敷地内にある				
	3. 当該医療機関や医療機関の駐車場と隣接し公道を介さずに往来できる				
	4. 当該医療機関の近隣にある				
	5. 上記1.～4.以外の状況				
⑨-3 当該医療機関は複数の医療機関が所在する建物（いわゆる医療モール等）に該当しますか。 ※○は1つ	1. 該当する 2. 該当しない				
⑨-4 当該医療機関の診療科 ※○はいくつでも					
1. 内科※ ¹	2. 外科※ ²	3. 精神科	4. 小児科	5. 皮膚科	6. 泌尿器科
7. 産婦人科・産科	8. 眼科	9. 耳鼻咽喉科	10. 放射線科	11. 脳神経外科	12. 整形外科
13. 麻酔科	14. 救急科	15. 歯科・歯科口腔外科	16. リハビリテーション科	17. その他（具体的に： ）	
※1 内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、糖尿病内科、血液内科、感染症内科、アレルギー内科、リウマチ内科、心療内科、神経内科は、「1.内科」として回答 ※2 外科、呼吸器外科、心血管外科、乳腺外科、気管食道外科、消化器外科、肛門外科、小児外科は、「2.外科」として回答					
⑩貴薬局の売上高に占める保険調剤売上の割合 ※令和6年度決算	約（ ）% ※OTC医薬品等の販売がなく、保険調剤収入のみである場合は100%とご記入ください。				
⑪令和7年度の調剤基本料の届出状況 ※○は1つ	1. 調剤基本料1		2. 調剤基本料2		3. 調剤基本料3イ
	4. 調剤基本料3ロ		5. 調剤基本料3ハ		6. 特別調剤基本料A
	7. 特別調剤基本料B				
⑫令和7年度の地域支援体制加算の届出状況 ※○は1つ	1. 地域支援体制加算1		2. 地域支援体制加算2		3. 地域支援体制加算3
	4. 地域支援体制加算		5. 届出していない		
⑬連携強化加算の届出状況 ※○は1つ	1. 届出あり		2. 届出なし		
⑭かかりつけ薬剤師指導料及びかかりつけ薬剤師包括管理料の施設基準等の届出状況 ※○は1つ	1. 届出あり		2. 届出なし		

⑮職員数 ※該当者がいない場合は「0」と ご記入ください。	職種	常勤職員※2	非常勤職員	
			実人数	常勤換算※3
	⑮-1 薬剤師	() 人	() 人	() 人
	(うち)かかりつけ薬剤師指導料等 ※1における「かかりつけ薬剤師」	() 人	() 人	() 人
	⑮-2 その他(事務職員等)	() 人	() 人	() 人
⑯貴薬局の認定等の状況 ※〇はいくつでも	1. 地域連携薬局		2. 専門医療機関連携薬局	
	3. 健康サポート薬局(健康増進支援薬局)※4		4. 該当なし	

※1 かかりつけ薬剤師指導料、かかりつけ薬剤師包括管理料を指します。

※2 常勤職員数(常勤薬剤師数)には、貴薬局における実労働時間が週 32 時間以上である職員(保険薬剤師)の実人数を計上します。常勤薬剤師数については、直近 3 月間の勤務状況に基づき算出します。

※3 非常勤職員(非常勤薬剤師)は、貴薬局における実労働時間が週 32 時間に満たない職員(保険薬剤師)をいい、常勤換算数は、以下により算出します(小数点第二位を四捨五入して小数点第一位まで求める)。非常勤薬剤師数については、直近 3 月間の勤務状況に基づき算出します。

$$\text{非常勤薬剤師数(常勤換算)} = \frac{\text{当該保険薬局における週 32 時間に満たない保険薬剤師の実労働時間の合計(時間/3 月)}}{32(\text{時間/週}) \times 13(\text{週/3 月})}$$

※4 令和 7 年 5 月成立の改正薬機法が施行されると、健康サポート薬局が健康増進支援薬局へと名称変更となります。

2. リフィル処方箋を応需する体制についてお伺いします。(令和 7 年 4 月～6 月末日)

【全ての方がご回答ください】	
①リフィル処方の仕組みについて知っていますか。※〇は1つ	1. 知っている 2. 知らない
②リフィル処方箋を応需した際の薬局内の業務手順を定めていますか。 ※〇は1つ	1. 薬局内で手順を定めている 2. 個々の薬剤師の判断に委ねている
③リフィル処方箋の次回調剤日を薬局内で管理する方法 ※主たるものを一つだけ〇	1. 紙による管理(メモや調剤録への記載) 2. 電子的な管理(電子薬歴等のシステムによる管理) 3. その他(具体的に:) 4. 管理していない
④リフィル処方箋の次回調剤日を患者に対して通知(リマインド)する方法 ※〇はいくつでも	1. 電話 2. SNS やメール 3. 専用アプリ 4. 書面の手渡し 5. 書面の郵送 6. 次回調剤可能期間をレシートに記載 7. その他(具体的に:) 8. 実施していない
⑤リフィル処方箋の受付経験 ※〇は1つ	1. リフィル処方箋を受け付けたことがある → 設問 3 へ 2. 受け付けたことはない → ⑥へ
【⑤で「2. 受け付けたことはない」と回答した場合、下記⑥を回答ください】	
⑥リフィル処方箋の対応実績がない理由 ※〇はいくつでも	1. リフィル処方箋を持ちこまれたことがない 2. リフィル処方を希望している患者がいない 3. リフィルの電子処方箋の対応を希望されたがシステムが対応していない 4. その他(具体的に:)

3. リフィル処方の対応状況についてお伺いします。

【2.⑤で「1. リフィル処方箋を受け付けたことがある」と回答した場合に回答ください】				
①受け付けたリフィル処方箋を発行した医療機関数 ※令和 7 年 4 月～6 月の合計数	() か所			
②-1 どのような関係の医療機関からリフィル処方箋を受け付けましたか。※〇はいくつでも				
1. 近隣の診療所	2. 近隣の病院(199 床以下)	3. 近隣の病院(200 床以上 399 床以下)		
4. 近隣の病院(400 床以上)	5. 遠方の診療所	6. 遠方の病院(199 床以下)		
7. 遠方の病院(200 床以上 399 床以下)	8. 遠方の病院(400 床以上)	9. 同一敷地内の診療所		
10. 同一敷地内の病院(199 床以下)	11. 同一敷地内の病院(200 床以上 399 床以下)	12. 同一敷地内の病院(400 床以上)		
13. 同一医療モール内の診療所	14. その他(具体的に:)			
②-2 どのような医療機能をもつ医療機関からリフィル処方箋を受け付けましたか。※〇はいくつでも				
1. 一般病院 1 (主として、日常生活圏域等の比較的狭い地域において地域医療を支える中小規模病院)				
2. 一般病院 2 (主として、二次医療圏等の比較的広い地域において急性期医療を中心に地域医療を支える基幹的病院)				
3. 一般病院 3 (主として、高度の医療の提供、高度の医療技術の開発・評価、高度の医療に関する研修を実施する病院または準ずる病院(特定機能病院、大学病院本院 等))				
4. リハビリテーション病院	5. 慢性期病院	6. 精神科病院	7. 緩和ケア病院	8. 診療所
9. その他(具体的に:)				

③-1 どの診療科のリフィル処方箋を受け付けましたか。※○はいくつでも					
1. 内科※ ¹	2. 外科※ ²	3. 精神科	4. 小児科	5. 皮膚科	6. 泌尿器科
7. 産婦人科・産科	8. 眼科	9. 耳鼻咽喉科	10. 放射線科	11. 脳神経外科	12. 整形外科
13. 麻酔科	14. 救急科	15. 歯科・歯科口腔外科	16. リハビリテーション科		
17. その他（具体的に：_____）					
※1 内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、糖尿病内科、血液内科、感染症内科、アレルギー内科、リウマチ内科、心療内科、神経内科は、「1. 内科」としてご回答ください。 ※2 外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、気管食道外科、消化器外科、肛門外科、小児外科は、「2. 外科」としてご回答ください。					
③-2 上記③-1 で選択した中で最も多くリフィル処方箋を受け付けた診療科			() ※③-1 の選択肢番号を記入		
④リフィル処方箋の受付件数 (令和7年4月～6月の合計)		1 回目：() 回	2 回目：() 回	3 回目：() 回	
⑤令和 6 年度診療報酬改定の前 後、最後の回の調剤を終えたリ フィル処方箋の件数に変化はあり ましたか。※○は1つ		1. 非常に増えた	2. やや増えた	3. 変わらない	
		4. やや減った	5. 非常に減った		
⑥リフィル処方箋を受け付けた際、薬剤師より受診勧奨をしたことはありますか。※○は1つ			1. ある	2. ない	
⑦リフィルの上限まで使用されな かった事例の有無とその理由 ※○はいくつでも		1. 薬剤師が受診勧奨をしたから →⑧-1～4へ 2. 患者が処方箋期限内に医療機関の受診を希望したから 3. 患者が別の薬局で処方を受けることになったから 4. 患者と連絡は取れていたが、来局前に処方箋期限が切れたから 5. 患者と連絡が取れず、処方箋期限が切れたから 6. その他（具体的に：_____） 7. 上限まで使用されなかったことはない			
【⑦で「1. 薬剤師が受診勧奨をしたから」を選択した場合、下記⑧-1～4 を回答ください】					
⑧-1 薬剤師が受診勧奨をした 回数(令和7年4月～6月)		() 回			
⑧-2 受診勧奨を判断し、説明す る際の処方医への相談状況 ※○はいくつでも		1. 受診勧奨後に処方医に患者の情報を報告した 2. 事前に処方医へ相談した 3. 処方医に相談は行っていない 4. その他（具体的に：_____）			
⑧-3 薬剤師が受診勧奨をした 理由 ※○はいくつでも		1. 副作用が疑われたから 2. 患者の症状の変化に気付いたから 3. 服薬状況に注意すべき点があったから 4. その他（具体的に：_____）			
⑧-4 医師への情報提供内容 ※○はいくつでも		1. 服薬状況や残薬などの状況 2. 副作用や体調変化の状況 3. 処方薬の効果 4. 薬剤師が指導した内容 5. 患者の質問や疑念 6. 他の医療機関から処方された薬の情報 7. その他（具体的に：_____） 8. 情報提供は実施していない			
【2.⑤で「1. リフィル処方箋を受け付けたことがある」と回答した場合に回答ください】					
⑨リフィル処方の患者に関する、服薬 情報等提供料に係る業務の件数を ご回答ください。 (令和7年4月～6月の合計)		1) 服薬情報等提供料1により算定した回数 () 回 2) 服薬情報等提供料2のロにより算定した回数 () 回 3) 服薬情報等提供料を算定しない情報提供の回数 () 回			
⑩リフィル処方箋の2回目・3回 目の調剤を行った際、患者が来局 したことを医療機関(かかりつけ 医)に報告していますか。※○は1つ		1. 毎回報告している 2. 副作用の発現等、必要に応じて報告している 3. 報告していない 4. その他（具体的に：_____）			
⑪患者が、リフィル処方箋の2回 目・3回目の調剤の期間に来局し なかった場合、医療機関(かかり つけ医)に報告していますか。※○ は1つ		1. 必ず報告している 2. 必要と判断した場合のみ報告している 3. 報告していない 4. 来局しなかったケースはない 5. その他（具体的に：_____）			
⑫リフィル処方の患者に関して、 医師に服薬指導提供書(トレーシ ングレポート)を提供した情報の 内容 ※○はいくつでも		1. 他の医療機関から処方された薬の情報 2. 患者の服用薬 3. 患者の服薬状況 4. 患者に対する服薬指導の要点 5. 患者の状態 6. 患者が容易に又は継続的に服用できるための調剤上の工夫等 7. その他（具体的に：_____）			
⑬患者へのフォローアップの有無 ※○は1つ		1. 1回目調剤後にフォローアップを行ったことがある →⑬-1へ 2. 2回目調剤後にフォローアップを行ったことがある →⑬-1へ 3. 3回目調剤後にフォローアップを行ったことがある →⑬-1へ 4. フォローアップを行ったことはない →設問4へ			
【⑬で「フォローアップを行ったことがある」と回答した場合、下記⑬-1 を回答ください】					
⑬-1 実施したフォローアップの内 容 ※○はいくつでも		1. 服薬アドヒアランス 2. 副作用のモニタリング 3. 薬の効果確認 4. その他（具体的に：_____）			

【2.⑤で「1.リフィル処方箋を受け付けたことがある」と回答した場合に回答ください】		
⑭1 枚のリフィル処方箋の処方途中で薬局が変わった経験 ※あてはまる番号すべてに○	1. ある（自薬局から他薬局へ）→⑮-1へ	2. ある（他薬局から自薬局へ）→設問4へ
	3. ない →設問4へ	4. 不明 →設問4へ
【⑭で「1.ある（自薬局から他薬局へ）」と回答した場合、下記⑮-1～2を回答ください】		
⑮-1 どのような方法で他薬局へ情報提供を行いましたか。 ※○はいくつでも	1. 他の薬局に文書を送付した	2. 情報を記録したものを患者に提供した
	3. お薬手帳に記載した	4. 他の薬局に電話をした
	5. 他の薬局にメール・FAXを送付した	6. 地域医療情報連携ネットワーク※3を利用した
	7. 医療従事者用 SNS を利用した	
	8. その他（具体的に：_____）	
	※3:ICT(情報通信技術)を活用して住民に質の高い医療介護サービスを提供するため、患者の同意を得た上で、病院、診療所（医科・歯科）、薬局、訪問看護事業者、訪問介護事業者等の各関係機関において、その患者の医療介護情報を電子的に共有・閲覧できる仕組み	
⑮-2 どのような内容を情報提供しましたか。 ※○はいくつでも	1. 患者の服用薬	2. 患者の服薬状況
	3. 患者に対する服薬指導の要点	
	4. 患者の状態	5. 残薬
	6. 調剤上の工夫	
	7. その他（具体的に：_____）	

4. 長期処方※1の対応状況についてお伺いします。（令和7年4月～6月）

※1 長期処方とは28日以上処方（リフィルを除く）のことを指します。

【全ての方がご回答ください】			
①-1 長期処方を応需する件数が多い医療機関の特徴を回答ください。 ※○はいくつでも	1. 近隣の診療所	2. 近隣の病院（199床以下）	
	3. 近隣の病院（200床以上399床以下）	4. 近隣の病院（400床以上）	
	5. 遠方の診療所	6. 遠方の病院（199床以下）	
	7. 遠方の病院（200床以上399床以下）	8. 遠方の病院（400床以上）	
	9. 同一敷地内の診療所	10. 同一敷地内の病院（199床以下）	
	11. 同一敷地内の病院（200床以上399床以下）	12. 同一敷地内の病院（400床以上）	
	13. 同一医療モール内の診療所		
	14. その他（具体的に：_____）		
①-2 どのような医療機能をもつ医療機関から長期処方を受け付けましたか。 ※○はいくつでも	1. 一般病院1（主として、日常生活圏域等の比較的狭い地域において地域医療を支える中小規模病院）		
	2. 一般病院2（主として、二次医療圏等の比較的広い地域において急性期医療を中心に地域医療を支える基幹的病院）		
	3. 一般病院3（主として、高度の医療の提供、高度の医療技術の開発・評価、高度の医療に関する研修を実施する病院または準ずる病院（特定機能病院、大学病院本院 等））		
	4. リハビリテーション病院		
	5. 慢性期病院	6. 精神科病院	7. 緩和ケア病院
	8. 診療所		
	9. その他（具体的に：_____）		
②長期処方を応需する件数が多い診療科を回答ください。 ※最もあてはまる番号に○	1. 内科※2	2. 外科※3	3. 精神科
	4. 小児科		
	5. 皮膚科	6. 泌尿器科	7. 産婦人科・産科
	8. 眼科		
	9. 耳鼻咽喉科	10. 放射線科	11. 脳神経外科
	12. 整形外科		
	13. 麻酔科	14. 救急科	15. 歯科・歯科口腔外科
	16. リハビリテーション科	17. その他（具体的に：_____）	
	※2 内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、糖尿病内科、血液内科、感染症内科、アレルギー内科、リウマチ内科、心療内科、神経内科は、「1.内科」としてご回答ください。		
	※3 外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、気管食道外科、消化器外科、肛門外科、小児外科は、「2.外科」としてご回答ください。		
③改定前（令和6年5月以前）と比較して応需する処方箋の変化について回答ください。※○はいくつでも			
1. 28日以上長期処方が増加した		2. リフィル処方が増加した	
3. 変わらない			
④28日以上長期処方の処方箋を応需する際に特に注視して実施していることについて回答ください。 ※○はいくつでも	1. 調剤に時間を要するため即時に調剤せず後日に調剤及び服薬指導等を実施している		
	2. 在庫が足りないため複数回に分けて医薬品を交付している		
	3. 事前に医療機関から連絡をもらっている		
	4. フォローアップの対象患者とする		
	5. かかりつけ薬剤師指導料の同意を得るようにしている		
	6. その他（具体的に：_____）		

5. リフィル処方への仕組みに対する相談体制や課題等についてお伺いします。

【全ての方がご回答ください】			
①リフィル処方を医師へ提案したことのある薬剤の種類 ※○はいくつでも	1. 血圧降下剤	2. 高脂血症用剤	3. 経口血糖降下剤
	4. インスリン製剤	5. ホルモン剤	6. 花粉症治療薬
	7. 消化器用剤	8. その他（具体的に：_____）	
	9. リフィル処方を医師へ提案したことはない		
②薬剤師としてリフィル処方が適すると思われる状況等 ※○はいくつでも	1. 医薬品供給が不安定な品目が処方されている場合		
	2. パンデミックや災害による医療アクセスの制限がある場合		
	3. 待ち時間の長い医療機関から処方がある場合		
	4. 医師不足や医療資源が限られている地域での対応が求められる場合		
	5. 受診の間隔を延長する際の切り替え（例：30日処方→30日×2回）		
	6. 長期処方からの切り替え（例：60日処方→30日×2回）		
	7. かかりつけ薬剤師指導料の同意を得ている患者		
	8. 調剤後薬剤管理指導料に係るフォローアップを実施している患者		
	9. 対面でのフォローアップが必要な患者		
	10. 遠距離の医療機関を受診している患者		
	11. 副作用のモニタリングが必要な患者		
	12. その他（具体的に：_____）		
	③薬局でリフィル処方箋を受けるにあたって課題と感ずること ※○はいくつでも	1. 患者が次回調剤日に別の薬局を利用した場合の対応	
2. 患者が処方箋を紛失してしまうことへの対応			
3. 調剤か受診勧奨の適切な判断の実施			
4. 適切な副作用の評価			
5. リフィル処方箋を受付する機会が少なく対応に不慣れであること			
6. 処方医との適切な情報連携			
7. 患者が2回目以降、期限内に来局することへの対応			
8. 患者がリフィル処方箋の仕組みを理解すること			
9. 医師がリフィル処方箋の仕組みを理解すること			
10. 薬剤師がリフィル処方箋の仕組みを理解すること			
11. その他（具体的に：_____）			
12. 特になし			
④患者からのリフィル処方に関する相談を受けた経験 ※○は1つ		1. ある →⑤-1へ	2. ない →設問6へ
【④で「1.ある」と回答した場合、下記⑤-1～3を回答ください】			
⑤-1 どのような患者からの相談でしたか。 ※○はいくつでも	1. 医薬品供給が不安定な品目を使用している患者		
	2. 待ち時間の長い医療機関からの処方を受けている患者		
	3. 長期処方を受けている患者		
	4. 生活習慣病に係る薬物治療を受けている患者		
	5. かかりつけ薬剤師指導料の同意を得ている患者		
	6. 調剤後薬剤管理指導料に係るフォローアップを実施している患者		
	7. その他（具体的に：_____）		
⑤-2 受けた相談の内容 ※最も多いものを一つだけ○	1. リフィル処方箋を使用したい		
	2. リフィル処方がどのような仕組みになっているのかを知りたい		
	3. 自身がリフィル処方の対象になりうるか知りたい		
	4. 医師への相談（申し出）方法について知りたい		
	5. その他（具体的に：_____）		
⑤-3 患者がリフィル処方を希望していることに関して、処方医へ情報提供したことはありますか。 ※○は1つ		1. ある	2. ない

6. 長期処方の仕組みに対する相談体制や課題等についてお伺いします。

【全ての方がご回答ください】		
①長期処方(本調査では 28 日以上とします)を医師へ提案したことのある薬剤の種類 ※〇はいくつでも	1. 血圧降下剤 4. インスリン製剤 7. 消化器用剤 9. 長期処方を医師へ提案したことはない	2. 高脂血症用剤 5. ホルモン剤 8. その他(具体的に:) 3. 経口血糖降下剤 6. 花粉症治療薬
②薬剤師として長期処方が適すると思われる状況等 ※〇はいくつでも	1. 医薬品供給が安定している品目が処方されている場合 2. パンデミックや災害による医療アクセスの制限がある場合 3. 待ち時間の長い医療機関から処方がある場合 4. 受診の間隔を延長する際の切り替え(例: 30 日処方→60 日処方) 5. リフィル処方からの切り替え(例: 30 日×2 回→60 日処方) 6. かかりつけ薬剤師指導料の同意を得ている患者 7. 調剤後薬剤管理指導料に係るフォローアップを実施している患者 8. その他(具体的に:)	
③薬局で長期処方を受けるにあたって課題と感ずること ※〇はいくつでも	1. 医薬品の供給体制 2. 適切な副作用の評価 3. 処方医との適切な情報連携 4. その他(具体的に:) 5. 特になし	
④患者からの長期処方に関する相談を受けた経験 ※〇は1つ	1. ある →⑤-1 へ	2. ない →アンケート調査は終了です
【④で「1.ある」と回答した場合、下記⑤-1～3 を回答ください】		
⑤-1 どのような患者からの相談でしたか。 ※〇はいくつでも	1. 医薬品供給が不安定な品目を使用している患者 2. 待ち時間の長い医療機関からの処方を受けている患者 3. リフィル処方を受けている患者 4. 生活習慣病に係る薬物治療を受けている患者 5. かかりつけ薬剤師指導料の同意を得ている患者 6. 調剤後薬剤管理指導料に係るフォローアップを実施している患者 7. その他(具体的に:)	
⑤-2 受けた相談の内容 ※最も多いものを一つだけ〇	1. 長期処方をしてほしい 2. 長期処方がどのような仕組みになっているのかを知りたい 3. 自身が長期処方の対象になりうるか知りたい 4. 医師への相談(申し出)方法について知りたい 5. その他(具体的に:)	
⑤-3 患者が長期処方を希望していることに関して、処方医へ情報提供したことはありますか。 ※〇は1つ	1. ある	2. ない

質問は以上です。ご協力頂き誠にありがとうございました。
令和 7 年 8 月 29 日(金)までに返信用封筒をご使用の上投函ください(切手不要)。

令和6年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査(令和7年度調査)

お薬の長期処方やリフィル処方に関するアンケート

このアンケートは、患者ご本人に、医療機関や薬局の利用状況やお考えなどをお伺いするものです。調査結果は、診療報酬の見直しなどについて検討するための資料となります。
本調査のご回答内容は統計的に処理しますので、個人が特定されることはありません。
また、医師や薬剤師に個人の回答内容をお知らせすることはありません。本調査票に回答しない場合も、患者ご本人が不利益を受けることはありません。

※ 回答はあてはまる番号を○(マル)で囲んでください。また、()内には具体的な数字や内容・理由などをご記入ください。

※ 特に断りのない限り、令和7年7月1日時点の状況についてお答えください。



1. この調査票のご記入者についてお伺いします。ご記入者は患者ご本人ですか。

1. 患者ご本人(代筆の場合も含む)	2. 本人以外のご家族等
--------------------	--------------

2. 患者ご本人のことについてお伺いします。

①性別 ※○は1つ	1. 男性		2. 女性	
②年齢 ※○は1つ	1. 10 歳代以下	2. 20 歳代	3. 30 歳代	4. 40 歳代
	5. 50 歳代	6. 60 歳代	7. 70 歳代	8. 80 歳代以上
③お住まい	(			

以降の設問についても、全て患者さんご自身のことをお答えください(ご記入者が患者ご本人でない場合も、患者ご本人についてご回答ください)

3. 医療機関や保険薬局の利用状況等についてお伺いします。



「リフィル処方」とは

症状が安定している患者に対して、医師の処方により医師及び薬剤師の適切な連携の下で、一定期間内に、最大3回まで反復利用できる処方のことです。
患者にとっては、通院に伴う時間的・経済的負担の軽減に繋がるという利点があります。また、薬を貰いに薬局に行った際には、薬剤師が患者の体調や服薬状況を確認し、お薬代等はその都度、薬局へお支払い頂きます。
※リフィル処方は、医師が患者の病状等を踏まえ、医学的に適切と判断した場合に選択されるものです。

①あなたご自身が、定期的に受診している医療機関(病院・診療所)、 薬局はいくつありますか。 ※定期的:半年間で複数回 ※定期的な受診がない場合「0(ゼロ)」と記入		医療機関数 : ()箇所	
		薬局数 : ()箇所	
②あなたが繰り返し同じお薬の処方を受けている疾患はありますか。それはどのような疾患ですか。 ※○はいくつでも	1. 糖尿病	2. 高血圧性疾患	3. 虚血性心疾患(狭心症、心筋梗塞)
	4. アレルギー・鼻炎	5. 脂質異常症	6. 消化器系の疾患
	7. 悪性新生物<腫瘍>	8. 神経系の疾患	9. 皮膚及び皮下組織の疾患
	10. 眼及び付属器の疾患	11. 呼吸器系の疾患	
	12. その他(具体的に:		

【②で「1.~12.」を選択した場合、下記③をご回答ください】

③繰り返し同じお薬の処方を受けている期間 ※最長期間に1つに○	1. 1 年未満	2. 1 年以上 3 年未満
	3. 3 年以上 5 年未満	4. 5 年以上

【全ての方がご回答ください】

④リフィル処方を知っていましたか。 ※○は1つ	1. 仕組みを理解していた →⑤へ	2. 名称だけ聞いたことがあった →⑥へ
	3. 知らなかった →設問4へ	

【④で「1. 仕組みを理解していた」と回答した場合、下記⑤をご回答ください】

⑤リフィル処方 の仕組みをどのよう にして知りましたか。 ※〇はいくつでも	1. 担当医師から説明を受けた	2. 病院内での掲示物や病院のホームページを見て知った
	3. 薬局で教えてもらった	4. かかりつけの薬局内での掲示板や薬局のホームページを見て知った
	5. 厚生労働省などの公的機関からの情報(ホームページ等)を見て知った	
	6. テレビやニュース等を見て知った	7. 家族や知人から聞いて知った
	8. その他(具体的に:	)

【④で「2. 名称だけ聞いたことがあった」と回答した場合、下記⑥をご回答ください】

⑥リフィル処方につい て、あなたの関心の程 度 ※〇は1つ	1. 非常に興味がある	2. ある程度関心がある	3. どちらともいえない
	4. あまり関心がない	5. 全く関心がない	

4. これまで長期処方された経験についてお伺いします。



「長期処方」とは

この調査においては、症状が安定している患者に対して、医師が28日以上処方（リフィル
処方を除く）を行うことを指します。
患者にとっては、通院だけでなく薬局に行く時間的・経済的負担の軽減に繋がるという利点が
ありますが、リフィル処方と比べて薬剤師が患者の体調や服薬状況を確認する機会が減ります。

①1回の受診で28日分以上の処方(長期処方)を受 けたことがありますか。 ※〇は1つ	1. ある →②へ	2. ない →設問5へ
---	-----------	-------------

【①で「1. ある」と回答した場合、下記②～⑨をご回答ください】

②最近、医療機関で長期処方されたお薬について、 1回の処方で何日分のお薬が出されましたか。 ※直近の処方についてお答えください ※〇は1つ	1. 28~41日	2. 42~55日	3. 56~69日	4. 70~83日
	5. 84~90日	6. 91日以上		
③28日分以上処方された薬を、使用せずに残した ことがありますか。 ※「今回新たに調剤された薬」のうち、服用せずに残った分を 指します。以前から残っていた薬は含めません。 ※〇は1つ	1. ある →④⑤へ	2. ない →⑥へ		
	3. 覚えていない →⑥へ			

【③で「1. ある」と回答した場合、下記④～⑤をご回答ください】

④使用せずに残した量はどのくらいですか。 ※〇は1つ	1. 60日分以上の薬が残った	2. 30日以上60日未満の薬が残った
	3. 15日以上30日未満の薬が残った	4. 覚えていない
⑤処方された薬を 使用せずに残した 理由をお答え ください。 ※〇はいくつでも	1. 副作用が生じ、使用の継続が困難となったため	2. 症状が改善し、服用がなくなかったため
	3. 医師の指示で途中で使用を中止したため	4. 服用を忘れることが多かったため
	5. 薬の効果を感じられなかったため	6. 薬の味やにおいが苦手だったため
	7. 万が一のために残しておきたいと考えたため	
	8. 医師の指示で災害時や体調不良等に備えて一定量を手元に残しておくように言われたため	
	9. その他(具体的に:	)

⑥受け取った処方せんについて、薬局での調剤を 受なかったことがありますか。 ※〇は1つ	1. ある →⑦へ	2. ない →⑧へ
--	-----------	-----------

⑦前記⑥で「1. ある」と回答した方にお伺いし ます。その理由は何ですか。 ※〇はいくつでも	1. 処方せんの有効期限を切らしてしまったため
	2. 以前に調剤された薬が十分に余っていたため
	3. 症状が改善し、薬がなくなかったため
	4. その他(具体的に:

⑧長期処方を受けるようになって、医療機関や薬 局の利用にどのような変化がありましたか。 ※〇はいくつでも	1. 通院回数が減った
	2. 医療費の支払い額が減った
	3. 薬局に行く回数が減った
	4. 医師や薬剤師との相談の頻度が変わった
	5. 特に変化は感じない
	6. その他(具体的に:

⑨長期処方を受けて「良かった」と感じたことは何 ですか。 ※〇はいくつでも	1. 通院の手間が減って助かった
	2. 忙しい時期でも薬を切らさずに済んだ
	3. 医師との信頼関係が深まった
	4. 自分の体調管理に自信が持てるようになった
	5. その他(具体的に:

5. これまでリフィル処方せんを交付された経験についてお伺いします。

【全ての方がご回答ください】

①リフィル処方せんを交付されたことがありますか。 ※○は1つ	1. ある →②へ	2. ない →設問 6 へ
【①で「1. ある」と回答した場合、下記②～④をご回答ください】		
②リフィル処方せんはどのように交付されましたか。 ※○は1つ	1. 自ら希望した	2. 医師から提案された
③直近のリフィル処方せんは、何回反復利用できる処方せんですか。 ※○は1つ	1. 3回	2. 2回
④直近のリフィル処方せんは、1回あたり何日分位のお薬が調剤されましたか。	()日分	
⑤リフィル処方せんの1回目の調剤で、どこかの薬局に行きましたか。 ※最も多く行ったものを一つだけ○	1. 自宅近くにある薬局 →⑦へ 2. 受診した医療機関の近くの薬局(1以外)→⑥へ 3. 1.～2.以外の薬局 →⑥へ	
⑥リフィル処方せんの2回目以降の調剤で、自宅近くにある薬局に変えましたか。 ※○は1つ	1. はい 2. いいえ 3. まだ2回目の調剤を受けていない	
⑦リフィル処方せんの2回目以降の調剤のタイミングで、調剤を受けずに受診しなければいけなくなったことはありますか。 ※○は1つ	1. ある →⑧へ	2. ない →⑨へ
⑧前記⑦で「1.ある」と回答した理由 ※○はいくつでも	1. 医師による受診指示があったから 2. 薬剤師による受診勧奨があったから 3. ご自身で受診を受けた方がよいと考えたから 4. その他(具体的に:)	
⑨リフィル処方せんによる調剤を受けた後の期間に、薬剤師からフォローアップ※1を受けたことがありますか。 ※○は1つ	1. ある →⑩へ	2. ない →⑪へ
⑩薬剤師からどのようなフォローアップを受けましたか。 ※○はいくつでも	1. 薬の飲み方の指導を受けた 2. 薬が効いているか確認された 3. 副作用について確認された 4. 体調などの確認をされた 5. 服薬状況を確認された 6. 他科の受診状況を確認された 7. その他(具体的に:)	
※1 ここでいう「フォローアップ」とは、リフィル処方せんによる調剤を受けた後に、薬剤師が体調や服薬状況などについて行った確認や指導を指します。調剤後の連絡(電話・メール・アプリ等)による対応も含みます。		
⑪受け取ったリフィル処方せんについて、薬局での調剤を受けなかったことがありますか。 ※○は1つ	1. 1回目の調剤を受けなかった →⑫へ 2. 最大2回まで受け取り可能だったが、2回目の調剤を受けなかった →⑫へ 3. 最大3回まで受け取り可能だったが、2回目の調剤を受けなかった →⑫へ 4. 最大3回まで受け取り可能だったが、3回目の調剤を受けなかった →⑫へ 5. 調剤を受けなかったことはない →⑬へ	
⑫前記⑪で1.～4.を回答した理由 ※○はいくつでも	1. 処方せんの有効期限を切らしてしまったため 2. 以前に調剤された薬が十分に余っていたため 3. 症状が改善し、薬が必要なくなったため 4. 薬剤師から受診を勧められたため	
⑬リフィル処方せんを利用して、医療機関や薬局の利用にどのような変化がありましたか。 ※○はいくつでも	1. 通院回数が減った 2. 医療費の支払い額が減った 3. 薬局での相談機会が増えた 4. 薬剤師との関係が深まった 5. 特に変化は感じない 6. その他(具体的に:)	
⑭リフィル処方せんを利用して「良かった」と感じたこと ※○はいくつでも	1. 自分のペースで薬を受け取れるようになった 2. 忙しい時期でも薬の受け取りがスムーズだった 3. 薬剤師との信頼関係が深まった 4. 健康管理への意識が高まった 5. 薬局でのフォローアップが安心感につながった 6. その他(具体的に:)	

6. これからのリフィル処方や長期処方の利用意向についてお伺いします。

①リフィル処方や長期処方のメリット・デメリットと、それらを踏まえた今後の利用意向について、お考えを教えてください。		
①-1 リフィル処方の利用に際して、メリットになると感じるものを教えてください。 ※○はいくつでも	1. 通院にかかる時間的負担(予約・移動・待ち時間)を減らせる 2. 通院によってかかる医療費が安くなる 3. 症状が安定していて、異変時には、医師に相談ができる 4. 症状が安定していて、異変時には、薬剤師に相談ができる 5. 医療機関に行く回数が減り、感染症に罹るリスクを減らすことができる 6. 薬がほしいだけという自分の状況にあっている 7. その他(具体的に:)	

①-2 <u>リフィル処方</u> の利用に際して、デメリットや懸念と感ずるものを教えてください。 ※○はいくつでも	1. 医師に診てもらう機会が減ってしまう ; 2. 薬剤師の判断に不安がある →①-3へ 3. 2回目、3回目の薬のもらい方や、かかる金額がよくわからない 4. リフィル処方せんを希望しても発行してもらえないことがある 5. 処方せんを保管しておくことが手間である 6. 調剤予定日の前後7日でしか薬を受け取れないのは不便である 7. その他(具体的に:)	
①-3 前記①-2で「2. 薬剤師の判断に不安がある」と回答した方に伺います。不安に感ずる理由や懸念点は何か。 ※○はいくつでも	1. 薬の内容や用法について、薬剤師が適切に判断して説明してくれるか不安がある 2. 市販薬や併用薬との関係について、薬剤師が適切に対応してくれるか不安がある 3. 副作用や体調の変化に対して、薬剤師が判断して必要な対応をしてくれるか不安がある 4. プライバシーに配慮された環境で相談できるか不安がある 5. 薬局内に血圧計などの基本的な設備が整っておらず、体調確認が不十分になるのではないかと感ずる 6. その他(具体的に:)	
①-4 <u>長期処方</u> の利用に際して、メリットになると感ずるものを教えてください。 ※○はいくつでも	1. 通院にかかる時間的負担(予約・移動・待ち時間)を減らせる 2. 通院によってかかる医療費が安くなる 3. 医療機関に行く回数が減り、感染症に罹るリスクを減らすことができる 4. 薬がほしいだけという自分の状況にあっている 5. その他(具体的に:)	
①-5 <u>長期処方</u> の利用に際して、デメリットや懸念と感ずるものを教えてください。 ※○はいくつでも	1. 医師に診てもらう機会が減ってしまう 2. 薬剤師に相談できる機会が減ってしまう 3. その他(具体的に:)	
①-6 今後、病状が安定している場合に <u>リフィル処方</u> を利用したいと思いませんか。 ※○は1つ	1. 利用したい 3. どちらかといえば利用したくない	2. どちらかといえば利用したい 4. 利用したくない
①-7 今後、病状が安定している場合に <u>長期処方</u> を利用したいと思いませんか。 ※○は1つ	1. 利用したい 3. どちらかといえば利用したくない	2. どちらかといえば利用したい 4. 利用したくない
①-8 リフィル処方や長期処方について、医師に相談・要望を伝えることに関して、次のように感じたことはありますか。 ※○はいくつでも	1. 医師に遠慮して要望を伝えにくい 2. 医師が忙しそうで相談しづらい 3. 制度の内容をよく理解しておらず相談しづらい 4. 特に相談しづらいと感じたことはない 5. その他(具体的に:)	
②-1 <u>リフィル処方</u> を利用するにあたり必要だと感ずることは何か。 ※○はいくつでも	1. 信頼する「かかりつけ医」※1がいること ; 2. 信頼する「かかりつけ薬剤師」※2のいる薬局があること 3. 薬剤師から薬について十分な説明があること 4. 自分の服用している薬の効能、副作用を理解していること 5. 「かかりつけ医」や「かかりつけ薬剤師」がいつでも相談にのってくれること 6. 電子処方せん※3による対応 7. その他(具体的に:)	
②-2 <u>長期処方</u> を利用するにあたり必要だと感ずることは何か。 ※○はいくつでも	1. 信頼する「かかりつけ医」がいること ; 2. 信頼する「かかりつけ薬剤師」のいる薬局があること 3. 薬剤師から薬について十分な説明があること 4. 自分の服用している薬の効能、副作用を理解していること 5. 「かかりつけ医」や「かかりつけ薬剤師」がいつでも相談にのってくれること 6. 電子処方せんによる対応 7. その他(具体的に:)	

※1:「かかりつけ医」とは健康に関することを何でも相談でき、必要な時は専門医療機関を紹介してくれる身近にいて頼りになる医師のことです。
 ※2:「かかりつけ薬剤師」とは日頃から患者と継続的に関わることで信頼関係を構築し、薬に関していつでも気軽に相談できる薬剤師のことです。
 ※3:「電子処方せん」とは現在紙で行われている処方せんの運用を電子で実施する仕組みです。

7. リフィル処方や長期処方に関して、あなたのご意見・ご要望について自由に記載してください。

質問は以上です。ご協力頂き誠にありがとうございました。
 令和7年8月29日(金)までに返信用封筒をご使用の上投函ください(切手不要)。